

令和3年度

主要な施策の成果に関する説明書

伊万里市

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定に基づき、  
令和3年度における主要な施策の成果に関する説明書を提出します。

令和4年9月22日

伊万里市長 深 浦 弘 信

## 目 次

1 . 令和 3 年度決算の概要	1
2 . 令和 3 年度一般会計歳入歳出決算額	3
3 . 令和 3 年度特別会計歳入歳出決算額	6
4 . 令和 3 年度企業会計歳入歳出決算額	7
5 . 主要な施策の成果の説明	
( 1 ) 一 般 会 計	
第 1 款 議 会 費	8
第 2 款 総 務 費	9
第 3 款 民 生 費	5 4
第 4 款 衛 生 費	9 5
第 6 款 農林水産業費	1 1 0
第 7 款 商 工 費	1 3 4
第 8 款 土 木 費	1 4 6
第 9 款 消 防 費	1 6 7
第 10 款 教 育 費	1 7 6
第 11 款 災 害 復 旧 費	2 2 8
第 13 款 諸 支 出 金	2 3 5
( 2 ) 特 別 会 計	
国民健康保険特別会計	2 3 8
介護保険特別会計	2 4 1
後期高齢者医療特別会計	2 4 5
( 3 ) 企 業 会 計	
水道事業特別会計	2 4 6
工業用水道事業特別会計	2 4 7
下水道事業特別会計	2 4 8
6 . 社会保障 4 経費その他社会保障施策に要する経費	2 4 9

## 令和3年度決算の概要

令和3年度の国の経済動向としては、長引く新型コロナウイルス感染症の影響の下にあるものの、令和3年9月末の緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の解除以降は、厳しい状況が徐々に緩和されつつあります。

今後については、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待されており、新型コロナウイルス感染症による内外の経済動向や金融資本市場の変動等の動向に注視しながら、喫緊かつ最優先の課題である新型コロナウイルス感染症対応に万全を期し、躊躇なく必要な対策を講じることとされています。

このような状況下において、本市が活力ある都市として持続的に発展するために、市政の各分野において将来を見据えた施策の展開が望まれ、第6次伊万里市総合計画の将来都市像である「人がいきいきと活躍する 幸せ実感のまち 伊万里」の実現に向けて各種施策を展開しました。

施策の実施に当たっては、小・中学校や複合施設の建設、老朽化した公共施設の大規模改修など、大型プロジェクトを抱え、それに加えて、新型コロナウイルス感染症対策を緊急的に講じる必要があるなど、厳しい財政状況が続く中で、第4次財政基盤安定化計画に沿って可能な限りの財源確保と徹底した歳出削減に取り組みました。

一方で、国・県等の補助金や交付税措置がある地方債を活用し、新型コロナウイルス感染症に対応するための感染防止対策や経済対策、伊万里中学校の建設、道路や橋りょうの整備などを実施しました。また、「伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実現に向け、シティプロモーション、子どもの医療費助成、移住などの定住対策を推進するなど施策全般にわたって事業を厳選し、限られた財源を重点的、効率的に配分することにより、健全な財政運営に努めました。

令和3年度の一般会計の歳入総額は、347億4,190万円で、前年度に比べて2.7%の減、歳出総額は、339億7,274万円で、前年度に比べて3.9%の減となりました。また、歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は7億6,916万円、翌年度へ繰り越すべき財源の4,745万円を差し引いた実質収支は7億2,171万円の黒字となりました。

歳入について前年度と比較すると、市税については、市内企業の増収による影響で法人市民税が増加したことなどから、市税全体において、0.5%の増加となりました。地方交付税については、普通交付税、特別交付税を合わせた全体で14.6%の増加となりました。

また、法人事業税交付金(130.3%)、地方消費税交付金(8.1%)、地方特例交付金(140.7%)などが増加となりましたが、利子割交付金(14.7%)、交通安全対策特別交付金(8.0)が減少となりました。

国庫支出金は、特別定額給付金給付事業費補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの減少により、全体で35.5%の減少となりました。

県支出金は、産地パワーアップ事業費補助金や地域医療介護総合確保基金事業（介護施設等整備事業）補助金などの減少により、全体で6.5%の減少となりました。

寄附金は、ふるさと応援基金寄附金が増加したことから、全体で33.6%の増加となりました。

繰入金は、ふるさと応援基金や広域ごみ処理施設建設に係る地域振興基金などからの繰入金が増加したことにより、全体で19.5%の増加となりました。

市債は、減収補填債などが減少したものの、体育施設整備事業債や保育園建設事業債などが増加したため、全体で38.4%の増加となりました。

その他の収入は、分担金及び負担金（8.6%）、使用料及び手数料（5.8%）、財産収入（74.4%）、繰越金（42.7%）、諸収入（12.2%）が増加しました。

歳出については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている住民生活や地域経済を支援するとともに、感染症の拡大防止や新しい生活様式への対応などを図るため、自治公民館感染防止対策支援事業、肉用牛肥育農家経営回復支援事業、第2次緊急経済対策クーポン券発行事業、第3次事業者緊急支援事業などを実施しました。

また、留守家庭児童クラブ管理運営事業などの子育て支援施策の充実、防災活動事業や防災行政無線施設管理事業などの防災の推進、園芸農業機械・施設等整備支援事業、伊万里梨・牛産地強化支援事業などの産業の振興、中学校建設事業などの学校教育環境の改善に取り組みました。

目的別に前年度と比較すると、民生費（15.3%）、衛生費（26.2%）、商工費（10.0%）、教育費（1.0%）などが増加しましたが、総務費（28.3%）、農林水産業費（17.1%）、災害復旧費（24.0%）、諸支出金（5.6%）などが減少しました。

性質別に見ると、義務的経費は、人件費（4.5%）が減少しましたが、住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業などにより扶助費（19.0%）が増加しました。投資的経費は、国見台体育施設改修事業や大坪保育園・コミュニティセンター複合施設整備事業などにより普通建設事業費（31.1%）が増加しましたが、災害復旧費（27.4%）は減少しました。そのほか、物件費（8.0%）や積立金（65.1%）などが増加する一方、補助費等（56.3%）や投資及び出資金（2.6%）は減少しました。

特別会計については、歳入総額149億9,745万円、歳出総額144億5,183万円となり、前年度と比較すると、歳入で1.6%、歳出で0.4%の増加となりました。

## 令和3年度 一般会計歳入歳出決算額

(歳入)

(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減率 (%)	令和3年度 構成比 (%)
自 主 財 源	14,150,982	12,773,118	10.8	40.8
市 税	7,132,859	7,099,408	0.5	20.5
分担金及び負担金	197,526	181,861	8.6	0.6
使用料及び手数料	340,389	321,732	5.8	1.0
財 産 収 入	34,445	19,746	74.4	0.1
寄 附 金	2,738,631	2,049,758	33.6	7.9
繰 入 金	2,531,130	2,117,456	19.5	7.3
繰 越 金	342,103	239,746	42.7	1.0
諸 収 入	833,899	743,411	12.2	2.4
依 存 財 源	20,590,918	22,921,899	△ 10.2	59.2
地 方 譲 与 税	332,144	325,782	2.0	1.0
利 子 割 交 付 金	4,547	5,333	△ 14.7	0.0
配 当 割 交 付 金	23,600	13,730	71.9	0.1
株式等譲渡所得割交付金	24,125	15,617	54.5	0.1
法 人 事 業 税 交 付 金	94,643	41,096	130.3	0.3
地 方 消 費 税 交 付 金	1,303,813	1,206,390	8.1	3.7
環 境 性 能 割 交 付 金	19,009	12,996	46.3	0.0
地 方 特 例 交 付 金	128,428	53,345	140.7	0.4
地 方 交 付 税	6,611,279	5,770,794	14.6	19.0
交通安全対策特別交付金	9,885	10,748	△ 8.0	0.0
国 庫 支 出 金	7,066,269	10,955,046	△ 35.5	20.3
県 支 出 金	2,642,164	2,826,519	△ 6.5	7.6
市 債	2,331,012	1,684,503	38.4	6.7
合 計	34,741,900	35,695,017	△ 2.7	100.0

(歳出)

(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減率 (%)	令和3年度 構成比 (%)
議 会 費	225,530	231,138	△ 2.4	0.7
総 務 費	8,450,358	11,780,149	△ 28.3	24.9
民 生 費	12,267,244	10,636,943	15.3	36.1
衛 生 費	2,956,277	2,342,153	26.2	8.7
労 働 費	70,978	72,084	△ 1.5	0.2
農 林 水 産 業 費	924,005	1,114,453	△ 17.1	2.7
商 工 費	742,253	674,538	10.0	2.2
土 木 費	921,195	917,304	0.4	2.7
消 防 費	1,141,248	1,197,664	△ 4.7	3.4
教 育 費	2,868,342	2,840,052	1.0	8.4
災 害 復 旧 費	237,106	312,094	△ 24.0	0.7
公 債 費	1,829,420	1,816,005	0.7	5.4
諸 支 出 金	1,338,787	1,418,337	△ 5.6	3.9
合 計	33,972,743	35,352,914	△ 3.9	100.0

## (性質別歳出分析)

(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減率 (%)	令和3年度 構成比 (%)
義務的経費	13,801,010	12,695,528	8.7	40.6
人件費	3,980,001	4,165,653	4.5	11.7
扶助費	7,991,589	6,713,870	19.0	23.5
公債費	1,829,420	1,816,005	0.7	5.4
投資的経費	3,849,710	3,075,437	25.2	11.4
普通建設事業費	3,623,306	2,763,653	31.1	10.7
補助事業費	1,696,065	1,702,558	0.4	5.0
単独事業費	1,822,748	1,003,001	81.7	5.4
県営事業負担金	104,493	58,094	79.9	0.3
災害復旧費	226,404	311,784	27.4	0.7
消費的経費	8,423,351	13,325,105	36.8	24.8
物件費	4,233,125	3,919,443	8.0	12.4
維持補修費	126,000	113,867	10.7	0.4
補助費等	4,064,226	9,291,795	56.3	12.0
その他の経費	7,898,672	6,256,844	26.2	23.2
積立金	4,168,859	2,524,787	65.1	12.3
投資及び出資金	929,732	954,559	2.6	2.7
繰出金	2,498,081	2,475,498	0.9	7.3
貸付金	302,000	302,000	0.0	0.9
合 計	33,972,743	35,352,914	3.9	100.0

普通建設事業費の補助事業費は受託事業費（補助）を含む。



## 令和3年度 特別会計歳入歳出決算額

(歳入)

(単位:千円)

区 分	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	増 減 率 (%)
国 民 健 康 保 険	7,150,392	6,922,167	3.3
介 護 保 険	6,375,755	6,373,628	0.0
市 営 駐 車 場	-	16,524	皆減
後 期 高 齢 者 医 療	1,471,300	1,456,142	1.0
合 計	14,997,447	14,768,461	1.6

(歳出)

(単位:千円)

区 分	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	増 減 率 (%)
国 民 健 康 保 険	6,922,918	6,688,407	3.5
介 護 保 険	6,060,017	6,234,718	△ 2.8
市 営 駐 車 場	-	16,524	皆減
後 期 高 齢 者 医 療	1,468,898	1,455,282	0.9
合 計	14,451,833	14,394,931	0.4

※消費税を含む。

## 令和3年度 企業会計歳入歳出決算額

(単位:千円)

区 分			令和3年度	令和2年度	増減率 (%)
水道事業	収益的収支	収入	1,518,693	1,540,792	△ 1.4
		支出	1,388,157	1,472,677	△ 5.7
	資本的収支	収入	345,691	130,996	163.9
		支出	851,081	627,681	35.6
工業用水道事業	収益的収支	収入	982,308	1,036,435	△ 5.2
		支出	954,556	977,247	△ 2.3
	資本的収支	収入	637,656	622,452	2.4
		支出	825,036	818,520	0.8
下水道事業	収益的収支	収入	1,341,619	1,364,639	△ 1.7
		支出	1,255,017	1,252,200	0.2
	資本的収支	収入	1,065,623	1,001,752	6.4
		支出	1,428,614	1,380,101	3.5

※消費税を含む。

## 主要な施策の成果の説明

款	01	議会費	項	01	議会費	目	01	議会費
事務事業名	05	議員政務活動支援事業	6つのまちづくり			06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	議会事務局			施策	27	自立した行財政運営の確立		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
5,000	2,384					2,384	2,616	P. 88

【令和3年度における事務事業の概要】

行政運営の多様化・高度化が進む中で、議会運営の充実、審議能力向上及び議会活性化を図るため、議員の調査研究活動等に必要な経費の一部を助成しました。

政務活動費交付限度額 議員1人当たり250,000円  
 内訳 上半期(4月) 150,000円  
 下半期(10月) 100,000円  
 250,000円×20人(1人欠員) = 5,000,000円

<参考> 令和2年度  
 議員1人当たり250,000円  
 250,000円×21人 = 5,250,000円

【令和3年度における事務事業の成果】

議員20人のうち19人が申請しました。新型コロナウイルス感染症の影響により全額返還は4人、一部返還は13人(令和2年度は全額返還7人、一部返還12人)となりました。  
 交付額4,750,000円(250,000円×19人) - 返還額2,365,987円 = 支出額2,384,013円

令和3年度 収支報告額等実績

項 目	収支報告額	割合	政務活動費支出額
研究研修・調査旅費	92,680円	4%	2,384,013円  50% (交付額に占める割合)
資料作成・購入費	673,273円	28%	
広 報 費	950,503円	39%	
事 務 所 費	60,000円	2%	
その他経費(通信費等)	649,645円	27%	
合 計	2,426,101円	100%	

<参考> 令和2年度

項 目	収支報告額	割合	政務活動費支出額
研究研修・調査旅費	13,140円	1%	1,883,618円  38% (交付額に占める割合)
資料作成・購入費	512,727円	27%	
広 報 費	827,718円	43%	
事 務 所 費	0円	0%	
その他経費(通信費等)	556,836円	29%	
合 計	1,910,421円	100%	

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費
事務事業名	04	職員研修事業				6つの まちづくり	06	自立と協働のまちづくり
担当部課	総務部 総務課			施 策		27	自立した行財政運営の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
3,026	1,972			15	1,957	1,054	P. 92	

【令和3年度における事務事業の概要】

少子・高齢化、グローバル化、高度情報化など社会経済情勢が著しく変化する中、地方自治体においては、多様化・複雑化する市民ニーズに対して、限られた人員で的確に対応することが求められています。

このようなことから職員一人ひとりの実務処理能力の向上とともに、社会の要請を敏感に感じ取る能力、新たな分野に柔軟に対応しうる適応力等、総合的な能力を持った職員が求められており、職員個々に目を向けた計画的な能力開発等を推進するために階層別研修や、事務処理スキル向上のための実務研修、様々な課題に対応するための課題研修、さらには県や自治大学校等への派遣研修を実施しました。

特に、令和3年度から国土交通省九州地方整備局へ人事交流として職員1名を派遣し、地方自治体とは違う立場での実務経験を通して、港湾振興の知識や港湾事業における幅広い視野の習得を図りました。

課題研修においては、外部講師を招いて人事評価制度基本研修を行い、人事評価制度の目的の再確認や活用等について研修し、個人の成長や組織力の向上を図りました。

実務研修においては、佐賀県市町村振興協会主催による税務や公会計、CAD研修、ハードクレーム研修など、幅広く実務に必要な知識と技能の習得に努めました。接遇研修では、市民課の職員を対象に、組織接遇力研修を実施し、より実践的な接客サービスや組織での接遇意識の向上を図りました。

また、職務の遂行に有益な知識又は技術を自発的に習得しようとする職員に対し、自己啓発研修助成金を交付しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

(1) 研修

令和2年度に引き続き、コロナ禍の影響を受け、受講人数の制限や研修会の中止などもあり、計画どおりに事業を進めることができませんでした。しかし、WEB方式の研修会に参加するなど、工夫しながら事業実施に努めることができました。また、同和問題の解決に向けて、職員の意識を高め、認識を深めることができました。

種類	回数	人数	内 容
階層別研修	13回	100人	新規採用職員研修、再任用職員研修、新任課長職員研修、新任副課長研修、新任係長研修、監督者研修等
課題研修	2回	476人	民間企業体験、人事評価制度基本研修
実務研修	34回	154人	税務、公会計、ファシリテーション研修、CAD研修等
接遇研修	2回	45人	新採職員接遇実践、組織接遇力向上研修
派遣研修	14回	17人	国、県、自治大学校、市町村アカデミー、NOMA等
同和問題研修	5回	93人	職員同和問題研修、佐賀県人権・同和教育研究大会等
その他	8回	691人	市町行政講演会、交通安全講習会等
計	78回	1,576人	

(2) 自己啓発研修助成金

4人に対し、28,000円を交付し、職員のスキルアップを後押しすることができました。  
(情報セキュリティマネジメント、ITパスポート、管理業務主任者、会議録作成)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費
事務事業名	12	防犯灯設置促進事業			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		総務部 防災危機管理課			施策	23		暮らしの安全・安心の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,500		1,499				1,499	1	P. 94

【令和3年度における事務事業の概要】

夜間における安全を確保するため、行政区が維持管理を行う防犯灯について、設置に要する経費の2分の1を助成しました。

補助内容：補助率2分の1

新設（LED防犯灯）及び更新（水銀灯からLED防犯灯） 上限10,000円  
 新設（建柱を伴うLED防犯灯） 上限20,000円

【令和3年度における事務事業の成果】

各行政区で取り組んでいる防犯灯の設置について、74行政区148基に対して補助金を交付し、夜間の防犯対策に努めました。

過去3年の補助金交付実績

年 度	行政区数	補助件数		補 助 金 額
		新規	更新	
令和元年度	63	53	103	1,499,060円
令和2年度	78	50	102	1,487,046円
令和3年度	74	46	102	1,498,890円

白熱球からLED防犯灯への更新事例



【工事前】



【工事後】

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費
事務事業名	16	庁舎管理事業				6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり
担当部課	総合政策部 財政課			施策		27	自立した行財政運営の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
70,811	70,199			1,190	69,009	612	P. 96	

【令和3年度における事務事業の概要】

庁舎施設の維持管理のための業務委託等を行うとともに、不良個所の修繕や改修工事等を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

来庁者や職員が安全かつ安心して利用できる施設として修繕等を行い維持管理に努めました。また、別館に長寿社会課、健康づくり課を配置したことに伴い、来庁者の利便性を考え、多目的トイレ等を新設しました。

主な決算額

費 目	事業費	内 容
光 熱 水 費	14,071千円	庁舎電気料、水道料等
委 託 料	18,274千円	庁舎宿日直業務委託料外14件 庁舎別館トイレ改修工事監理業務委託料
工事請負費	29,721千円	庁舎別館トイレ等改修建築工事外3件 庁舎暖房用ボイラー取替工事

【庁舎別館トイレ等改修建築工事】



【庁舎暖房用ボイラー取替工事】



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費
事務事業名	17	庁舎管理事業（繰越明許）			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 財政課			施策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 （千円）		決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
116,416	110,415	103,268			100	7,047	6,001	P. 96

【令和3年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症対策に伴う「新しい生活様式」に対応するため、庁舎内の市民が多く訪れる場所の空調設備の改修を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

新型コロナウイルス感染症対策としての換気と快適な室内温度の両立を図るため、多くの市民が来庁される庁舎1階及び夜間等の会議で利用頻度が高い大会議室等に個別の空調設備を設置しました。

決算額内訳

費 目	事業費	内 容
手 数 料	43千円	建築確認検査手数料
委 託 料	1,632千円	庁舎空調設備設置工事監理業務委託料
工 事 請 負 費	108,740千円	庁内空調設備設置機械設備工事外2件
計	110,415千円	

【庁舎空調設備集中管理システム】



【庁舎空調設備個別スイッチ】



【庁舎空調設備】



【庁舎空調設備】



財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費
事務事業名	18	庁舎等公共施設感染防止対策事業（繰越明許）	6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり			
担当部課	総合政策部 財政課		施策	27	自立した行財政運営の確立			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
12,502	10,979	10,970			9	1,523	P. 98	

【令和3年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症対策として飛沫感染を防止するための消耗品及び備品の購入を行い、また、庁舎等のトイレの蛇口をセンサー式に取り替えました。

【令和3年度における事務事業の成果】

市庁舎、コミュニティセンター、小・中学校等の公共施設にアクリルパネルを設置し飛沫感染の防止に努めるとともに、来庁者や児童・生徒等の手指消毒機及び体表温検知器を設置しました。

また、庁舎等のトイレの手洗い用蛇口をセンサー式に取り替え非接触にすることで感染症対策を行いました。

決算額内訳

費 目	事業費	内 容
消 耗 品 費	4,597千円	アクリルパネル、消毒液スタンド等
工 事 請 負 費	3,587千円	庁舎トイレ等自動水栓化工事外3件
備 品 購 入 費	2,795千円	非接触型検温消毒機、非接触式体表温検知器等
計	10,979千円	

【自動水栓化工事】



【アクリルパネル】



【非接触型検温消毒機】



【非接触式体表温検知器】



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	02	文書広報費
事務事業名	01	広報広聴事業				6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり
担当部課	総合政策部 情報政策課			施策		24	市政に関する情報共有と市民参画の促進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
19,271	18,878	1,160		480	17,238	393	P. 98	

【令和3年度における事務事業の概要】

市政に関する情報を市民と共有し、市民が主体的にまちづくりに参画できるように、的確でわかりやすい情報発信を目的として、毎月1日に「広報伊万里」、5月1日に「予算特集号」を発行しました。

また、市のホームページやケーブルテレビを活用し、多様な手段により、幅広く情報を発信しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

行政情報の広報活動としての「広報伊万里」では、市民に分かりやすい紙面作りを行うとともに、市のホームページを活用したり、点字版（毎月6部発行）や声の広報を作成したりと多様な手法による情報発信の充実を図ることができました。

発行部数 年間253,051部（月平均21,088部）、紙面平均 34ページ

《 令和3年度広報伊万里発行実績 》

（単位：ページ）

発行月	特集の内容	ページ数
5月	5月は消費者月間です	32
6月	災害に備える、6月は環境月間です	32
7月	伊万里っ子GIGAスクール構想	36
8月	8月は同和問題啓発強調月間です、私たちの森林（もり）	36
9月	農業という選択の『可農性』、有害鳥獣から農作物を守る	34
10月	令和2年度決算報告	30
11月	認知症について理解を深めよう	34
	日本列島のなかの腰岳黒曜石原産地	
12月	地域で活かす！スキルと経験	32
	今こそ人権について考えてみませんか	
1月	伊万里で『働きたい・暮らしたい・活躍したい』	32
	大坪コミュニティセンター・大坪保育園複合施設完成	
2月	SAGA2024国スポ・全障スポ、『ぶっくん』巡回30周年	36
3月	春を満喫 桜めぐり、市民活動の交流の輪を広げる	36
4月	健診（検診）を受けましょう	34

（合計） 404

予算特集号 16 ページ

また、ケーブルテレビ放送を用いての情報発信では、行政情報コーナーとして「こんにちは！市役所です」を毎日放送するほか、市議会開催時の中継や災害時などの緊急放送を行い、情報発信の充実を図ることができました。

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	05	財産管理費
事務事業名	01	財産管理事業				6つの まちづくり	06	自立と協働のまちづくり
担当部課	総合政策部 財政課			施 策		27	自立した行財政運営の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
29,207	28,619			9,043	19,576	588	P. 102	

【令和3年度における事務事業の概要】

普通財産の適切な管理のため、施設修繕や各種点検、除草等の委託、使用する予定のない土地等の売却や貸付業務を行うとともに、万が一に備え建物火災保険に加入しました。また、公用車の事故や市所有の施設の瑕疵による損害等に備え、賠償責任保険に加入しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

旧ポリテクセンターをはじめとした普通財産の維持管理に要する光熱水費や各種保険料等の支払い事務、管理業務委託等を行いました。また、使用する予定のない土地等の売却や貸付、土地開発公社で所有していた土地の一部を買い戻すなど、健全な財政基盤の確立に努めました。公用車については、日々の点検を行い安全運行に努めました。

主な決算額

費 目	事業費	内 容
光 熱 水 費	5,286千円	旧ポリテクセンター電気料、水道料等
火 災 保 険 料	4,111千円	市有建物火災保険料
自 動 車 損 害 賠 償 責 任 保 険 料	2,648千円	公用車損害賠償保険料 公用車自賠責保険料
賠 償 責 任 保 険 料	1,046千円	市民総合賠償補償保険料 公金総合保険料
委 託 料	4,194千円	旧ポリテクセンター機械警備業務委託料外3件 市有地法面等除草業務委託料外8件
用 地 購 入 費	10,000千円	伊万里市土地開発公社用地買戻し
備 品 購 入 費	247千円	旧ポリテクセンター消火器更新50本

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	01	企画政策事業	6つのまちづくり			06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	総合政策部 企画政策課			施策	27	自立した行財政運営の確立		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
341	197				197	144	P. 102	

**【令和3年度における事務事業の概要】**

地域振興を目的として加入している財団法人地域活性化センターや佐賀県電源地域連絡協議会において、Web会議等を活用しながら、政策形成のために必要な情報等の収集に努めました。

さらに、市の教育行政に係る施策について、市長と教育委員会が協議・調整を図り、両者が教育政策の方向性を共有するため、「総合教育会議」を2回開催しました。

また、佐賀大学の海洋温度差発電の研究施設が立地している本市と沖縄県久米島町に佐賀大学を加えた3者で締結した「海洋温度差発電の研究開発及び利活用並びに地域交流の推進に関する連携協定」（平成28年7月14日締結）に基づき、久米島町立大岳小学校と伊万里市立滝野小・中学校の交流授業を令和3年12月に開催しました。

**【令和3年度における事務事業の成果】**

地域振興を目的とする各種団体への加入やWebの活用等により可能な限り政策形成に関する情報収集に努めたほか、総合教育会議を開催し、教育施策に関する協議・調整を行いました。

また、伊万里市立滝野小・中学校と久米島町立大岳小学校の児童・生徒が、佐賀大学海洋エネルギー研究所と沖縄県海洋深層水研究所において、海洋温度差発電を通じて環境の大切さを学び、同時に学校や地元の紹介によりお互いの地域の理解を深めることを目的に、Web会議による交流授業を実施しました。

1. 各種負担金

加入団体	負担金額 [円]
地域活性化センター	140,000
佐賀県電源地域連絡協議会	11,000

2. 令和3年度総合教育会議

会議	開催日
第1回総合教育会議	令和3年5月28日
第2回総合教育会議	令和4年2月21日

3. 伊万里市と久米島町の小学生交流授業（令和3年12月22日）

佐賀大学海洋エネルギー研究所 伊万里サテライトでの様子



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	04	地方創生推進事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 企画政策課			施策	25		市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
377		96				96	281	P. 104

【令和3年度における事務事業の概要】

本市における地方創生の取組を進めていくため、各種会議を開催し、令和2年9月に策定した第2期伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づいた事業の進捗状況の管理等を実施しました。

また、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進部会の役割と活動内容を見直し、より具体的な地方創生の事業展開を図るため部会組織の再構築を行いました。

伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進部会委員名簿 (敬称略)

No.	氏名	所属	役職
1	平野 健太郎	伊万里商工会議所	青年部 会長
2	吉野 幸喜	伊万里市農業協同組合	営農畜産部流通販売課課長
3	副島 裕介	伊万里信用金庫	本店営業部 主任
4	谷口 茂雅	中小企業診断士	
5	早田 文昭	伊万里市観光協会	会長
6	村上 武大	NPO法人まちづくり伊万里	副理事長
7	黒川 敦子	伊万里市小中学校連合PTA・伊万里市子ども会連合会	事務局
8	梶山 芳弘	日本郵政株式会社	伊万里中里郵便局 局長

【令和3年度における事務事業の成果】

地方創生に関する事業の進捗管理を行うとともに、新たに新型コロナウイルス感染症対策に関する補助金(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)を活用した事業の検証を行いました。

また、令和2年度は書面開催のみであった推進部会について組織を見直したことにより、年4回会議が開催されるなど部会委員の意見交換が活発に行われました。

- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略推進部会 7/17、8/10、8/31、11/17開催  
市総合戦略アクションプランの検討・評価のほか、地方創生の事業展開について議論。
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 10月 書面にて開催  
産・学・官・金・労・言(※)の各分野の委員により構成され、地方創生に関する事業の検証等を実施。(※ 金＝金融機関、労＝労働団体、言＝言論・報道機関)
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部会議 11/25開催  
市長を本部長とし庁内の各部長及び関係課長により構成。市総合戦略の事業の効果検証等を実施。

4つの基本目標と新たな2つの視点 (第2期市総合戦略より抜粋)

<p><b>基本目標1</b> 産業振興により「活気あふれるまち」をつくる (国の基本目標) 稼ぐ地域をつくるとともに安心して働けるようにする</p>	<p>【多様な人材の活躍を推進する】 新たな視点<sup>1</sup></p> <p>【新しい時代の流れを力にする】 新たな視点<sup>2</sup></p>
<p><b>基本目標2</b> 地域資源を生かし「行きたいまち」をつくる (国の基本目標) 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとのながれをつくる</p>	
<p><b>基本目標3</b> 市民みんなで「子育てしやすいまち」をつくる (国の基本目標) 結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p>	
<p><b>基本目標4</b> 時代に合った都市づくりで「安心して住みたいまち」をつくる (国の基本目標) ひとが集う・安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる</p>	

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	05	第6次総合計画後期基本計画策定事業			6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課		総合政策部 企画政策課			施策	27	自立した行財政運営の確立	
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,004		643				643	361	P. 104

【令和3年度における事務事業の概要】

第6次総合計画は平成31年4月に策定し、全体では令和元年度から令和8年度までの8年間の計画ですが、前半4年間の前期基本計画が令和4年度で満了となることから、後半4年間で取り組む内容を示す後期基本計画を策定する必要があります。

令和3年度は、市民アンケートの実施など、後期基本計画の策定準備作業を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

後期基本計画の資料とするため、令和4年3月に市民アンケートを実施し、集計や分析作業を行いました。市民アンケートの回収率は38.4%で、回答方法にインターネットを追加したこともあり、前回より7.6%回収率を上昇させることができました。

○市民アンケート結果

市の現状に対する満足度や将来のまちづくりに関する市民の意見を集約するため、令和4年3月末に実施した。

- ・回収率 38.4% ( 発送3,500通 回収1,345通 )
- ・前回の回収率 30.8% ( 前期基本計画策定時 )

第6次総合計画 【将来都市像】



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	07	職員提案制度運用事業				6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり
担当部課	総合政策部 企画政策課			施策		27	自立した行財政運営の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
17	17					17	0	P. 106

**【令和3年度における事務事業の概要】**

職員の業務に関する意識改革を促し、効率的な行政運営を推進するため、市政運営に関する提案や自己の業務改善（カイゼン）を職員から募集し、職員提案審査委員会において、優秀な内容と認められた提案等の表彰を行いました。

また、各課で取り組んだカイゼンについて、職員間で投票を行い、最も獲得票が多かったものについて、部門賞として表彰を行いました。

**【令和3年度における事務事業の成果】**

提案及びカイゼンを募集し、提出された内容について職員間で情報を共有することで、職員の業務に関する意識改革に繋がりました。

●職員からの提出件数

提案11件、カイゼン61件

●表彰件数

・提案 5件（B賞：1件、C賞：4件）

・カイゼン 3件（C賞：3件）

・部門賞 1件

※B賞：図書カード7,000円分、C賞：賞状、部門賞：図書カード10,000円分

〔主な提案・カイゼン〕

●提案名：トイレにおける傘・杖の一時置き場について

これまでは、雨の日に傘を持ってこられた方や杖を利用される方が男性用トイレを利用する際に、所定の置き場がなく壁に引っ掛けるなどされていましたが、滑り止めがないため床に倒れることがあり、気持ちよくトイレを利用していただける環境ではありませんでした。そこで、小便器と小便器の間に滑り止めを設置し、傘や杖をしっかりと立てかけられるようにし、利用しやすくしました。（C賞）



●カイゼン名：コミュニティバス運行実績集計表、給与計算表の簡素化・効率化

毎月行うコミュニティすこやかバスの乗車実績と勤務実績の集計作業において、複数のデータを作成する必要があり、入力、チェック作業に多くの時間がかかっていました。

そこで、エクセルの関数を利用し作成及びチェックに要する時間を大幅に短縮し、また、運行実績や乗車実績区分の細分化を行ったことで、運行状況の見える化を図ることができ、適正なコミュニティバスの運営にも繋げることができました。（C賞）

●カイゼン名：保護者向け本の貸し出し

大川保育園では、子ども達に絵本に親しんでもらうため本の貸し出しをしていますが、利用者が少ない状況が続いていました。

そこで、保護者向けの本の貸し出しを行うことで、保護者が保護者向けコーナーで立ち止まっているときに子どもは絵本コーナーで本を選ぶようになり、子どもの本の貸し出し件数が増加し、子どもたちが絵本に親しむ時間を増やすことができました。（部門賞）



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	08	ファシリティマネジメント推進事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 企画政策課			施策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,587		1,545			1,500	45	42	P. 106

【令和3年度における事務事業の概要】

令和2年度に策定した「公共建築物個別施設計画」の内容を踏まえて、平成28年度に策定した「公共施設等総合管理計画」の改定を行いました。

改定にあたっては、施設の現状や課題などの施設情報を集約した公共施設等管理システムを活用するとともに、土木系インフラにおける各種長寿命化計画との連携を図るため、計画の策定状況の調査や内容整理を行いました。その中で、更新時期であった「公園施設長寿命化計画」においては、今回導入した電子野帳を活用し、現地で得た情報を即時にデータ化するなど更新作業の効率化を図ることで対象を5公園から11公園に拡充することができました。

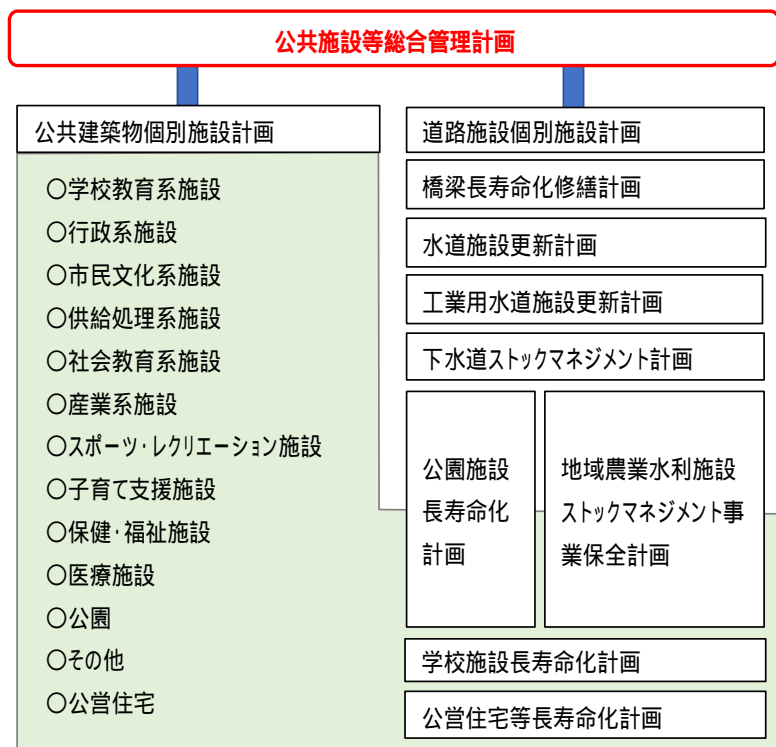
また、公共建築物における計画的な維持管理を推進するため、全庁的な取組として年に1度の定期点検の制度化を図りました。

【令和3年度における事務事業の成果】

土木系インフラの各種長寿命化計画との連携や固定資産台帳の情報を公共施設等管理システムに集約化することで、公共建築物だけでなく土木系インフラ等も含めた公共施設の基本的な在り方や適正管理にあたっての全庁的な取組方針等を示した総合管理計画として改定が出来ました。

また、定期点検の制度化を行ったことにより、公共施設の現状の把握に努め、施設情報の更新を行うことで、各種計画の見直しや調整を図る仕組みづくりができました。

財源内訳の「その他」はふるさと応援基金繰入金





款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	09	公共施設適正管理事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 企画政策課			施策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
111,720		103,983		93,400		10,583	7,737	P. 106

【令和3年度における事務事業の概要】

令和元年度末に廃止した市民会館本館大ホールについて、地元関係者などの理解を得るとともに関係部署との調整を図ることで解体に取り組みました。

解体工事においては、円滑な工事進捗を図るため、関係部署による工程会議を開催することで情報共有やスケジュール調整などを行いました。

※解体対象：市民会館本館（延床面積 A=2,099.04㎡）

【令和3年度における事務事業の成果】

定期的に工程会議を実施したことで、関係部署との情報共有やスケジュール調整等により利用者の安全確保に努めながら、スムーズな工事進捗を図ることができ、工期内に無事に完了することが出来ました。

着工前



完了後



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	10	ふるさと応援寄附募集事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 財政課			施策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,574,320		1,375,988			1,375,988	0	198,332	P. 106

【令和3年度における事務事業の概要】

ふるさと納税ポータルサイトに伊万里牛や伊万里梨をはじめとした農産物や伊万里焼、海産物、地酒などのお礼の品を4つのふるさと納税ポータルサイトに掲載し、ふるさと応援寄附金の募集を行いました。

- ・ふるさとチョイス
- ・ふるなび
- ・さとふる
- ・楽天ふるさと納税

ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを実施しました。

ブックスタート プロジェクト

令和2年度からの継続募集（令和3年2月18日から令和3年5月18日まで実施）

【令和3年度における事務事業の成果】

4つのふるさと納税ポータルサイトでふるさと応援寄附金を募集した結果、寄附金は過去最高額となり、自立した行財政運営の確立につなげることができました。

令和3年度寄附実績

1. 産業振興による「活気あふれるまち」づくり	2億7,915万3,000円
2. 地域資源を活かした「行きたいまち」づくり	2億1,929万6,500円
3. 市民みんなで「子育てしやすいまち」づくり	7億7,667万5,500円
4. 時代にあった都市づくりで「安心して住みたいまち」づくり	1億5,806万3,200円
5. 市長お任せコース	12億6,221万8,400円
6. ガバメントクラウドファンディング ブックスタート事業	85万4,000円

令和3年度合計 26億9,626万 600円

令和2年度との比較

令和2年度寄附件数	108,790件	
令和3年度寄附件数	167,529件	54.0%増加
令和2年度寄附金額	20億3,492万4,200円	
令和3年度寄附金額	26億9,626万 600円	32.5%増加

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	11	シティプロモーション推進事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 シティプロモーション推進課			施策	28		移住・定住の促進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 106
5,460		3,551			2,800	751	1,909	

【令和3年度における事務事業の概要】

伊万里市が移住や観光などあらゆる場面で「選ばれるまち」となるため、郷土愛の醸成をはじめとして、情報発信力の強化や関係人口の創生につながる取組を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

あらゆる媒体や機会を活用し、新しいキャッチコピー「いまりで、決まり！」の浸透に努めたほか、本市とのつながりが深い森永製菓株式会社、地域プロモーションのノウハウを持つ一般社団法人INSPIREや慶應義塾大学などと、多くの共同事業を展開したことで、情報発信力の強化、関係人口の創出、地域資源を生かしたビジネスモデルの構築など、オール伊万里でシティプロモーションの取組を進めることができました。

財源内訳の「その他」は、まちづくり基金繰入金



森永ミルクキャラメルイラストコンテスト入賞作品



慶應義塾大学と共同で行った市の施策を提案するビジネスコンテストの発表の様様



地域活性化支援事業「アクセラレータ」成果発表会の様様



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	12	移住・定住促進事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 企業誘致・商工振興課			施策	28		移住・定住の促進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
6,642		3,642	1,809		1,800	33	3,000	P. 108

【令和3年度における事務事業の概要】

伊万里市プロモーション映像やガイドブック、リーフレットを活用し、ウェブサイトでの情報発信やオンラインで開催される移住相談会への出展、近県大学訪問によるPR活動など、移住・定住促進のためのプロモーションを推進しました。

また、移住・定住支援員1名を継続配置し、移住希望者への情報提供や相談対応を行い、移住・定住相談窓口の充実を図りました。

更に、市外に居住する若年世代（20代～30代の子育て世代）などを対象とした本市への移住相談会を行うとともに、転入者で市内に新築や空き家の購入者に対する奨励金や首都圏から市内企業への就職者に対する支援金を交付するなど転入の促進を図りました。

【令和3年度における事務事業の成果】

【申請実績】

- ・新築購入移住奨励金（新築購入）      3世帯    8名
  - ・移住支援金                                      2世帯    3名
- 計 5世帯 11名



移住相談会の様子

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事務事業名	13	関係人口創出事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		総合政策部 企業誘致・商工振興課			施策	14		商工業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,650		1,650				1,650	0	P. 110

【令和3年度における事務事業の概要】

様々な経営課題を抱える市内企業と、高いスキルを持つ都市部の副業人材をマッチングし、市内企業の課題解決を図ることを目的として、副業人材マッチングシステム「Skill Shift」の活用を開始し、セミナーの開催や地元金融機関による制度周知による市内企業のシステム登録を勧奨するなど、副業人材活用を促進しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

- 1 市内企業の副業人材マッチングセミナー開催  
日 時：令和3年7月7日（水）14：00～15：30  
場 所：伊万里市民センター 文化ギャラリー  
参加者：市内企業21名

セミナーでは、講師から副業人材を活用しての課題解決の事例や、副業人材マッチングシステム「Skill Shift」の紹介があり、参加企業の副業人材活用の推進に努めました。

- 2 システム活用実績  
Skill Shift掲載数 13社（うちマッチング2社）

**伊万里市での副業人材活用事例**

**伊万里市内でも副業人材活用が始まっています**

**株式会社 小鳴や**  
経営課題：着実に伸びつつあるオンラインショップに更なる拍車を掛けたい！  
課題解決：創業当時より「変わらぬ想いをどら焼きに込めて」販売促進

**株式会社 MUKAI**  
経営課題：自社企画商品の販売戦略のサポートをお願いします！  
課題解決：マーケティング

Confidential © 2019 for Skill Shift, Inc. All Rights Reserved

提供元：株式会社みらいワークス

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	07	男女協働参画推進費
事務事業名	01	男女協働参画推進事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 企画政策課			施策	26		男女協働参画社会の形成
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 110
1,472		1,036				1,036	436	

**【令和3年度における事務事業の概要】**

男女協働参画社会の実現を目指し、市民と行政との協働により推進を図ることを目的として発足した男女協働参画懇話会「いまりプラザ」と連携し、啓発活動を行いました。  
また、各地区と団体から推薦された女性を「いまり女性ネットワーク」に会員として登録し、その会員に審議会等の委員として参画してもらうことで、女性の参画拡大を図りました。

**【令和3年度における事務事業の成果】**

○男女協働参画懇話会「いまりプラザ」14期委員と連携し、男女協働参画社会の実現のため積極的な啓発活動を行い、男女協働参画意識の市民への浸透を図ることができました。

- ・懇話会開催（7回 参加者97名）
- ・いまり女性会議の開催（参加者20名）
- ・セミナー等の開催（3回 参加者91名・委員10名）
- ・出前講座の実施（2回 参加者23名・委員2名）
- ・「いまりプラザだより」発行（2回）
- ・学習会の開催（1回 参加者15名）
- ・男女共同参画週間啓発パネル展の実施（1回）
- ・DV防止キャンペーンの実施（1回）
- ・パープルライトアップ実施（2事業所）

- 「いまり女性ネットワーク」（53名が登録、34審議会等に延べ36名参画）
  - ・セミナー参加等（3回 参加者20名）

- 男女協働参画審議会開催 2回

- 働き方改革等に関する職員研修会
  - ・ワークライフバランス実践研修会（1回 参加者36名）
  - ・係長職ハラスメント防止研修会（1回 参加者69名）

- ワークライフバランスガイドブック配付（市内事業所等）

- 男女協働参画に関するアンケート調査実施
  - 市民 1,500名（回答数697名）
  - 事業所 100社（回答数 53社）
  - 中学生 479名（回答数425名）
  - 高校生 529名（回答数495名）



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	07	男女協働参画推進費
事務事業名	02	女性自立支援相談事業				6つの まちづくり	06	自立と協働のまちづくり
担当部課	総合政策部 企画政策課				施 策	26	男女協働参画社会の形成	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
71	5				5	66	P. 110	

【令和3年度における事務事業の概要】

DV（配偶者等からの暴力）被害者の相談が増加し、その内容も深刻化していることから、引き続き、女性自立支援相談員による女性相談窓口を開設し、DV被害をはじめ女性が抱える家庭や子育てなどの悩みの相談に対応しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

○女性相談窓口を開設し、相談対応、DV被害者支援を行うことができました。  
・令和3年度 相談件数 370件（うちDV相談 276件[74.6%]）

DV被害者の的確な支援と二次被害防止のため、関係職員を対象としたDV被害者支援研修会（25名参加）と庁内関係部署からなる庁内連絡会議を開催し、情報共有を図ることができました。

特に、緊急性が高い事案についての二次被害の防止と加害者対応については、関係課で迅速な対応が必要のため、関係部署の担当者と情報を共有し、ケース会議を開催するなど連携して対応しました。

「伊万里市DV被害者支援マニュアル」については、随時見直しを行い、マニュアルに即して適切な対応の徹底を図ることができました。

伊万里市女性相談対応件数等

	相談件数					合計件数	相談者 実人数
	電話相談	来庁相談	他機関との連携 / 電話相談	施設への搬送・ 職員が行う庁内 手続き等			
平成29年度 （うちDV）	173 (78)	105 (46)	83 (58)	167 (91)	528 (273)	76 (33)	
平成30年度 （うちDV）	124 (53)	112 (58)	52 (47)	162 (84)	450 (242)	81 (38)	
令和元年度 （うちDV）	124 (60)	84 (59)	88 (61)	152 (105)	448 (285)	66 (34)	
令和2年度 （うちDV）	99 (68)	77 (60)	102 (98)	120 (97)	398 (323)	67 (45)	
令和3年度 （うちDV）	196 (151)	60 (40)	15 (14)	99 (71)	370 (276)	64 (41)	

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	08	市民相談費
事務事業名	01	市民相談事業				6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり
担当部課	市民交流部 まちづくり課			施 策		23	暮らしの安全・安心の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳					不用額 (千円)	決算書
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
958	958				958	0	P. 110	

【令和3年度における事務事業の概要】

社会情勢の変化やそれに伴って起こる様々な問題、悩みに市民が遭遇したときに、手助けになるように各種相談窓口を開設し、弁護士など専門の相談員を配置しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

相談受付件数一覧

( 件 )

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
法 律 相 談	18	16	18	14	19	14	16	14	16	14	17	18	194
司 法 書 士 相 談	3	3	3	3	2	3	4	2	1	3	3	4	34
公 証 人 相 談	2	1	0	0	2	3	1	1	2	3	1	5	21
人 権 相 談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
行 政 相 談	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	-	2	4
不 動 産 相 談	2	1	1	2	0	3	5	0	0	2	2	0	18
合 計	25	21	22	20	23	24	26	17	19	22	24	29	272

行政相談（2月）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

相談対応依頼先

	依頼先	相談日
法 律 相 談	佐賀県弁護士会唐津支部	毎月第2,4水
司 法 書 士 相 談	伊万里市内の司法書士	毎月第3水
公 証 人 相 談	唐津公証役場	毎月第3木
人 権 相 談	人権擁護委員	毎月第1,3火
行 政 相 談	行政相談委員	毎月第3金
不 動 産 相 談	( 一 社 ) 佐賀県宅地建物取引業協会	毎月第2木



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	08	市民相談費
事務事業名	02	消費生活相談事業			6つのまちづくり		05	住みよい環境づくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施 策		23	暮らしの安全・安心の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
3,804		3,689	447			3,242	115	P. 112

【令和3年度における事務事業の概要】

巧妙複雑多岐にわたる消費者トラブルの相談を迅速かつ的確に処理し、被害を未然に防ぐため、「NPO法人消費生活相談員の会さが」に委託し、相談業務を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

年間242日相談日を開設し、346件の相談がありました。

	商品・役務名	件数	内 容
1	金融・保険サービス	56	借金問題、ヤミ金、生命保険、外国為替証拠金取引(FX)などに関するトラブル
2	土地・建築・設備	37	賃貸借契約、外壁塗装、屋根工事、太陽光発電システム、住宅設備等に関するトラブル
3	運輸・通信サービス	29	携帯電話サービス、光回線やWi-Fi等の通信契約などのトラブル
4	保健衛生品	26	化粧品(白髪染め、基礎化粧品、歯磨き粉、除毛剤など)・医薬品などの定期購入に関するトラブル マスク、オゾン発生器などの契約トラブル
5	教養娯楽サービス	25	アダルトサイト、副業サイト、出会い系サイトなどのトラブル
6	商品一般	25	実在の会社を名乗った迷惑メール、不審な小包の受取りなどの相談
7	被服品	23	子ども服、婦人用服、靴、貴金属、バッグ、補正下着などの契約トラブル
8	教養娯楽品	22	腕時計、スマートフォン、ポケットWi-Fi、釣り具、ゴルフ用品などの契約トラブル
9	住居品	18	敷きマット、浄水器、空気清浄機などの契約に関するトラブル
10	食料品	18	健康食品(ダイエット、筋肉増強サプリなど)の定期購入に関するトラブルなど
年間全相談件数 346件 ( 上記の合計ではない )			

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	09	公共交通費
事務事業名	01	コミュニティバス等運行事業			6つのまちづくり	04		生活の基盤づくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策	17		道路・交通体系の整備
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 112	
25,766	22,856			22,800	56	2,910		

【令和3年度における事務事業の概要】

高齢者や学生をはじめとした交通弱者に対して、移動手段を確保するとともに、公共交通機関の充実を図るため、市街地の公共施設や商業施設、病院、住宅地などを循環する「いまりんバス市街地線」、伊万里駅を中心とする半径4km圏内を循環する「いまりんバス郊外線」、山代町内の交通空白地域内を巡回する「いまりんバス地域線」の運行を西肥自動車株式会社に委託しました。

また、松浦町及び二里町においては、デマンドタクシー（予約制乗合タクシー）の運行を西肥亀の井タクシー株式会社に委託しました。

【運行委託料】

いまりんバス	市街地線	12,394,629円
	地域線	2,675,967円
	郊外線	4,543,506円
デマンドタクシー（予約制乗合タクシー）		
	松浦町	1,570,470円
	二里町	741,610円



市街地線を運行するいまりんバス車両（乗客33人乗）

【令和3年度における事務事業の成果】

いまりんバス及びデマンドタクシーの運行委託により、交通弱者の移動手段を確保することができました。利用実績は次のとおりとなりました。

いまりんバス	市街地線	39,294人
	地域線	410人
	郊外線	3,914人
デマンドタクシー		
	松浦町	242人
	二里町	14人

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



郊外線、地域線を運行するいまりんバス車両（乗客12人乗）

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	09	公共交通費
事務事業名	02	バス交通支援事業			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	市民交流部 まちづくり課			施策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 112	
100,038	89,527			89,400	127	10,511		

【令和3年度における事務事業の概要】

通学や買い物、通院など市民の日常生活を支える交通手段を確保するため、路線バスの運行費補助金として72,110,000円を支出しました。

また、地域が主体となった新たな交通体系への補助金として下記のとおり支出を行いました。

東山代町「元気バス」	8,393,000円（平成21年4月1日運行開始）
波多津町「波多津ふれあい号」	1,989,000円（平成28年1月18日運行開始）
大川町「コミュニティすこやかバス」	3,143,000円（平成29年10月2日運行開始）
黒川町「町内巡回バスくろがわ号」	3,826,000円（平成30年3月20日運行開始）



元気バス



波多津ふれあい号

【令和3年度における事務事業の成果】

路線バスの運行経費のほか、地域が主体となって取り組む地域コミュニティバス等に対する運行経費への補助を行い、交通弱者の移動手段を確保することができました。路線バス及び地域コミュニティバスの利用実績は次のとおりとなりました。

路線バス	136,474人
東山代町「元気バス」	6,051人
波多津町「波多津ふれあい号」	2,979人
大川町「コミュニティすこやかバス」	3,779人
黒川町「町内巡回バスくろがわ号」	4,587人
財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金	



コミュニティすこやかバス



町内巡回バスくろがわ号

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	09	公共交通費
事務事業名	03	鉄道交通支援事業				6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり
担当部課	市民交流部 まちづくり課			施 策		17	道路・交通体系の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
24,743	23,525	8,000		15,200	325	1,218	P. 112	

【令和3年度における事務事業の概要】

第三セクター方式により運営される松浦鉄道株式会社を支援するため、「松浦鉄道自治体連絡協議会」に対し負担金60,000円を支出したほか、同社が取り組む、老朽化した鉄道設備等の更新などの安全対策に対し、国庫補助額を除く施設整備事業費として、14,394,000円を補助しました。

また、JR筑肥線の沿線市町で組織している「筑肥線複線化電化促進期成会」に対し、負担金として42,000円を支出しました。期成会では、利用促進に関する事項、利用しやすいダイヤの改正、利用環境に関する事項など、快適な輸送サービスについての要望・提案活動を国やJR九州に対して行いました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛等により影響を受けた第三セクター方式により運営される松浦鉄道株式会社に対し8,870,000円の公共交通維持確保支援金を支出し、公共交通の維持確保に努めました。

【令和3年度における事務事業の成果】

松浦鉄道株式会社への施設整備事業費に対する沿線自治体と協調した補助を通じて、旅客輸送の安全の確保を支援することができました。

また、JR筑肥線沿線自治体で組織する「筑肥線複線化電化促進期成会」による鉄道事業者への要望活動を通じ、利便性の維持に努めるとともに、本市、JR九州、唐津市、県で組織する「筑肥線利活用に関する検討会」では、イルミネーション列車の運行のほか、運行日当日は、伊万里実業高校フードプロジェクト部によるフードドライブなどの開催を依頼し、駅の賑わいづくりを通じてJR筑肥線の利用促進に取り組みました。

松浦鉄道利用者数（伊万里市管内駅乗降客数） 556,965人

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



令和3年12月17日・18日イルミネーション列車運行



令和4年3月11日レトロ号リニューアル

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	13	交通安全対策費
事務事業名	01	交通安全指導員活動事業			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		総務部 防災危機管理課			施策	23		暮らしの安全・安心の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
5,869		5,201				5,201	668	P. 116

【令和3年度における事務事業の概要】

市内における交通安全活動の推進を図り、市民の交通安全を確保するため、伊万里市交通安全指導員設置条例に基づき、交通安全指導員を配置し、児童・生徒の通学時を中心とした交通安全指導およびイベント等における交通安全確保を行いました。

伊万里地区	3人	黒川町	3人	二里町	3人
牧島地区	1人	波多津町	2人	東山代町	3人
大坪地区	1人	南波多町	2人	山代町	3人
立花地区	2人	大川町	2人	合 計	29人
大川内町	2人	松浦町	2人		

【令和3年度における事務事業の成果】

29名を交通安全指導員として委嘱し、児童・生徒の通学時や市内の各種イベント等における街頭指導に取り組み、市内の交通安全運動の推進を図りました。



就退任式の様子  
辞令交付、市長あいさつ、  
伊万里警察署講話（市内の交通情勢）



交通安全県民運動中の活動  
伊万里ショッピングセンター内駐車場で  
交通安全啓発チラシ配布

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	13	交通安全対策費
事務事業名	02	交通安全啓発事業			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		総務部 防災危機管理課			施策	23		暮らしの安全・安心の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
339		245				245	94	P. 116

【令和3年度における事務事業の概要】

「守ろう交通ルール 高めよう交通マナー」のスローガンのもと、関係機関や団体の協力を得て、市民への交通安全の啓発活動を実施しました。

交通安全県民運動における主な取組

- 【春：4月】 新入学児童を交通事故から守る日キャンペーン（街頭指導）  
参加者：市、各地区（町）交通対策協議会、新入学児童保護者等
- 【夏：7月】 高齢者交通安全指導員研修会  
参加者：市、高齢者交通安全指導員、伊万里警察署
- 【秋：9月】 Imari Line作戦  
参加者：市、南波多町交通対策協議会、伊万里警察署 ほか
- 【冬：12月】 交通安全教室  
参加者：市、黒川小学校1.2年生、黒川町交通対策協議会、西肥自動車(株)、伊万里警察署

【令和3年度における事務事業の成果】

交通安全運動期間の機会を捉えて、季節ごとに交通安全の課題に取り組みました。  
また、年間を通して飲酒運転の根絶、子どもと高齢者の事故防止を重点推進事項として、Imari Line作戦などの街頭キャンペーン、小学校や老人クラブを対象とした交通安全教室を開催しました。  
このほか、新入学児童を交通事故から守るため、新1年生全員へ黄色いランドセルカバーを贈呈するなど交通安全意識の啓発に努めました。



交通安全県民運動期間の取組  
Imari Line作戦  
市、伊万里警察署、各地区交通対策協議会  
会で実施



子どもと高齢者の交通事故防止  
伊万里警察署等による交通安全教室  
市、伊万里警察署、バス事業者で実施

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	16	情報管理費
事務事業名	02	全庁ネットワーク運用事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 情報政策課			施策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
116,070		113,735			937	112,798	2,335	P. 118

【令和3年度における事務事業の概要】

高度化する行政事務を円滑に処理するため、全庁ネットワークシステム等の適正な維持管理や、技術部門のCAD・GISシステムの整備と運用に取り組みました。

- 全庁ネットワーク用サーバーの新規導入及び維持管理
- 全庁ネットワーク用パソコン等の新規導入及び維持管理
- 庁内電話システム機器の維持管理
- CAD・GISシステムの調査研究
- 各種情報通信機器の導入に対する調査研究

【令和3年度における事務事業の成果】

- 全庁ネットワークパソコン（60台）については今後の行政DXを見据えてペーパーレス化等に対応できる機種を導入を行いました。また、技術者用パソコン（6台）を導入しました。  
パソコンの導入実績については、下表のとおり。

パソコン導入実績

年度	全庁パソコン	技術者用パソコン
H29	200台	6台
H30	100台	6台
R元	100台	6台
R2	100台	6台
R3	60台	6台



- 市職員の情報共有や電子メールを行う、グループウェアの更新を行いました。
- 本庁及び出先機関の一部の複合機について、28台の更新及び6台の新規設置を行いました。  
また事務の効率化を図るため、2階と3階に各1台、4階に2台のホッチキス止め及び2穴パンチ等ができる機能がある多機能複合機を設置しました。



新しいグループウェア



多機能複合機

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	16	情報管理費
事務事業名	03	基幹業務システム管理運営事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		総合政策部 情報政策課			施策	27		自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
110,041		109,647	1,064		1,963	106,620	394	P. 118

【令和3年度における事務事業の概要】

住民記録や税の賦課徴収、国民健康保険、介護保険など、住民生活に密接にかかわる21の情報システムの管理・運用を行いました。

- ・ 住民票・人口統計
- ・ 選挙人名簿管理
- ・ 個人住民税（申告納税）
- ・ 軽自動車税（賦課課税）
- ・ 総合滞納管理
- ・ 国民健康保険税
- ・ 後期高齢者医療
- ・ 児童手当
- ・ 行政基本
- ・ 下水道受益者負担金
- ・ 団体内統合宛名
- ・ 印鑑登録
- ・ 固定資産税（賦課課税）
- ・ 法人住民税（申告納税）
- ・ 総合収納管理
- ・ 国民健康保険（資格）
- ・ 国民年金
- ・ 介護保険
- ・ 教育
- ・ 公営住宅
- ・ 住基ネット

【令和3年度における事務事業の成果】

- 令和3年度は、団体内統合宛名システムの更新を行いました。
- 基幹業務システムの契約業者と月1回の定例会を行い、適切なシステム運用と法改正に対応するシステム改修を行いました。
- 基幹業務システムのサービスを、開庁時間内に停止することなく提供することができました。  
システムの稼働率は、下表のとおり。

システム稼働率 (時間単位：分)

システム名	対象システム運用時間	業務停止時間	システム稼働率
住民情報	130,680	0	100.00%
受益者負担金	130,680	0	100.00%
選挙	130,680	0	100.00%
総合福祉	130,680	0	100.00%
健康管理	130,680	0	100.00%
公営住宅	130,680	0	100.00%
滞納管理	130,680	0	100.00%
税務LAN	130,680	0	100.00%

サーバーの一時的な障害はあったものの、冗長化（多重化）を行っているため業務の停止はありませんでした。



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	16	情報管理費
事務事業名	04	DX推進事業			6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	総合政策部 情報政策課			施策	27	自立した行財政運営の確立		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 120	
1,214	986			600	386	228		

【令和3年度における事務事業の概要】

デジタル化・DX（デジタルトランスフォーメーション）の取組を全庁的に推進し、積極的なデジタルシフトの意識を醸成するため、外部講師を招き市職員への研修会を行いました。

また、市からの行政情報の配布物について、紙で配布しているものを電子化し、タブレットを活用した電子回覧板の実証実験を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

市職員を対象とした研修会では、「DXの概略と進め方 ～一人の意識変化がもたらす未来～」と題し、外部講師を招き、職員一人一人の意識改革を行いました。

また、タブレットを活用した電子回覧板の実証実験では、大川町山口区の一部（10世帯）を対象に、市からの配布物を電子化し、その内容を瞬時に確認することができるよう、各世帯にタブレット1台を貸し出し、利便性などを含めた効果を検証しました。

実証実験を行った結果、様々な課題もありましたが、配布物の電子化を希望する意見が多くありました。

電子回覧板の画面

タイトル

投稿者名

添付ファイル名

掲示板の本文

掲載物のプレビュー画像

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

実証実験に使用したタブレット

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	18	国際交流推進費
事務事業名	01	国際交流推進事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	市民交流部 まちづくり課			施策		10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 122	
1,925	1,570	1,395			175	355		

【令和3年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症の影響により、友好交流都市の中国大連市との相互訪問をはじめ、海外からの訪問はありませんでしたが、相互に文書やオンラインでの意見交換や友好の確認を行いました。

また、市内の在住外国人数についても、海外からの渡航制限の影響により、技能実習生が減少したため、令和2年の655人から令和3年には578人と減少に転じましたが、依然総人口の1%を超える外国人が本市に居住しています。このため、在住外国人の幅広い相談に対応することを目的に、まちづくり課と黒川コミュニティセンターに法務省の補助を受け、令和3年7月からワンストップ型の相談窓口を開設し、専門の相談員等による多言語での相談を受け付けています。

さらに、文化庁の補助事業の採択を受け、「生活者としての外国人」のための地域日本語教室「日本語教室Awesome IMARI（オーサムいまり）」を前年に引き続き実施したほか、市民の国際交流への理解と関心を高めるため、民間レベルでの国際交流を行う2団体（市国際交流協会、市日中友好協会）へそれぞれ支援を行いました。

負担金 市日中友好協会負担金 30,000円 補助金 市国際交流協会補助金 90,000円

【令和3年度における事務事業の成果】

・外国人のための「ワンストップ相談窓口」の開設を行い、開設から年度末までに19件の相談を受け付けました。

- ・「日本語教室Awesome IMARI」を5回開催しました。
  - 1回目 7月11日「自転車教室」外国人参加者22人（黒川コミュニティセンター）
  - 2回目 9月 5日「日本の病院とワクチン接種を知ろう」外国人参加者23人（生涯学習センター）
  - 3回目 10月 3日「日本人との交流」外国人参加者10人（黒川コミュニティセンター）
  - 4回目 10月31日「日本人との交流」さが国際フェスタ外国人参加者10人（小城公園）
  - 5回目 1月23日「市役所を知ろう」外国人参加者36人（黒川コミュニティセンター）

・市日中友好協会主催の「餃子会」が開催され、市日中友好協会会長の深浦市長夫妻と大連市中日友好協会の于建軍会長夫妻がオンラインで新年のあいさつを交わしました。



第1回日本語教室「Awesome IMARI」自転車教室



さが国際フェスタ 小城公園

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	02	地域づくり推進事業			6つのまちづくり		06	自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策		25	市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
9,343		8,084			8,026	58	1,259	P. 122

【令和3年度における事務事業の概要】

人口減少や少子高齢化社会が急進していくなか、住み慣れた地域で将来にわたって元気に安心して暮らせるまちを目指し、地域課題の解決や身近なまちづくりに取組に対して支援を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

地域づくりサポーター（集落支援員）の活動費用及び地区のコミュニティ運営協議会のまちづくり計画に基づく地域住民の交流を促進する取組に対して、財政的な支援を行いました。

地域づくりサポーター

- ・波多津コミュニティセンター 1人（R3.4.1～）
- ・二里コミュニティセンター 1人（R3.4.1～）
- ・黒川コミュニティセンター 1人（R3.4.1～）
- ・南波多コミュニティセンター 1人（R3.4.1～R3.10.31）

<活動費>

- ・消耗品費： 90千円
- ・燃料費： 224千円
- ・修繕料： 18千円
- ・使用料及び賃借料：1,026千円（公用車4台分）
- 合 計： 1,358千円

地域づくり交付金

地区名	交付金額	区分	主 な 事 業
伊万里地区	425,783円	新規	地域の賑わい創生活動
牧島地区	550,000円	継続	カプトガニの保護事業、高齢者施策事業
大坪地区	550,000円	継続	大坪の夢プロジェクト事業
立花地区	550,000円	新規	木工芸体験事業
大川内町	432,121円	継続	せいらサマースクール、秋まつり農産物販売
黒川町	550,000円	新規	外国人実習生との交流事業
波多津町	550,000円	新規	波多津町空家対策事業、みんなで学ぼう！波多津塾
南波多町	550,000円	新規	人材育成事業、住民の意識調査事業
大川町	550,000円	新規	私の好きな大川町コンテスト
松浦町	550,000円	継続	松浦ハッピーフェスティバル開催事業
二里町	550,000円	新規	二里町地域づくり支援金事業
東山代町	550,000円	新規	史跡めぐりウォーキング大会開催事業
山代町	368,000円	新規	山代町移動支援事業（やましろべんりカー）
合 計	6,725,904円		

財源内訳の「その他」のうち6,726千円はまちづくり基金繰入金、1,300千円はふるさと応援基金繰入金

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	03	市民活動促進事業				6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり
担当部課	市民交流部 まちづくり課			施策		25	市民との協働によるまちづくりの推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
24,748	24,239	2,587		21,600	52	509	P. 124	

【令和3年度における事務事業の概要】

自治総合センターの社会貢献広報事業であるコミュニティ助成事業を活用し、地域のコミュニティ活動に必要な備品などの整備に要する経費を助成しました。

また、伊万里市さが未来アシスト事業費補助金事業では、県の補助事業を活用し、地域に存在する自然、人等の地域資源を活かした自発の地域づくりに取組む実施事業主体に対して補助金を交付しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

コミュニティ助成事業

1. 申請団体： 4団体
2. 助成金：20,200千円  
 脇野区 2,500千円  
 浦区 1,100千円  
 笠椎区 1,600千円  
 大里区 15,000千円
3. 実施内容：  
 無線放送システムの構築、公民館へ基地局を設置  
 屋外有線放送設備の更新  
 会議用テーブル、椅子の整備  
 大里公民館（コミュニティセンター）の建設

伊万里市さが未来アシスト事業費補助金事業

1. 申請団体： 6団体
2. 助成金：4,025千円  
 古伊万里通りのおひなさま実行委員会 1,260千円  
 南波多フットパス研究会 315千円  
 特定非営利活動法人NPO栄町地域づくり会 563千円  
 大野岳タイワンツバメシジミ保存会 478千円  
 佐代姫保存会 648千円  
 黒川町家読連絡会 761千円
3. 実施内容：  
 古伊万里通りでのおひなさまの実施や地域の伝承事業、世代交流促進とコミュニティ活動拠点整備事業など市民との協働によるまちづくりに貢献することができました。

財源内訳の「その他」のうち1,400千円は、ふるさと応援基金繰入金



完成した大里公民館



古伊万里通りのおひなさまの展示風景

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	04	婚活推進事業			6つのまちづくり		06	自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策		28	移住・定住の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 124
498		165				165	333	

【令和3年度における事務事業の概要】

結婚を希望する男女に対し、婚活イベントの開催 1対1のお引き合わせ 結婚支援相談員による婚活相談業務 婚活応援事業者の婚活イベントの情報提供などの結婚活動支援を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

数値は、令和4年3月31日現在

○登録者数

男性	女性	合計
753人	726人	1,479人

内、成婚315人、退会630人

○実数

男性	女性	合計
333人	201人	534人

	令和3年度			
	開催回数	参加者数		
		男性	女性	合計
出合いの場のイベント	7回	14人	14人	28人
プロフィール引き合わせ	77回	77人	77人	154人
合計	84回	91人	91人	182人

	令和3年度	平成22年度～令和3年度累計
登録者数	32人	1,479人
成婚報告者 (内、登録者同士)	21人 (4人)	315人 (110人)
イベント回数	7回	123回
カップル数	3組	538組
現在交際中	3組	3組
プロフィールによる引き合わせ	77組	329組
カップル数	40組	187組
現在交際中	8組	8組
相談・問い合わせ件数 (内、メール)	974件 (345件)	10,168件 (4,214件)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	07	大坪保育園・コミュニティセンター複合施設整備事業			6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	市民交流部 まちづくり課			施策	25	市民との協働によるまちづくりの推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 126	
237,470	234,897		207,700	27,197	0	2,573		

【令和3年度における事務事業の概要】

大坪保育園及び大坪コミュニティセンターの老朽化に伴い、国の公共施設等適正管理推進事業債を活用し複合施設の整備を行いました。

なお、保育園部分とコミュニティセンター部分を含んでいるため、予算は民生費と総務費で按分しています。(延床面積按分)

工事監理業務委託	11,562,100円	(うち 総務費	5,622,100円、	民生費	5,940,000円)
建設工事	472,671,100円	(うち 総務費	225,151,300円、	民生費	247,519,800円)
各種手数料等	297,910円	(うち 総務費	183,910円、	民生費	114,000円)
備品購入費	13,573,021円	(うち 総務費	3,802,625円、	民生費	9,770,396円)
落成式費用	137,434円	(全額総務費)			

【令和3年度における事務事業の成果】

令和3年10月に施設が完成し、11月に落成式を行いました。

複合施設が完成したことにより、将来にわたる維持費等の縮減効果のほか、地元住民や団体等の多様な参画による地域の子育て力の向上をはじめ、コミュニティ活動や世代間交流が促進されるなど、ソフト面、ハード面ともに大きな効果がありました。

上記の決算額は、総務費(コミュニティセンター)のみであり、民生費(保育園)は含んでおりません。

財源内訳の「その他」は、まちづくり基金繰入金

完成した大坪保育園・コミュニティセンター複合施設



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	08	東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業			6つのまちづくり		06	自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策		25	市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,286		1,286			1,286	0	0	P. 128

【令和3年度における事務事業の概要】

東山代小学校及び東山代コミュニティセンターの老朽化に伴い、国の公共施設等適正管理推進事業債を活用し複合施設を整備するため、基本設計を行いました。

なお、コミュニティセンター部分と児童クラブ部分、小学校部分を含んでいるため、予算は総務費、民生費、教育費で按分しています。(延床面積按分)

複合施設改築基本・実施設計業務委託 25,461,700円  
(うち、総務費 1,285,900円、民生費 353,100円、教育費 23,822,700円)

【令和3年度における事務事業の成果】

令和3年度については、基本設計を行いました。事業期間は令和3年度から令和7年度であり、スケジュールに沿って事業を進めることができました。

上記の決算額は、総務費(コミュニティセンター)のみであり、民生費(児童クラブ)、教育費(小学校)は含んでおりません。  
財源内訳の「その他」は、まちづくり基金繰入金

コミュニティセンター部分 完成イメージ



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	09	自治公民館感染防止対策支援事業			6つのまちづくり		06	自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策		25	市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
33,440	33,440	15,000		18,400	40	0	P. 128	

【令和3年度における事務事業の概要】

自治公民館等は、地域住民のまちづくりに係る活動の拠点であることから、新型コロナウイルス感染症予防につながる自治公民館の環境整備に対して支援しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

自治公民館等において、新型コロナウイルス感染症予防のための環境整備費用や備品購入費用を助成しました。

補助額：対象となる総事業費の90%以内。（ただし、1自治公民館対して上限300千円）

1 申請団体： 136団体

2 助成金：33,440千円

(1) トイレの洋式化 2,444千円

(2) 洗面所蛇口の自動水洗化 4,943千円

(3) 空気清浄器購入 4,474千円

(4) エアコン設置 21,579千円

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

トイレの洋式化



蛇口の自動水洗化



空気清浄機



エアコンの設置





款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	10	自治公民館新改築支援事業			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策	25		市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
440		440				440	0	P. 128

【令和3年度における事務事業の概要】

自治公民館は地域住民のまちづくりに係る活動の拠点であることから、地域コミュニティ活動の拠点整備の促進を図るため、自治公民館建設の市補助制度を設けており、令和3年度は1件の補助を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

南波多町重橋区が本事業交付要綱の規定に基づく改築を行うため、財政的な支援を行いました。

- 1 申請者：南波多町重橋区
- 2 総事業費：2,200千円（補助対象経費）
- 3 補助金額：440千円 補助対象経費の20%、限度額800千円

施工後の重橋公民館



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	11	NPO法人感染防止対策支援事業			6つのまちづくり		06	自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策		25	市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,500	940	606				334	560	P. 128

【令和3年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が一部制限されている市内のNPO法人に対して、感染防止対策に係る支援として経費の一部を補助することで、コロナ禍でのNPO活動の活性化を図りました。

【令和3年度における事務事業の成果】

- 1 申請団体： 10団体
- 2 助成金：940千円
  - ・ベビーランドおりこうさん 100千円
  - ・伊万里湾小型船安全協会 100千円
  - ・五大樹 100千円
  - ・にこにこくらぶ 100千円
  - ・日本青パイ隊 100千円
  - ・まちづくり伊萬里 100千円
  - ・NPO栄町地域づくり会 100千円
  - ・まちづくり波多津 71千円
  - ・歴史と文化の里・松浦 69千円
  - ・こすもす村 100千円

サーマルAIカメラ



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	12	コミュニティセンター改修事業(繰越明許)			6つのまちづくり	06		自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 まちづくり課			施策	25		市民との協働によるまちづくりの推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
46,812		46,079	46,070			9	733	P. 128

【令和3年度における事務事業の概要】

コロナ禍において3密を解消するため、研修室や和室だけでなく講堂も災害時の避難場所とする必要があることから、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、大雨等の災害時の指定避難所である各地区のコミュニティセンターのうち、講堂にエアコンが設置されていない9か所のコミュニティセンター(伊万里、牧島、立花、大川内、南波多、松浦、二里、東山代、山代)に、コイン式エアコンを設置しました。

前年度繰越事業  
(工事監理業務委託料、工事請負費の一部46,812千円を前年度から繰越)

【令和3年度における事務事業の成果】

講堂に、コイン式エアコンを設置したことにより、和室に加えて空調の整備された避難スペースが増加し、全ての避難者が快適に過ごせるようになりました。また、広いスペースを確保できることから、コロナ禍を理由に避難を敬遠していた市民にとっても、避難しやすい避難所となりました。

【事業内訳】

- ・空調設備設置工事監理業務委託料 1,929千円
- ・空調設備設置工事 44,150千円



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	協働のまちづくり推進費
事務事業名	13	コミュニティセンター感染防止対策事業（繰越明許）	6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり			
担当部課	市民交流部 まちづくり課		施策	25	市民との協働によるまちづくりの推進			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
33,383	31,680	31,680			0	1,703	P. 128	

【令和3年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、地域のコミュニティ活動の中核を担うとともに、避難所としての機能を持つコミュニティセンターの感染防止を図るため、トイレ改修やバリアフリートイレの新設等、衛生環境整備を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

令和3年度は、工事に着手し、全13地区コミュニティセンターのトイレを洋式化するとともに、手洗いの自動水栓化、牧島、山代コミュニティセンターにバリアフリートイレを設置しました。

このことにより、高齢者等が使いやすく、コロナ禍においても安心して使えるトイレになりました。

【事業内訳】

- ・委託料
  - トイレ改修工事設計業務委託 1,837,000円
  - トイレ改修工事監理業務委託 1,353,000円
  - 合計 3,190,000円
- ・工事請負費
  - トイレ改修建築工事 14,795,000円
  - トイレ改修機械設備工事 13,695,000円
  - 合計 28,490,000円



款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	21	市民センター費
事務事業名	01	市民センター管理運営事業			6つのまちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		市民交流部 市民センター			施 策		10	文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
60,592	59,622	250		5,408	53,964	970	P. 128	

【令和3年度における事務事業の概要】

市民の文化活動の拠点である市民センターは、多くの市民の方々にご利用いただいております。施設の適正な運営と維持管理に努めました。また、新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場を確保するなど、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策にも取り組みました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度は文化ホールをはじめ貸館施設の利用件数・利用者数ともに減少しましたが、令和3年度は利用件数が前年度比プラス25%、利用者数が前年度比プラス49%とやや回復傾向がみられました。このため、光熱水費は前年度比プラス14%の支出額となりました。

【令和3年度における事務事業の成果】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも、貸館業務を通じて、文化意識の高揚に貢献することができました。

市民センター利用状況推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用件数	3,088件	2,297件	2,882件
利用者数	131,060人	53,744人	80,231人

市民センター光熱水費決算額推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
電気料	6,848千円	3,601千円	4,034千円
ガス代	1,810千円	1,355千円	1,733千円
水道料	662千円	438千円	396千円
合計	9,320千円	5,394千円	6,163千円

決算額は、総務課人件費等16,017千円を含みます。

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	21	市民センター費
事務事業名	02	市民会館管理運営事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		市民交流部 市民センター			施 策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
7,050	6,315	58			1,696	4,561	735	P. 130

【令和3年度における事務事業の概要】

公共施設ファシリティマネジメントの観点から、市民会館大ホールについては、令和元年度末をもって廃止しました。大ホール以外の会議室や楽屋等については引き続き貸し出していました。本館解体工事の完了に伴い、令和3年度末をもって市民会館本館を廃止し、会議棟については、中央公民館（生涯学習センター）に統合しました。

大ホールの廃止及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、貸館施設の利用状況は、令和3年度は、利用件数が前年度比マイナス30%、利用者数が前年比マイナス23%と減少傾向が続き、光熱水費は前年度比マイナス31%の支出額となりました。

【令和3年度における事務事業の成果】

大ホールの廃止及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも、貸館業務を通じて、文化意識の高揚に努めました。

市民会館利用状況推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用件数	1,424件	681件	477件
利用者数	22,307人	6,049人	4,664人

市民会館光熱水費決算額推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
電気料	2,877千円	1,912千円	1,390千円
ガス代	823千円	459千円	242千円
水道料	162千円	141千円	108千円
合計	3,862千円	2,512千円	1,740千円

市民会館委託料決算額推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
委託料	9,809千円	5,740千円	4,346千円

款	02	総務費	項	02	徴税费	目	02	賦課徴収費
事務事業名	01	市税等賦課徴収事業			6つのまちづくり	06	自立と協働のまちづくり	
担当部課	総務部 税務課、収納管理課			施策		27	自立した行財政運営の確立	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 132	
68,360	60,805	42,081			18,724	7,555		

【令和3年度における事務事業の概要】

個人市民税の課税対象となる所得や固定資産などの課税客体の把握による適正な課税に加え、市税の収納率向上のため、現年度分については、初期滞納者に対する催告等による納税勧奨や預貯金等の差押えなど、早期滞納処分に取り組みました。

【令和3年度における事務事業の成果】

現年度の調定額は、個人市民税が給与所得の減少により減少したものの、法人市民税が新型コロナウイルス感染症の影響はあるが企業収益の増加などにより増加したため、市民税全体では、前年度比75,448千円（2.9%）の増加となりました。一方、固定資産税は、設備投資の増加で償却資産は増加したものの、評価替えによる経年減点補正に伴う家屋の評価額が減少した影響もあり、前年度に比べ81,988千円（2.2%）減少したため、市税全体では、前年度に比べ669千円（0.01%）の減少となりました。

また、市税の収納率向上を目的として、口座振替やキャッシュレス支払い等の推進により、納税しやすい環境整備に努め、自主納付の推進を図りました。一方、滞納者に対しては、文書・電話催告等による納税勧奨を行い、その後も納付がなければ早い段階で滞納処分（差押等）を実施するなど、滞納の抑制に努めました。加えて、滞納累積事案については、滞納者の実態把握や財産調査を徹底するとともに、預貯金などの債権を中心とした差押などの滞納処分の強化を図り、収入未済額を前年より、19,618千円縮減することができました。

このような取組の結果、滞納繰越分を含めた市税全体の収納率は前年度に比べ0.4ポイント増の98.2%となり、健全な財政基盤の確立に寄与しました。

《令和3年度歳入 市税決算の状況》

（単位：千円）

税 目	予算額	調定額	収入済額	収 納 率（%）		
				現年課税分	滞納繰越分	合 計
個人市民税	1,951,398	2,231,607	2,181,896	99.5	24.7	97.8
法人市民税	249,808	542,568	541,879	100.0	43.0	99.9
固定資産税	3,682,246	3,775,311	3,702,124	99.3	36.3	98.1
軽自動車税	218,880	225,088	219,636	99.3	21.4	97.6
市たばこ税	497,086	487,226	487,226	100.0	-	100.0
入湯税	51	98	98	100.0	-	100.0
特別土地保有税	-	-	-	-	-	-
合計	6,599,469	7,261,898	7,132,859	99.5	31.3	98.2

《令和3年度収納率向上の取組実績》

- ・ 差押件数 : 1,355件（差押金額 106,405千円、換価金額 32,299千円）
- ・ 口座振替件数 : 143,792件（対前年比100%）
- ・ 電子決済件数 : 4,834件（対前年比206%）
- ・ 夜間・休日相談件数 : 320件
- 収入未済額 : 112,795千円（対前年比 15%）

款	02	総務費	項	03	戸籍住民基本台帳費	目	01	戸籍住民基本台帳費
事務事業名	01	戸籍住民基本台帳事業			6つのまちづくり		06	自立と協働のまちづくり
担当部課		市民交流部 市民課			施策		27	自立した行財政運営の確立
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 134
167,977		150,373	31,471		10,813	108,089	17,604	

【令和3年度における事務事業の概要】

住民異動届を受付し、住民基本台帳への記録等を適正に行うとともに、住民票に関する証明書、戸籍の附票等の交付、印鑑登録事務を行いました。

戸籍届の審査、受理及び戸籍の記載処理、諸証明書の交付を行うとともに、出生死亡等の人口統計に関する報告を行いました。

市民の利便性の向上及び行政の効率化、公平公正な社会の実現を図るため、マイナンバーカードの交付や取得促進に関する事業を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

住民異動等に伴う届出の事務処理及び住民基本台帳法、戸籍法等に基づく諸証明の発行を正確かつ迅速に行いました。

戸籍法の一部を改正する法律に基づき、国が構築する戸籍情報連携システム（令和5年度以降運用開始予定）が稼働するための準備として、国が管理する戸籍副本データ管理システムに戸籍副本データの全件送信を実施しました。

マイナンバーカード取得促進については、CATVや広報等により、早期の取得を呼びかけるとともに、日曜開庁や火曜の窓口延長の実施、市内高校など5施設（15回訪問・239件受付）を訪問する出張申請を実施したこと等により、8,528件を交付できました。

決算額は、総務課人件費等111,784千円を含みます。

不用額は、令和4年度への繰越明許費1,232千円を含みます。



マイナンバーカード受付カウンター

諸証明

項目	件数
戸籍等	32,432
住民票等	23,404
印鑑証明書	16,069
税証明書	16,602
その他証明書等	1,306
計	89,813

住民異動届

項目	件数
転入	1,160
転出	1,462
転居	972
年金	937
国保	1,966
その他	609
戸籍届	1,640
計	8,746

マイナンバーカード交付件数

年度	件数
H27	1,477
H28	1,827
H29	1,266
H30	1,330
R元	1,706
R2	5,395
R3	8,528
計	21,529



款	02	総務費	項	04	選挙費	目	03	衆議院議員選挙費
事務事業名	01	衆議院議員選挙執行业			6つのまちづくり			
担当部課	選挙管理委員会事務局		施策		施策体系外事業			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 136	
24,797	24,790	23,887			903	7		

【令和3年度における事務事業の概要】

令和3年10月31日執行の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の管理執行経費として24,790千円を支出しました。

- 公示日 令和3年10月19日
- 投票日 令和3年10月31日

【令和3年度における事務事業の成果】

- 投票率（伊万里市） 61.93%（H29衆議院選 60.47%）
  - （全国） 55.93%（H29衆議院選 53.68%）
- 在外投票を含む投票率

決算額は、職員人件費9,246千円を含んでいます。



款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費
事務事業名	03	社会福祉協議会支援事業			6つのまちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施 策		01	地域福祉の充実
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 144
17,573		11,892				11,892	5,681	

【令和3年度における事務事業の概要】

地域福祉の充実を図るため、地域福祉活動の中核的存在である社会福祉法人伊万里市社会福祉協議会に対し、人件費の補助を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

伊万里市社会福祉協議会の職員の安定した雇用を維持することにより、地域関係団体等との連携による地域福祉の充実を図ることができました。

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	対象人数	金額	対象人数	金額	対象人数	金額
補助金	4人	13,048千円	5人	16,492千円	5人	11,892千円
運営費分	3人	10,836千円	4人	14,118千円	4人	9,845千円
福祉バス分	1人	2,212千円	1人	2,374千円	1人	2,047千円

人数は、補助対象者人数。

補助対象者職種		令和元年度	令和2年度	令和3年度
		運営費分	事務局長	事務局長
	総務係長	総務係長	総務係長	
	主任相談支援員	地域福祉係長	書記	
		書記	相談支援員	
福祉バス分	福祉バス運転手	福祉バス運転手	福祉バス運転手	

不用額の理由

補助対象職員2名を委託事業（国庫補助対象事業）に配置変更したことによる補助額の減。

職員1名の育児休暇取得による補助額の減。

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費
事務事業名	04	民生・児童委員活動事業			6つのまちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策		01	地域福祉の充実
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
23,774		23,669	12,969			10,700	105	P. 144

【令和3年度における事務事業の概要】

地域住民の身近な相談相手となり、関係機関の福祉サービス事業へ繋げる役割を担い、また地域の社会福祉の増進に寄与する民生委員・児童委員の活動の支援を行いました。

佐賀県民生委員・児童委員活動費等市町交付金

民生委員・児童委員活動費（全委員）	60,200円/人 ×	163人 =	9,812,600円
民生委員・児童委員活動費（会長）	11,770円/人 ×	11人 =	129,470円
地区民生委員協議会運営費	1,700円/人 ×	163人 =	277,100円
地区民生委員協議会活動推進費	250,000円 ×	11地区 =	2,750,000円

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
民生委員・児童委員数	163人	163人	163人
推薦会開催回数	4回	4回	1回

改選の年

【令和3年度における事務事業の成果】

民生委員・児童委員の活動を支援することにより、支援を必要とする地域住民の生活の安定に寄与することができました。

令和3年度は、委員の死亡による欠員補充のため、民生委員推薦会を1回開催しました。

(単位：千円)

費 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考
報 酬	188	188	36	
報 償 費	69	6	0	
旅 費	27	16	4	
委 託 料	18,651	18,778	19,679	民生委員児童委員活動委託料 19,679千円
負担金、補助及び交付金	3,730	3,950	3,950	全国民児協負担金・共助負担金 424千円 佐賀県民児協負担金 380千円 運営費補助金 396千円 活動推進費補助金 2,750千円
計	22,665	22,938	23,669	

○財源内訳

一 般 財 源	10,092	9,974	10,700
県 補 助 金	12,573	12,964	12,969
民生委員・児童委員活動費	9,607	9,808	9,813
民生委員・児童委員活動費	129	129	129
地区民生委員協議会運営費	277	277	277
地区民生委員協議会活動推進費	2,530	2,750	2,750
民生委員推薦会費	30	-	-

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費
事務事業名	08	避難行動要支援者支援事業			6つのまちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策		01	地域福祉の充実
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
584		552				552	32	P. 144

【令和3年度における事務事業の概要】

災害時に円滑かつ迅速な避難の確保を図るために、避難等に支援を要する避難行動要支援者のうち、地域の支援者等への情報提供を同意された人の名簿を作成し、支援者である駐在員、民生委員・児童委員、防災会長、コミュニティセンター、消防署、警察署、社会福祉協議会に提供しました。

また、情報提供の意思確認ができていない人に対して、同意者名簿登録申請についての案内文書を送付し、避難時における支援の必要性についての確認を促しました。

さらに、既に名簿に登録されていた人に対しても、現在の状況を確認するために文書を送付し、登録内容の更新を行い、今までは配付を行っていなかった個人毎の「個別避難計画」についても、名簿と併せて配付を行いました。

対象者

生活の基盤が自宅にある人のうち、次のいずれかに該当する人。

- ・要介護認定を受けている人（要介護1～5）
- ・身体障がい者手帳の1, 2級（総合等級）で第一種の人（心臓、腎臓機能障がいのいずれかのみで該当する人は除く。）
- ・療育手帳Aの人
- ・精神障がい者保健福祉手帳1～2級で単身世帯の人
- ・市が実施する生活支援サービスを受けている難病患者
- ・上記以外で市が支援の必要を認めた人

このほか、平成28年度に導入を行った「避難行動要支援者管理システム」について改修を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

同意者名簿を駐在員、民生委員、防災会長、コミュニティセンター、消防署、警察署、社会福祉協議会に配付し、地域における支援体制の推進を図ることができました。

名簿登録情報の更新・追加・削除を行うことで最新の状況を反映し、名簿と併せて個別避難計画の配付を行いました。

名簿登録者数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
避難行動要支援者名簿登録者数	3,350人	3,230人	2,852人
同意者数	1,260人	1,270人	1,033人

年度末現在の人数

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	国民年金取扱費
事務事業名	01	国民年金取扱事業				6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課	市民交流部 市民課			施 策		02	高齢者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
10,997	10,845	10,845			0	152	P. 146	

【令和3年度における事務事業の概要】

国民年金事業のうち適用関係届や免除申請、給付請求書の受付等を、市が「法定受託事務」として行いました。また、日本年金機構との協力・連携を図りながら保険料の口座振替や納付等の相談を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

国民年金業務の法定受託事務及び協力・連携の実施により、被保険者の年金受給権を確保することで生活の維持、向上を図ることができました。

(受付件数)

適用関係届

区分	件数
被保険者資格取得届	658
被保険者種別変更届	97
被保険者資格取得申出	8
被保険者資格喪失届	64
被保険者資格喪失申出	3
付加納付・辞退申出	19
付加該当・非該当届	3
保険料免除理由該当届	34
保険料免除理由消滅届	12
年金手帳再交付申請	31
産前産後免除該当届	27
その他	103
合計	1,059

免除申請

区分	件数
H30年度申請免除	1
R元年度申請免除	16
R2年度申請免除	74
R3年度申請免除	168
H30年度学生納付猶予	0
R元年度学生納付猶予	1
R2年度学生納付猶予	11
R3年度学生納付猶予	86
合計	357

給付請求

区分	件数
老齢基礎年金	8
未支給年金	418
その他請求	108
合計	534

(相談件数) 3,048件

決算額は、総務課人件費等10,721千円を含みます。

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	03 障がい者福祉費	
事務事業名	02 手話通訳者・要約筆記者派遣養成事業	6つのまちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課	施 策		03	障がい者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳			不用額 (千円)	決算書
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,209	1,115	559			556	94 P. 148

【令和3年度における事務事業の概要】

手話通訳者・要約筆記者派遣事業

- [ 根拠規定 ] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律  
伊万里市手話通訳者・要約筆記者派遣事業実施要綱
- [ 対象者 ] ・聴覚障がい者又は音声・言語機能障がい者等で、コミュニケーションの手段として手話又は要約筆記を使用する者  
・聴覚障がい者等が参加する大会、講演、講習会等の主催者
- [ 派遣条件 ] ・届出、相談等のため、公的機関に赴く場合  
・受診、相談等のため、医療機関等に赴く場合  
・就業等の職業に関するもので、事業所等に赴く場合 など
- [ 基準単価 ] ・派遣活動費：最初の1時間まで2,200円、以降30分ごと800円加算  
・コーディネート費：申請1回当たり1,000円  
手話通訳者等の交通費、入場料その他の実費は、派遣対象者の負担
- [ 委託先 ] 一般社団法人 佐賀県聴覚障害者協会
- [ 特定財源 ] 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》

手話奉仕員養成事業

- [ 根拠規定 ] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律  
伊万里市手話奉仕員養成事業実施要綱
- [ 対象者 ] 手話の学習経験がなく、聴覚障がい者等の福祉増進に理解と熱意がある者
- [ 事業内容 ] 『手話奉仕員及び手話通訳者養成カリキュラム』に基づく講習  
受講者数は25名を上限、講座は1回当たり2時間・全47回
- [ 受講料 ] 無料  
講師料(1人1時間当たり2,500円)、テキスト代(3,300円)等は公費負担
- [ 委託先 ] 一般社団法人 佐賀県聴覚障害者協会
- [ 特定財源 ] 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》

＜決算額（支出済額）の推移＞

歳出（節以下）	令和元年度	令和2年度	令和3年度
報酬（手話通訳専門員報酬）	1,521 千円	福祉総務事業へ	
旅費（費用弁償）	7 千円	0 千円	0 千円
需用費（消耗品費）	55 千円	0 千円	88 千円
役務費（郵送料）	4 千円	0 千円	4 千円
委託料 (手話通訳者・要約筆記者派遣事業委託料)	986 千円 (322 千円)	193 千円 (193 千円)	1,023 千円 (228 千円)
(手話奉仕員養成講座開催業務委託料)	(664 千円)	(0 千円)	(795 千円)
負担金、補助及び交付金 (手話研修会参加負担金)	5 千円	0 千円	0 千円

新型コロナウイルス感染拡大に伴い不用

【令和3年度における事務事業の成果】

支援の種類	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
手話通訳者・要約筆記者派遣事業	延べ派遣回数	46 回	40 回	96 回
手話奉仕員養成事業(講座開催)	受講修了者数	9 人	- 人	7 人

新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	03	障がい者日中生活支援事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課			施 策		03	障がい者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 148	
6,212	4,276	2,156			2,120	1,936		

【令和3年度における事務事業の概要】

障がい者支援施設等において、障がい者の日中における活動の場を提供しました。  
また、居宅における訪問入浴車での入浴介助サービスを提供しました。

日中一時支援事業

- [ 根拠規定 ] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律  
伊万里市障がい者等日中一時支援事業実施要綱
- [ 対象者 ] 在宅の障がい者(児)で、日中に監護者がおらず一時的な見守りが必要な者
- [ 事業内容 ] 障がい者支援施設等において、障がい者(児)の日中活動の場の提供や一時的な見守り、社会に適應するための日常的な訓練等を実施する。  
宿泊を伴うものを除く。
- [ 基準単価(1回) ] 4時間以下：1,220円～5,970円  
4時間超8時間以下：2,440円～11,950円  
8時間超：3,660円～17,920円  
送迎加算：550円(特別支援学校から施設までの区間)  
入浴加算：2,000円(重度心身障がい児が入浴を利用する場合)
- [ 特定財源 ] 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》

訪問入浴サービス事業

- [ 根拠規定 ] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律  
伊万里市障がい者等訪問入浴サービス事業実施要綱
- [ 対象者 ] 在宅の障がい者(児)で、当該事業を利用しなければ入浴が困難な者  
本事業に相当する他のサービス給付が受給可能な者を除く。
- [ 事業内容 ] 居宅を訪問し、浴槽を提供して行われる入浴介護(訪問入浴車など)  
利用回数は、1週間のうち3回以内
- [ 基準単価(1回) ] 12,500円
- [ 特定財源 ] 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》

< 決算額(支出済額)の推移 >

歳出(節以下)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
委託料	4,027 千円	3,894 千円	4,276 千円
(障がい者等日中一時支援事業委託料)	(1,866 千円)	(1,412 千円)	(1,489 千円)
(障がい者等訪問入浴サービス事業委託料)	(2,161 千円)	(2,482 千円)	(2,787 千円)

【令和3年度における事務事業の成果】

障がい者の日中における活動の場を提供するとともに、家族等の介護者の一時的な休息を確保することができました。

また、訪問入浴サービスを提供し、障がい者(児)の身体の清潔の保持を図ることができました。

支援の種類	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
日中一時支援事業	利用者数	18 人	18 人	21 人
	延べ利用回数	856 回	229 回	585 回
訪問入浴サービス事業	利用者数	3 人	3 人	3 人
	延べ利用回数	177 回	231 回	223 回

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	05	障がい者(児)等日常生活用具給付事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課			施 策		03	障がい者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 148	
13,278	11,523	5,810			5,713	1,755		

【令和3年度における事務事業の概要】

在宅の重度障がい者に対して、日常生活をより便利にするための日常生活用具を給付しました。

重度障がい者等日常生活用具給付事業

[ 根拠規定 ] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

伊万里市重度障がい者等日常生活用具給付等事業実施要綱

[ 対象者 ] 在宅の重度障がい者(児)(身体障がい者手帳が概ね2級以上、療育手帳A、難病患者等)

[ 対象品目 ] 日常生活用具(入浴補助用具、ストーマ装具、紙おむつ等)

[ 特定財源 ] 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》

小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業

[ 根拠規定 ] 厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知(「小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業の実施について」)

伊万里市小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業実施要綱

[ 対象者 ] 在宅の小児慢性特定疾病(788疾病、R4.3.31現在)医療の給付対象児童

[ 対象品目 ] 日常生活用具(入浴補助用具、ストーマ装具、紙おむつ等)

[ 特定財源 ] 佐賀県小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業費補助金《補助率：県1/2》

< 決算額(支出済額)の推移 >

歳出(節以下)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
扶助費	13,946 千円	11,770 千円	11,523 千円
(日常生活用具給付費)	(13,946 千円)	(11,650 千円)	(11,523 千円)
(小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付費)	(0 千円)	(120 千円)	(0 千円)
返還金(国庫支出金等精算返納金)	79 千円	118 千円	- 千円

【令和3年度における事務事業の成果】

介護・訓練支援用具などの日常生活用具を給付し、在宅の重度障がい者の生活支援を図ることができました。

日常生活用具給付事業

用具の種類	内訳は主なもの	令和元年度	令和2年度	令和3年度
介護・訓練支援用具		12 件	4 件	- 件
自立生活支援用具		11 件	6 件	7 件
在宅療養等支援用具		12 件	7 件	3 件
情報・意思疎通支援用具		8 件	3 件	13 件
排泄管理支援用具		1,173 件	1,113 件	1,069 件
居宅生活動作補助用具(住宅改修費)		4 件	2 件	2 件

小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業

用具の種類	内訳は主なもの	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人工鼻		- 件	1 件	- 件



款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	06	身体障がい者(児)補装具給付事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課			施 策		03	障がい者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
17,059	13,164	9,854			3,310	3,895	P. 148	

【令和3年度における事務事業の概要】

身体障がい者(児)に対し、日常生活及び社会生活をより容易にするための補装具の購入・修理、補聴器の購入・修理・更新等に要する費用を支給しました。

補装具交付

- [ 根拠規定 ] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律
- [ 対象者 ] 身体障がい者等（対象品目に応じて身体障がい者手帳が一定の等級以上、難病患者等）
- [ 対象品目 ] 義肢（義手・義足）、装具、補聴器、車椅子など
- [ 特定財源 ] 障がい者自立支援給付費負担金《負担割合：国1/2、県1/4》

軽度・中度難聴児補聴器給付事業

- [ 根拠規定 ] 伊万里市軽度・中度難聴児補聴器給付事業実施要綱
- [ 対象者 ] 身体障がい者手帳の交付対象外の軽度・中度難聴児、又は人工内耳を装着する難聴児
- [ 対象品目 ] 補聴器の購入・修理・更新、人工内耳体外機の更新
- [ 特定財源 ] 佐賀県難聴児補聴器購入費助成事業補助金《補助率：県1/2以内》

< 決算額（支出済額）の推移 >

歳出（節以下）	令和元年度	令和2年度	令和3年度
扶助費	11,427 千円	11,387 千円	13,164 千円
（補装具費）	(11,427 千円)	(11,236 千円)	(13,087 千円)
（軽度・中度難聴児補聴器給付費）	( - 千円)	(151 千円)	(77 千円)

【令和3年度における事務事業の成果】

補装具の購入や修理、補聴器の購入や修理、更新等に要する費用を給付し、身体障がい者(児)の日常生活と社会生活の利便性の向上を図ることができました。

補装具

装具等の種類（主なもの）	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
装具	決定者数	31 人	21 人	40 人
	延べ支給件数	31 件	21 件	42 件
補聴器	決定者数	25 人	24 人	33 人
	延べ支給件数	25 件	24 件	33 件
車椅子	決定者数	40 人	47 人	54 人
	延べ支給件数	53 件	61 件	63 件

軽度・中度難聴児補聴器、人工内耳

補聴器等の種類（主なもの）	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
高度難聴用耳かけ型	決定者数	- 人	2 人	- 人
	延べ支給件数	- 件	3 件	- 件
軽度・中度難聴用耳かけ型	決定者数	- 人	1 人	1 人
	延べ支給件数	- 件	1 件	1 件

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	07	身体障がい者更生医療給付事業			6つのまちづくり	01	安いで健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課			施 策		03	障がい者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 148	
103,428	99,244	70,985			28,259	4,184		

【令和3年度における事務事業の概要】

18歳以上の身体障がい者に対し、障がいの除去や軽減を図るための医療に要した費用を支給しました。

[ 根拠規定 ] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

[ 特定財源 ] 障がい者医療費国庫負担金、障がい者自立支援給付費県費負担金

《負担割合：国1/2、県1/4》

< 決算額（支出済額）の推移 >

歳出（節以下）	令和元年度	令和2年度	令和3年度
役務費（支払事務手数料）	197 千円	203 千円	204 千円
扶助費（更生医療給付費）	101,964 千円	93,898 千円	94,646 千円
返還金（国庫支出金等精算返納金）	- 千円	- 千円	4,394 千円

【令和3年度における事務事業の成果】

医療費の自己負担額を軽減するとともに、障がいの軽減等を行うことができました。

給付の種類	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人工透析	決定者数	204 人	221 人	211 人
	延べ支給件数	4,251 件	4,582 件	4,561 件
心臓	決定者数	31 人	49 人	51 人
	延べ支給件数	70 件	89 件	75 件
整形	決定者数	8 人	6 人	5 人
	延べ支給件数	25 件	16 件	17 件
肝臓	決定者数	2 人	2 人	3 人
	延べ支給件数	18 件	12 件	18 件
免疫	決定者数	6 人	5 人	5 人
	延べ支給件数	59 件	42 件	40 件

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	08	身体障がい児育成医療給付事業			6つのまちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策		03	障がい者支援の充実
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,608		1,095	426			669	513	P. 148

【令和3年度における事務事業の概要】

身体に障がいをもつ18歳未満の児童、又は現在の状況をそのままにすると将来的に身体に障がいを残すと認められる児童に対し、原則手術により、将来、生活能力を得させるための医療に要した費用を支給しました。

[ 根拠規定 ] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

[ 特定財源 ] 障がい者医療費国庫負担金・障がい者自立支援医療(育成医療)費県費負担金  
《負担割合：国1/2、県1/4》

< 決算額(支出済額)の推移 >

歳出(節以下)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
役務費(支払事務手数料)	4千円	4千円	4千円
扶助費(育成医療給付費)	898千円	840千円	567千円
返還金(国庫支出金等精算返納金)	-千円	243千円	524千円

【令和3年度における事務事業の成果】

医療費の自己負担額を軽減するとともに、障がいの軽減等を図ることができました。

給付の対象	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
音声、言語、そしゃく機能障がい	決定児童数	10人	9人	11人
	延べ支給件数	79件	97件	91件
肢体不自由	決定児童数	1人	2人	1人
	延べ支給件数	2件	5件	1件
心臓機能障がい	決定児童数	2人	1人	-人
	延べ支給件数	5件	1件	-件
その他の内部機能障がい	決定児童数	3人	1人	1人
	延べ支給件数	10件	9件	2件

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	09	障がい者介護・訓練等給付事業			6つのまちづくり		01	安心して健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策		03	障がい者支援の充実
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 150	
1,545,106	1,506,915	1,113,640		3,844	389,431	38,191		

【令和3年度における事務事業の概要】

障がい者(児)が利用する障がい福祉サービス(訪問系、日中活動系、施設系、訓練・就労系など)の利用に要する費用を支給しました。

[ 根拠規定 ] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

[ 特定財源 ] 障がい者自立支援給付費負担金《負担割合：国1/2、県1/4》

障がい者医療費負担金《負担割合：国1/2、県1/4》

< 決算額(支出済額)の推移 >

歳出(節以下)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
役務費(支払事務手数料)	1,673 千円	1,791 千円	1,866 千円
扶助費(自立支援給付費等)	1,340,795 千円	1,418,827 千円	1,484,852 千円
返還金(国庫支出金等精算返納金)	14,958 千円	- 千円	20,197 千円

【令和3年度における事務事業の成果】

障がい福祉サービスの提供を通じて、障がい者の充実した生活や地域における社会参加を支援することができました。

支援の種類(主なもの)		区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
訪問系	居宅介護	決定者数	98 人	92 人	83 人
		延べ利用者数	835 人	880 人	854 人
日中活動系	療養介護	決定者数	21 人	21 人	21 人
		延べ利用者数	252 人	252 人	252 人
	生活介護	決定者数	176 人	172 人	169 人
		延べ利用者数	2,034 人	2,009 人	1,988 人
短期入所	決定者数	105 人	94 人	95 人	
	延べ利用者数	270 人	217 人	278 人	
施設系	施設入所支援	決定者数	102 人	98 人	97 人
		延べ利用者数	1,202 人	1,190 人	1,153 人
訓練・就労系	就労移行支援	決定者数	10 人	12 人	9 人
		延べ利用者数	115 人	139 人	140 人
	就労継続支援	決定者数	267 人	274 人	287 人
		延べ利用者数	2,770 人	2,945 人	3,107 人
居住系	共同生活援助	決定者数	90 人	108 人	108 人
		延べ利用者数	939 人	1,166 人	1,271 人
相談系	計画相談支援	決定者数	554 人	546 人	552 人
		延べ利用者数	1,493 人	1,725 人	1,782 人

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	10	障がい児生活適応施設（ひまわり園）管理運営事業	6つのまちづくり	01	安いで健やかな暮らしづくり			
担当部課	健康福祉部 福祉課		施 策	03	障がい者支援の充実			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
28,487	27,066			15,959	11,107	1,421	P. 150	

【令和3年度における事務事業の概要】

指定児童発達支援事業所「伊万里市こどもハートフルセンターひまわり園」（療育施設）を指定管理者制度により運営しました。

〔根拠規定〕 児童福祉法

伊万里市こどもハートフルセンターひまわり園条例

〔事業所概要〕 ・場所：伊万里市立花町（木造平屋建）

・開園日：月曜日～土曜日 午前9時～午後5時

・受入対象地域：伊万里市、有田町

・職員数：管理者（園長）1人、児童発達支援管理者1人、指導員4人

・定員：1日当たり概ね10人

〔指定管理者〕 社会福祉法人 伊万里福祉会（指定期間：令和3年度～令和5年度）

〔特定財源〕 障がい児通所給付費（伊万里市・有田町）、運営費負担金（有田町）

無償化対象外児童の使用料（利用者負担額）は全額減免措置

< 決算額（支出済額）の推移 >

歳出（節以下）	令和元年度	令和2年度	令和3年度
需用費（消耗品費）	- 千円	- 千円	- 千円
需用費（修繕料）	- 千円	17 千円	- 千円
委託料（指定管理料）	26,592 千円	25,829 千円	27,066 千円
備品購入費（訓練用備品等）	204 千円	- 千円	- 千円

不用額のうち、1,401千円は指定管理料の余剰金返還（歳出戻入）分

【令和3年度における事務事業の成果】

心身の発達に支援を要する児童とその保護者に対し、1人ひとりの成長に合わせた訓練や指導を行うことができました。

支援の種類	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
児童発達支援	在園児童数[月最大]	38 人	33 人	37 人
	（うち新規入園）	（16 人）	（13 人）	（16 人）
	伊万里市	29 人	29 人	33 人
	（うち新規入園）	（13 人）	（13 人）	（16 人）
	有田町	9 人	4 人	4 人
	（うち新規入園）	（3 人）	（- 人）	（- 人）
	延べ利用日数	1,551 日	1,294 日	1,256 日

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	11	障がい児通所給付事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課			施策		03	障がい者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 150	
289,499	284,771	208,269			76,502	4,728		

【令和3年度における事務事業の概要】

障がい児やその保護者が利用する児童通所サービス（児童発達支援、放課後等デイサービスなど）の利用に要する費用を給付しました。

[ 根拠規定 ] 児童福祉法

[ 特定財源 ] 障がい児通所給付費等負担金《負担割合：国1/2、県1/4》

< 決算額（支出済額）の推移 >

歳出（節以下）	令和元年度	令和2年度	令和3年度
役務費（支払事務手数料）	440 千円	514 千円	616 千円
補助金（特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援等事業費補助金）	3 千円	11 千円	- 千円
扶助費	179,580 千円	217,454 千円	277,757 千円
返還金（国庫支出金等精算返納金）	4,986 千円	408 千円	6,398 千円

【令和3年度における事務事業の成果】

障がい児や保護者に対し、日常生活における基本的動作や知識技能の習得、集団生活への適応訓練などの機会を提供することができました。

障がい児通所給付費等

支援の種類	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
児童発達支援	決定児童数	71 人	68 人	67 人
	延べ利用児童数	874 人	701 人	635 人
放課後等デイサービス	決定児童数	91 人	111 人	135 人
	延べ利用児童数	1,062 人	1,189 人	1,513 人
保育所等訪問支援	決定児童数	4 人	5 人	10 人
	延べ利用児童数	2 人	5 人	8 人
障がい児相談支援	決定児童数	163 人	186 人	211 人
	延べ利用児童数	479 人	502 人	622 人

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	13	重度障がい者(児)医療給付事業			6つのまちづくり	01	安いで健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課			施 策		03	障がい者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 152	
99,457	97,339	49,224			48,115	2,118		

【令和3年度における事務事業の概要】

重度の心身障がい者(児)が診療を受けた場合に要する医療費を助成しました。

- [ 根拠規定 ] 伊万里市重度心身障がい者の医療費の助成に関する条例
- [ 対象者 ] 精神又は身体に重度の障がいを持つ者(児)で、公的保険(国民健康保険、社会保険、後期高齢者医療制度等)の被保険者又は被扶養者
  - ・知的障がい：療育手帳(知能指数35以下)所持者
  - ・身体障がい：身体障がい者手帳(障がい等級1・2級)所持者
  - ・精神障がい：精神障がい者保健福祉手帳(障がい程度1級)所持者
  - ・重複障がい：身体障がい者手帳(障がい等級3級)かつ療育手帳(知能指数50以下)の所持者
- [ 助成額 ] 生活保護費受給者を除く、対象者を含む世帯の所得制限あり  
医療機関等での診療(入院を含む)に要した1月当たりの医療費(保険適用分)の自己負担額から、その他の医療給付や保険給付等を控除し、かつ500円(最終自己負担額)を差し引いた額
- [ 助成方式 ] 償還払い方式
- [ 特定財源 ] 佐賀県重度心身障がい者医療助成事業費補助金《補助率：県1/2》

< 決算額(支出済額)の推移 >

歳出(節以下)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
扶助費(重度心身障がい者医療費助成金)	101,122 千円	96,687 千円	97,339 千円

【令和3年度における事務事業の成果】

医療費の自己負担額を助成することで、重度の心身障がい者(児)の福祉の増進を図ることができました。

給付の対象	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
重度心身障がい者医療費助成	受給資格者数	1,165 人	1,081 人	1,084 人
	延べ支給件数	28,198 件	26,278 件	26,375 件
	(通院)	(26,440 件)	(24,653 件)	(24,797 件)
	(入院)	(1,758 件)	(1,625 件)	(1,578 件)

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	15	障がい者相談支援事業			6つの まちづくり	01	安いで健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課			施 策		03	障がい者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
15,684	15,656	2,317		5,147	8,192	28	P. 152	

【令和3年度における事務事業の概要】

障がい者相談事業

- [ 根拠規定 ] 身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、伊万里市障がい者相談員設置要綱
- [ 事業内容 ] 障がい者の更生援護に関する相談支援、関係機関の業務協力 等
- [ 委嘱先 ] 身体障がい者相談員10人、知的障がい者相談員2人

精神保健相談事業

- [ 根拠規定 ] 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律
- [ 事業内容 ] 精神に障がいがある人の相談支援（平成14年4月権限移譲事務）等
- [ 対応人員 ] 精神保健福祉相談員1人 課内配置

自殺対策（自殺予防啓発）事業

- [ 根拠規定 ] 自殺対策基本法
- [ 事業内容 ] 自殺予防に関する啓発（3月自殺対策強化月間に合わせた有線テレビでの啓発番組の放送）

障がい者相談支援事業（基幹相談支援）

- [ 根拠規定 ] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律
- [ 事業内容 ] 障がい者やその家族等からの相談対応、サービスの情報提供や手続の支援など
- [ 対象地域 ] 原則として伊万里市、有田町
- [ 委託先 ] 社会福祉法人 東方会
- [ 特定財源 ] 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》  
運営費負担金（有田町）

< 決算額（支出済額）の推移 >

歳出（節以下）	令和元年度	令和2年度	令和3年度
報酬（精神保健福祉相談員報酬）	1,625 千円	福祉総務事業へ	
報償費（障がい者相談員謝礼）	160 千円	160 千円	133 千円
役務費（広告料）	16 千円	17 千円	17 千円
委託料（障がい者相談支援事業）	15,506 千円	15,506 千円	15,506 千円

【令和3年度における事務事業の成果】

障がい者相談、精神保健相談

支援の種類	区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
障がい者相談事業	延べ対応件数	116 件	70 件	96 件
精神保健相談事業	延べ対応件数	152 件	72 件	60 件

自殺予防啓発

支援の種類	区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
自殺予防啓発番組の放送	放送月(日数)	3月(31日)	3月(31日)	3月(31日)

障がい者相談支援事業（基幹相談支援）

支援の種類	令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談者数	1,043 人	1,080 人	1,178 人
延べ相談・支援件数	5,984 件	6,911 件	4,988 件



款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	16	障がい者移動支援事業			6つのまちづくり	01	01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策	03	03	障がい者支援の充実
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
6,643		5,903	1,699			4,204	740	P. 152

【令和3年度における事務事業の概要】

屋外での移動が困難な障がい者(児)に対し、見守り等の支援を行いました。  
また、公共交通機関の利用が困難な重度心身障がい者に対し、タクシー券を発行しました。

移動支援事業

- [ 根拠規定 ] 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律  
伊万里市障がい者等移動支援事業実施要綱
- [ 対象者 ] 在宅の障がい者(児)で、居宅等から外出の際に監護者がおらず、身体介護や見守り等が必要な者  
重度訪問介護や行動援護等、他市町村での施設入所支援の受給対象者、本事業に相当する他のサービス給付が受給可能な者を除く。
- [ 事業内容 ] 社会生活上又は余暇活動など社会参加のために、障がい者(児)が公共交通機関を利用して外出する場合(原則として佐賀県内に限る)に実施する。  
利用時間は1月当たり40時間以内、宿泊を伴うものは対象外

[ 基準単価(1回) ]	利用時間(例)	身体介護あり	身体介護なし
	2時間以上2時間30分未満	7,300 円	3,650 円
	4時間30分以上5時間未満	10,850 円	7,150 円

[ 特定財源 ] 地域生活支援事業費等補助金《補助率：国1/2、県1/4》

タクシー利用料金助成(福祉タクシー利用券発行)事業 市単独事業

- [ 根拠規定 ] 伊万里市福祉タクシ - 利用料金助成要綱
- [ 対象者 ] 在宅(1月以内に退院見込みを含む)の障がい者のうち、自動車税等が非課税又は自動車税等は減免だが廃車済などの者で、次のいずれかに該当する者
  - ・身体障がい者手帳(1・2級)所持者
  - ・身体障がい者手帳所持者のうち車椅子の常用者
  - ・療育手帳(障がい程度A)または精神障がい者保健福祉手帳(1・2級)所持者
- [ 事業内容 ] 福祉タクシー利用券(1枚当たり500円×20枚)を年間に1冊交付する。

< 決算額(支出済額)の推移 >

歳出(節以下)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
委託料 (障がい者移動支援事業委託料)	1,753 千円 (1,719 千円)	3,286 千円 (3,246 千円)	3,410 千円 (3,370 千円)
(福祉タクシーチケット作成・精算業務委託料)	(34 千円)	(40 千円)	(40 千円)
扶助費(福祉タクシー利用料金助成費)	2,868 千円	2,702 千円	2,493 千円

【令和3年度における事務事業の成果】

移動支援事業、タクシー利用料金助成事業

支援の種類	区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
移動支援事業	利用者数	30 人	24 人	25 人
	延べ利用回数	302 回	562 回	558 回
タクシー利用料金助成事業 (福祉タクシー利用券交付)	交付者数	413 人	379 人	367 人
	使用枚数	5,735 枚	5,404 枚	4,986 枚

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	障がい者福祉費
事務事業名	18	特別支援学校留守家庭児童クラブ運営事業	6つのまちづくり	01	安いで健やかな暮らしづくり			
担当部課	健康福祉部 福祉課		施策	04	子育て支援の充実			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
23,860	23,822	11,483		1,949	10,390	38	P. 152	

【令和3年度における事務事業の概要】

就労等により保護者が昼間家庭にいない特別支援学校の児童生徒を預かり、適切な遊びや生活の場として学校の余裕教室を提供しました。

- [ 根拠規定 ] 伊万里市特別支援学校留守家庭児童クラブ条例
- [ 施設概要 ] ・場所 : 伊万里市大坪町 (伊万里特別支援学校内のプレイルーム棟ほか)  
 ・開所日 : 月曜日～土曜日 (祝日を除く)  
 学校が授業日の場合 午後1時30分～午後6時  
 学校が休業日の場合 午前8時～午後6時  
 ・職員数 : 基準指導員6人、介助補助員3人  
 ・定員 : 1日当たり20人
- [ 対象者 ] 伊万里特別支援学校に就学する者で、保護者が労働等により昼間不在の家庭の児童(小・中学部)又は生徒(高等部)
- [ 利用料 ] 1人当たり日額300円(月額3,000円を上限)  
 同一世帯に2人以上が利用する場合は、2人目以降は1人当たり日額150円(月額1,500円を上限)
- [ 委託先 ] はってんクラブ運営協議会(構成団体:伊万里特別支援学校保護者会、社会福祉法人 桑梓舎)
- [ 特定財源 ] 佐賀県特別支援学校放課後児童健全育成事業費補助金《補助率:県1/2》  
 運営費負担金(対象者の居住市町)

< 決算額(支出済額)の推移 >

歳出(節以下)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
委託料(特別支援学校留守家庭児童健全育成事業委託料)	16,423 千円	24,125 千円	23,822 千円

【令和3年度における事務事業の成果】

特別支援学校留守家庭児童クラブ(はってんクラブ)を利用する児童・生徒の健全な育成と、保護者の子育ての両立を支援することができました。

事業の内容	区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
特別支援学校留守家庭児童クラブ運営事業	登録児童・生徒数[月最大]	35 人	38 人	42 人
	伊万里市	32 人	32 人	38 人
	有田町	3 人	3 人	3 人
	武雄市	- 人	2 人	1 人
	大町町	- 人	1 人	- 人
	延べ利用日数	2,976 日	4,008 日	3,884 日
平均利用者数(1日当たり)	12 人	16 人	16 人	



款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	04	高齢者福祉費
事務事業名	04	認知症高齢者等損害保険加入事業			6つのまちづくり	01	安いで健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 長寿社会課			施 策		02	高齢者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 154	
117	59				59	58		

**【令和3年度における事務事業の概要】**

認知症高齢者（若年性認知症を発症した者を含む）又は療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳を持っている人が、法律上の損害賠償責任を負う場合に備えて、認知症高齢者等を被保険者とする個人賠償責任保険に、市が保険契約者として加入し、保険加入料は市が全額を負担しました。

※R3.9月 対象者を拡大：療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳を持っている人を追加

**■保険が適用される時**

- ・ 日常生活で他人のものを壊してしまった
- ・ 自転車に乗っていて歩行者にぶつかり、けがをさせてしまった
- ・ 線路内に立ち入り電車に接触し、鉄道会社に車両損壊や遅延損害を与えた など

**■保険加入の対象者**

次の（1）又は（2）のいずれか、かつ（3）及び（4）のいずれにも該当する人が対象

- （1）認知症高齢者で「日常生活自立度」がⅡ a 以上相当である人（※①）
- （2）療育手帳、又は精神障がい者保健福祉手帳（てんかん、中毒精神病、器質性精神障がいがある、もしくは認知症に起因して日常生活能力のうち身の安全保持又は危機対応ができないものに限る。）の交付を受けている人
- （3）市税、介護保険料及び後期高齢者医療保険料の滞納がない人
- （4）他に同種の保険に加入していない人

※①：「日常生活自立度」がⅡ a とは  
日常生活の中で、たびたび道に迷う、買い物・金銭管理等にミスが目立つなど、支障を来すような症状・行動がみられる。意思疎通の困難さが多少みられるが、誰かが注意していれば自立できる状態。

**【令和3年度における事務事業の成果】**

保険に加入することで、本人や家族の不安を解消し、生活の安全・安心を確保することができました。

また、令和3年9月に対象者の範囲を拡大し、障がい者（児）を追加しました。

1. 保険への加入状況（令和2年8月事業開始）

年 度	令和2年度	令和3年度	
加 入 者 数	25人	35人	(加入者数は年度末の数)

※うち、令和3年度の障がい者（児）は0人

2. 保険契約内容

保 険 会 社	インズパークス株式会社（伊万里市新天町77番地1）
年間保険料	1,810円／年

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	04	高齢者福祉費
事務事業名	08	敬老行事支援事業			6つの まちづくり	01	安心して健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 長寿社会課			施 策		02	高齢者支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 156	
5,724	5,724				5,724	0		

【令和3年度における事務事業の概要】

高齢者に敬意を表し長寿を祝うために、敬老の日を中心に市内各地で実施される敬老行事を支援しました。

88歳の長寿者に支給していた「敬老祝金」は、令和2年度から廃止。

【令和3年度における事務事業の成果】

敬老の行事を実施することにより、長寿の節目を迎えた高齢者に敬意を表し長寿を祝福することができました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、各町（区）の公民館等に集う祝賀会は中止し、対象者にお祝いの品を配付しました。

1. 実施状況

		町	実施主体	町	実施主体
13町 (区長会等)		伊万里地区	区	南波多町	町
		牧島地区	町	大川町	町
		立花地区	区	松浦町	町
		大坪地区	区	二里町	町
		大川内地区	区	東山代町	区
		黒川町	町	山代町	区
		波多津町	町	町主体:7町 / 区主体:6町	
施設	特別養護 老人ホーム	長生園(伊万里市立花町2703番地2)			
		敬愛園(伊万里市黒川町2201番地)			
		グランパランいまり(伊万里市大坪町1579番地2)			
	養護老人ホーム	伊万里向陽園(伊万里市立花町2404番地10)			

2. 対象者

10月1日時点で77歳以上の高齢者

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者数	7,607人	7,575人	7,632人

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	04	高齢者福祉費
事務事業名	10	公共老人施設管理運営事業			6つの まちづくり	01	安いで健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 長寿社会課			施 策	02	高齢者支援の充実		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 156	
22,884	22,207				22,207	677		

【令和3年度における事務事業の概要】

老人福祉センターの管理・運営は、指定管理制度により指定管理者が行い、運営費として指定管理料を支払いました。老人憩の家は、市が管理・運営を行い、老朽化に伴う閉館や所管移行に係る準備を行いました。

対象施設	施設名（住所）	指定管理者 伊万里市社会福祉協議会
	老人福祉センター（松島町73番地1）	長寿社会課
	大川老人憩の家（大川町大川野3836番地14）	
	山代老人憩の家（山代町久原2721番地）	
	波多津老人憩の家（波多津町辻953番地）	
主な利用内容	健康麻雀、囲碁、大正琴、手芸、舞踊など 大浴場（老人福祉センターのみ）：月～金曜 午前11時～午後3時まで	
開館日	月～土曜 午前9時～午後4時30分まで	
休館日	日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）	
使用料	市内：1日20円／市外：1日50円 ※特別利用券：半年500円	

【令和3年度における事務事業の成果】

高齢者の教養の向上やレクリエーション活動のための場を提供することにより、健康増進や社会参加活動を促進することができました。また、指定管理制度を導入し、民間事業者の創意工夫による質の高いサービスを行うことができました。

対 象 施 設	項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
老人福祉センター	利 用 者 数	19,920人	13,419人	15,696人
	1日平均利用者数	68人	52人	59人
	年 開 館 日	293日	257日	268日
	指 定 管 理 料	7,734,962円	7,805,926円	7,859,000円
老人憩の家 (3カ所)	利 用 者 数	12,993人	8,340人	4,549人
	1日平均利用者数	44人	32人	17人
	年 開 館 日	293日	259日	268日
	指 定 管 理 料	13,448,379円	13,797,871円	-
うち大川	利 用 者 数	4,151人	2,434人	1,343人
	1日平均利用者数	14人	9人	5人
うち山代	利 用 者 数	4,777人	3,122人	1,763人
	1日平均利用者数	16人	12人	7人
うち波多津	利 用 者 数	4,065人	2,784人	1,443人
	1日平均利用者数	14人	11人	5人
公共老人施設 (4カ所)	利 用 者 数	32,913人	21,759人	20,245人

※決算額は、総務課人件費等8,883千円を含みます。

※R元、R2、R3は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休館や利用制限あり

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	05	社会福祉施設費
事務事業名	02	人権意識啓発事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		市民交流部 人権・同和対策課			施策	11		人権教育と啓発の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
619		605	603			2	14	P. 160

【令和3年度における事務事業の概要】

誰もが差別されることのない社会の実現をめざし、市民の人権意識の高揚を図るため、人権啓発番組「ハートフルフォーラブ2021」の制作や「人権の花」運動に取り組むとともに、情報誌への掲載やのぼり旗等による啓発を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

コロナ禍においても新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮し、工夫を凝らしながら人権意識について啓発活動を行いました。主な成果については、下記のとおりです。

人権啓発番組「ハートフルフォーラブ2021」

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から従来の参集型のイベントを中止し、伊万里実業高等学校農林キャンパス生や人権擁護委員などが出演する人権啓発番組を制作し、12月の人権週間に合わせてケーブルテレビで放映しました。番組では高校生による人権に関する意見発表や、SNSに関連する人権侵害トラブルの事例とその対応策の紹介などを行い、幅広い世代の人権意識の向上に寄与できました。また、番組を収録したDVDを市内の高校、中学校などに配付し、人権学習などに活用してもらいました。

この事業について番組視聴者からは「30分でよくまとめてあり、特にSNSの事例が具体的に参考になった」「テレビを通しての啓発は啓発効果大きい」などの意見をいただき、コロナ禍で参集型のイベントができない中、効果的な啓発となりました。

「人権の花」運動

南波多郷学館の1年生から4年生（67名）が取り組み、6月2日に花苗贈呈式、11月5日に観賞会を行いました。観賞会では、4年生が「仲間と協力すること」「感謝の気持ちを大切にすること」など、この運動を通して感じたことを川柳にして発表しました。

児童へのアンケート調査では、約94%が「命の大切さに気付いた」「思いやりの気持ちを持つことができた」「協力・感謝の気持ちを持つことの大切さが分かった」と回答しており、この事業の狙いとするところを体得した児童が多かったことが分かります。また、学校へのアンケートでも、児童の人権問題についての理解や関心は概ね深まったとの回答があり、運動内容も概ね満足であったとの回答をいただきました。

情報誌への掲載

新型コロナウイルス感染症が終息する兆しが見えない中、3回目のワクチン接種や12歳以下へのワクチン接種がスタートするなどの社会の動きに合わせ、新聞折り込みの情報誌へコロナ差別およびワクチン差別への啓発文と各種相談ダイヤルの電話番号を掲載しました。

のぼり旗などによる啓発

8月の同和問題啓発強調月間や12月の人権週間において、市の公共施設等に、のぼり旗、懸垂幕、横断幕を設置するなど、市民への啓発を行いました。今回ののぼり旗95枚を新調しました。



庁舎での  
のぼり旗掲示の様子

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	05	社会福祉施設費
事務事業名	03	同和問題研修参加促進・地区活動支援事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		市民交流部 人権・同和对策課			施策	11		人権教育と啓発の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
8,475		4,790				4,790	3,685	P. 162

【令和3年度における事務事業の概要】

同和問題の正しい理解と認識を図り、早期解決を実現するために、本来は市が行うべき活動などを実施する2つの運動団体に対して補助金を交付し活動を支援しました。

交付額

部落解放同盟佐賀県連合会伊万里支部	5,600,000円
全日本同和会佐賀県連合会伊万里支部	2,875,000円
合 計	8,475,000円

【令和3年度における事務事業の成果】

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各種大会への参加の見合わせや、大会自体の中止、オンラインや規模縮小での開催となるなど活動が制限され、事業費が減額となったため補助金の一部が返還されました。

	部落解放同盟 伊万里支部	全日本同和会 伊万里支部	計
予算額	5,600,000円	2,875,000円	8,475,000円
返還額	3,516,765円	167,959円	3,684,724円
決算額	2,083,235円	2,707,041円	4,790,276円

そのような中においても、深刻化するインターネット上での部落差別の拡散を防ぐために関係機関と連携して活動するなど、同和問題の解決を目的として、地区住民が自主的・自発的意思に基づく運動を展開し、行政の補完的な役割を果たすことができました。



令和3年度佐賀県作成の同和問題啓発ポスター



款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	05	社会福祉施設費
事務事業名	04	隣保館管理運営事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		市民交流部 人権・同和対策課			施 策	11		人権教育と啓発の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
2,189		2,041	846		13	1,182	148	P. 162

【令和3年度における事務事業の概要】

福祉の向上や人権啓発の住民活動及び地域交流の拠点として、生活上の各種相談事業や人権教育と啓発推進のための各種事業を行いました。主な事業は下記のとおりです。

- 地域福祉事業
  - ・相談受付
  - ・高齢者あいさつ声かけ巡回（毎週水曜日）
- 地域交流事業
  - ・はつらつサロン
- 啓発・広報活動
  - ・隣保館だより（月1回発行）
  - ・研修団体受入

【令和3年度における事務事業の成果】

各種相談事業では、必要があるときは関係行政機関に連絡や紹介を行い適切な支援を行うことができました。また、地域住民の新型コロナウイルスワクチン接種予約の支援を行いました。

研修の受講を希望する団体に対しては積極的な受け入れを行い、参加者の人権意識の高揚を図ることができました。

- 地域福祉事業
  - ・相談受付 …52件
  - ・高齢者あいさつ声かけ巡回（毎週水曜日） …51回
- 地域交流事業
  - ・はつらつサロン …1回1名参加
- 啓発・広報活動
  - ・隣保館だより（月1回発行） …12回発行
  - ・研修団体受入 …10団体98名

コロナ禍においても、感染対策を講じながら各種事業を進めることができました。



伊万里市隣保館

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	10	子どもの医療費助成事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課				施策	04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 170	
173,410	165,527	41,868		79,700	43,959	7,883		

【令和3年度における事務事業の概要】

疾病の早期発見・早期治療を促進し、子どもの健康増進と福祉の増進を図るため、子どもの医療費の一部を助成しました。

保護者負担額

(就学前児童)

通院：1医療機関1月1回あたり上限500円×2回(3回目以降負担なし)

入院：1医療機関1月1,000円

調剤：負担なし

(小・中学生)

通院及び入院：1医療機関1月1,000円

調剤：負担なし

【令和3年度における事務事業の成果】

子どもの医療費の自己負担額の一部を助成することにより、子どもの健康増進と福祉の増進を図りました。

令和3年度の助成実績

未就学児実績額	78,889千円	財源：県1/2 市1/2
小・中学生実績額	79,750千円	財源：市10/10
合計	158,639千円	前年比115%

助成実績の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
未就学児実績額	81,483千円	66,076千円	78,889千円
小・中学生実績額	76,201千円	71,403千円	79,750千円
合計	157,684千円	137,479千円	158,639千円

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	12	ひとり親家庭等医療費助成事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課			施 策		04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 170	
23,195	23,183	14,971			8,212	12		

【令和3年度における事務事業の概要】

ひとり親家庭等（母子家庭、父子家庭及び父母のいない児童の養育者家庭）の生活の安定と福祉の向上を図るため、医療費の個人負担分の一部を助成しました。

（医療費の助成）

医療を受けた日の翌月から起算して1年以内の医療費（保険診療分）について申請を受け付け、申請月の翌月末に助成しました。

受給者自己負担上限月額 500円（1人あたり）

【令和3年度における事務事業の成果】

ひとり親家庭等の医療費の個人負担分の一部を助成することで、その生活の安定と福祉の向上を図ることができました。

令和3年度の助成実績

		受給対象者	助成件数	助成実績額	財源
母子家庭	母	554人	5,683件	16,452,271円	県1/2 市1/2
	児童	770人	4,023件	5,229,873円	県1/2 市1/2
父子家庭	父	37人	297件	1,117,914円	県1/2 市1/2
	児童	53人	291件	380,553円	県1/2 市1/2

令和2年度の助成実績

		受給対象者	助成件数	助成実績額	財源
母子家庭	母	551人	5,521件	14,555,679円	県1/2 市1/2
	児童	835人	3,632件	3,958,077円	県1/2 市1/2
父子家庭	父	42人	250件	1,037,920円	県1/2 市1/2
	児童	63人	210件	267,100円	県1/2 市1/2

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	15	幼児インフルエンザ予防接種費助成事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課			施 策		04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 172	
2,785	2,067			2,000	67	718		

【令和3年度における事務事業の概要】

幼児のインフルエンザの発病や重症化を予防するため、インフルエンザの予防接種を受けた幼児の保護者に対して、子育て支援の観点から接種費用の一部を助成しました。  
 (対象者) 幼児を養育している保護者  
 (内 容) 幼児の2回目のインフルエンザ予防接種費  
 2回目接種に要した費用(自己負担額)のうち幼児1人に対して2,000円を助成

【令和3年度における事務事業の成果】

予防接種費用の一部を助成することで、子育て世帯の経済的負担の軽減を図りました。

令和3年度の助成実績

助成件数	1,033件
助成額	2,066千円

過去の実績

	令和元年度	令和2年度
助成件数	1,391件	1,288件
助成額	2,782千円	2,576千円

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	19	障がい児保育促進事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課			施策	04	子育て支援の充実		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 174	
8,304	8,243				8,243	61		

【令和3年度における事務事業の概要】

市内にある私立保育園、私立認定こども園において、心身に障がい又は発達遅滞のある児童を受け入れている施設に補助を行いました。

重度障がい児：特別児童扶養手当支給対象児童  
補助単価：45,380円/月

軽度障がい児：身体障がい者手帳、療育手帳の交付を受けた児童又は同程度の障がいを有すると判断される児童  
補助単価：30,250円/月

【令和3年度における事務事業の成果】

補助金を交付することで、保育施設等における障がい児の受入体制を整えました。

○令和3年度実績

種 別	対象園	対象者	補助金額
重度障がい児	3園	5名	2,133千円
軽度障がい児	12園	21名	6,110千円

過去の実績

年度	種 別	対象園	対象者	補助金額
R元	重度障がい児	4園	5名	2,707千円
	軽度障がい児	9園	15名	4,339千円
R2	重度障がい児	4園	6名	2,859千円
	軽度障がい児	7園	17名	5,929千円

年々入所児童数が増えてきています。

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	24	保育対策総合支援事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課			施 策		04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
38,949	34,405	23,921			10,484	4,544	P. 176	

【令和3年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症対策に要する消耗品や備品等を購入した各保育施設等に対し、購入経費を補助しました。  
ICT化等を推進することにより、保育士等の業務負担の軽減を図り、保育士等が働きやすい環境を整備しました。  
また、保育士確保策として、保育士資格を持たない保育補助者や、保育の周辺業務を行う保育支援者を雇用した私立保育園に対し、雇用経費の一部を補助しました。

- ・新型コロナウイルス感染症対策
  - 保育環境改善等事業（認可外） 補助率 国1/2 県1/2
  - 保育環境改善等事業（認可外以外） 補助率 国1/2 市1/2
- ・保育所等におけるICT化推進
  - 保育所等における業務効率化推進事業 補助率 国1/2 市1/4 施設1/4
- ・保育士確保策
  - 保育補助者雇上強化事業 補助率 国3/4 県1/8 市1/8
  - 保育体制強化事業 補助率 国1/2 県1/4 市1/4

【令和3年度における事務事業の成果】

○新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として、マスクや消毒液、空気清浄機等の備品を購入する経費を補助することで、保育施設等における感染拡大の防止を支援しました。

補 助 事 業 名	実施園	事 業 費	財 源
保育環境改善等事業	36園	12,976,677円	(認可外) 国1/2 県1/2 (認可外以外) 国1/2 市1/2

○保育所等におけるICT化推進

ICT化を推進することにより、保育士等の業務負担の軽減を図り、保育士等が働きやすい環境を整備することに努めました。

補 助 事 業 名	実施園	事 業 費	財 源
保育所等業務効率化推進事業	4園	3,000,000円	国1/2 市1/4 施設1/4

○保育士確保策

保育士資格を持たない保育補助者を雇用した私立保育園5園と、保育の周辺業務を行う保育支援者を雇用した私立保育園5園に対し、雇用経費を助成することで、保育士の離職防止を図るとともに、保育士が働きやすい職場環境を整備しました。

補 助 事 業 名	実施園	雇用人数	事 業 費	財 源
保育補助者雇上強化事業	5園	6人	13,273,000円	国3/4 県1/8 市1/8
保育体制強化事業	5園	5人	4,141,000円	国1/2 県1/4 市1/4

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	26	留守家庭児童クラブ管理運営事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課		教育委員会 教育総務課			施策	04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
173,344	173,167	77,822			56,744	38,601	177	P. 176

【令和3年度における事務事業の概要】

就労等により、保護者が昼間家庭にいない児童を対象に、安全な生活の場や適切な遊びの場を提供することにより、児童の健全な育成と保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。

また、利用希望児童の増加に対応するため、施設を拡充し、受入れ定員や配置する支援員を増員するなど、受入れ体制の充実を図りました。

さらに、支援員の処遇改善として、時給を職位によって40円から50円引き上げることで、支援員の安定的な確保に努めました。

支援体制の充実として、クラブを利用する児童の中に支援を要する児童が増加したため、各ブロックに1名、計3名の支援員を増員し、児童の受入れを行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

市内13小学校区に25の児童クラブを開設し、年間288日間の運営を行い、1,249人の児童の受入れと522人の児童を時間を延長して受入れを行うことにより、児童の健全な育成と子育て支援に貢献することができました。

7つのクラブ（伊万里、牧島、大坪、大川内、松浦、二里、東山代）で定員を増員することで、待機児童の解消を図ることができました。

また、児童用荷物棚を作製、設置することにより、児童が荷物を間違えて持ち帰ることが少なくなり、支援員の負担軽減とクラブの受入れ環境の充実を図ることができました。

・ 開所時間 小学校の授業がある日：授業終了後から午後7時まで

土曜日、長期休業日：午前8時から午後7時まで

午後6時から延長利用、1日100円。

・ 休所日 日曜日、祝日、8月13日～8月15日、12月29日～1月3日

・ 利用料 月額3,500円（8月のみ5,000円）

長期休業期間のみ利用の場合、日額300円

2人目以降、半額。 非課税世帯、半額。

児童クラブ名	利用児童	延長利用者	定員	児童クラブ名	利用児童	延長利用者	定員
伊万里第1	86	42	70	大川内	46	23	45
伊万里第2	88	21	35	黒川第1	34	12	35
伊万里第3	54	28	50	黒川第2	20	6	23
牧島	29	9	35	波多津	59	26	80
大坪第1	60	21	55	南波多	45	10	45
大坪第2	40	19	40	松浦	54	25	50
大坪第3	31	14	31	二里	90	47	85
大坪第4	66	25	40	東山代第1	106	42	100
立花第1	80	36	70	東山代第2	33	7	34
立花第2	45	16	40	若楠第1	34	11	35
立花第3	38	27	35	若楠第2	23	10	34
立花第4	39	23	40	山代西	9	6	25
立花第5	40	16	40	合計	1,249	522	1,172

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	27	東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課			施 策		04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
354	353			353	0	1	P. 178	

【令和3年度における事務事業の概要】

東山代小学校及び東山代コミュニティセンターの改築により、東山代小学校内に開設している東山代第1児童クラブ及び東山代コミュニティセンターの和室を借用して受入れを行っている東山代第2児童クラブについても一体的に施設の整備を行うため、複合施設の基本設計を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

東山代小学校、東山代コミュニティセンター及び東山代児童クラブの複合施設を整備するための基本設計を行いました。

スケジュール（予定）

- ・ 令和3年度 基本設計
- ・ 令和4年度 実施設計
- ・ 令和5・6年度 建設工事
- ・ 令和7年度 開所

東山代児童クラブ概要（予定）

- ・ 支援単位数 4部屋
- ・ 定員 160名（40名×4部屋）
- ・ 開所時間 小学校の授業がある日 授業終了後から午後7時まで  
土曜日、長期休業日 午前8時から午後7時まで
- ・ 休所日 日曜日、祝日、8月13日～8月15日、12月29日～1月3日



款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	28	多子世帯給食費助成事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課				施 策	04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
3,575	3,437			3,400	37	138	P. 178	

【令和3年度における事務事業の概要】

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、平成27年度より小学1年生から満18歳に対する学年までに4人以上の兄弟姉妹がいる多子世帯の保護者に対して、小中学校に通う4人目以降の給食費全額を補助しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

令和3年度は、84世帯94人に対して補助を行い、多くの多子世帯の負担軽減を図ることができました。

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

【年度別支給者数】

年 度	対象者数	支給者数	支給率
平成28年度	60人	45人	75.0%
平成29年度	74人	59人	79.7%
平成30年度	75人	61人	81.3%
令和元年度	93人	77人	82.8%
令和2年度	102人	91人	89.2%
令和3年度	104人	94人	90.4%

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	29	いまりの赤ちゃん応援特別 給付金給付事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課		健康福祉部 子育て支援課			施 策	04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 178	
12,016	11,595			11,500	95	421		

【令和3年度における事務事業の概要】

子育てに不安を抱える子育て世帯を支援するため、令和3年4月1日から令和4年3月31日までに生まれた子どもの世帯に対し、子ども一人当たり3万円の給付金を給付しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

次代を担う子どもの健やかな成長を応援するため給付金を給付し、子育て世帯の経済的負担を軽減しました。

給付実績

(給付した対象児童数)  
386人  
(給付額)  
11,580千円 (386人 × 30,000円)

過去の実績

令和2年度  
(給付した対象児童数)  
335人  
(給付額)  
10,050千円 (335人 × 30,000円)

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
事務事業名	30	私立保育園整備促進事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課				施 策	04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 178	
8,908	8,908	5,939			2,969	0		

【令和3年度における事務事業の概要】

施設の老朽化等に伴い、大規模改修等を行った私立保育施設等に対し、経費の一部を補助しました。

補助金名：保育所等施設整備事業費補助金

負担割合：国1/2 市1/4 事業者1/4

【令和3年度における事務事業の成果】

令和3年度は、老朽化した屋根瓦や外壁の塗装修繕などを行った2施設に対し、補助金を交付し、保育環境の改善を図りました。

(対象施設1)

施 設 名	大川内保育園
内 容	屋根瓦の交換・塗装
対象事業費	5,720千円
補助金額	4,290千円(国2,860千円、市1,430千円)

(対象施設2)

施 設 名	久原保育園
内 容	屋根瓦、外壁の塗装
対象事業費	6,159千円
補助金額	4,618千円(国3,079千円、市1,539千円)

過去の実績

年度	施 設 名	内 容	事 業 費	補助金額
H30	中里保育園	屋根瓦改修	5,162千円	3,871千円
	エンジェル保育所	渡り廊下部屋改築	3,996千円	2,997千円
R元	立花保育園	トイレ改修	7,920千円	5,940千円
	大里保育園	トイレ改修	10,956千円	8,217千円
R2	川東保育園	ホール改修、医務室・職員室増築	13,604千円	10,203千円
	愛育園	施設内外部改築	4,890千円	3,667千円

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	02	児童手当給付費
事務事業名	01	児童手当支給事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課				施 策	04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 178	
978,111	943,084	786,751			156,333	35,027		

【令和3年度における事務事業の概要】

次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的として、父、母、その他児童を養育している者に対し、児童手当を支給しました。

(支給月額)

- ・3歳未満(一律) 15,000円
- ・3歳以上小学校修了前  
第1子、第2子 10,000円  
第3子 15,000円
- ・中学校修了前(一律) 10,000円
- ・所得制限限度額以上(一律) 5,000円

(支給時期)

2月・6月・10月(それぞれの前月分までを支給)の15日

【令和3年度における事務事業の成果】

対象児童を養育する父、母、養育者に対して児童手当を支給することにより、児童の健全育成を図りました。

支給実績

支 給 額	929,285千円
延児童数	82,225人

過去の実績

	令和元年度	令和2年度
支 給 額	975,405千円	948,955千円
延児童数	85,944人	83,806人

決算額は、総務課人件費等9,948千円を含みます。

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	03	児童措置費
事務事業名	01	保育所等支援事業			6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 子育て支援課			施 策		04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 180	
2,168,621	1,999,332	1,509,914		95,044	394,374	169,289		

【令和3年度における事務事業の概要】

市内にある私立保育園16園、私立認定こども園2園、私立幼稚園1園、私立小規模保育事業所6園、私立事業所内保育事業所1園、市外の保育所等に入所している児童の分の運営に必要な経費を、公定価格（保育園の規模、児童の年齢、人数に応じた額）で支払いました。

また、保育現場の最前線で働く、保育所や幼稚園、認定こども園等の保育士、幼稚園教諭等の処遇の改善を図るため、各保育所等に対し、人件費の一部を補助しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

子どもを安心して預け、育てることが出来る体制を整えることができました。

子どものための教育・保育給付交付金

(令和3年度事業実績) 延入所者数 19,813人

<内訳>

市内私立 (26園) 18,504人

市外公立・私立(35園) 1,309人

過去の実績

(令和2年度事業実績) 延入所者数 20,968人

<内訳>

市内私立 (26園) 19,620人

市外公立・私立(43園) 1,348人

(令和元年度事業実績) 延入所者数 21,797人

<内訳>

市内私立 (26園) 20,531人

市外公立・私立(42園) 1,266人

保育士等処遇改善臨時特例補助金

(令和3年度事業実績) 補助金額合計 8,048,270円

<内訳>

市内私立 (26園)

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	04	保育所費
事務事業名	02	大坪保育園・コミュニティセンター複合施設整備事業		6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり		
担当部課	健康福祉部 子育て支援課			施策	04	子育て支援の充実		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 182	
266,261	264,025		213,600	40,325	10,100	2,236		

【令和3年度における事務事業の概要】

老朽化した大坪保育園及び大坪コミュニティセンターを、国の公共施設等適正管理推進事業債を活用し複合施設として整備を行いました。令和3年度については、施設の本体工事のほか、外構工事や旧園舎の解体工事を行いました。11月に落成式を行い、12月から新園舎の利用を開始しています。

なお、保育園部分とコミュニティセンター部分を含んでいるため、予算は民生費と総務費で按分しています。（延床面積按分）

工事監理業務委託	11,562,100円				
	（うち 民生費	5,940,000円、	総務費	5,622,100円）	
建設工事	472,671,100円				
	（うち 民生費	247,519,800円、	総務費	225,151,300円）	

【令和3年度における事務事業の成果】

令和元年度に実施設計、令和2年度から令和3年度にかけて工事を行い、令和3年12月に施設が完成しました。

上記の決算額は、民生費（保育園）のみであり、総務費（コミュニティセンター）は含んでおりません。

令和3年度の起債額の総額は 421,300千円で、うち民生費（保育園）分は213,600千円となっています。

財源内訳の「その他」は、福祉基金繰入金

【大坪保育園・大坪コミュニティセンター複合施設全体写真】



款	03	民生費	項	03	生活保護費	目	01	生活保護総務費
事務事業名	02	生活保護レセプト点検・指導事業			6つのまちづくり	01	安心して健やかな暮らしづくり	
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策	05	低所得者支援の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,594	1,529	637			892	65	P. 186	

【令和3年度における事務事業の概要】

生活保護費の約6割を占める医療扶助費について、適正な運営を図るためレセプト(診療報酬明細書)の点検を専門の業者に委託しています。

令和3年度は単月点検14,628件と縦覧点検13,674件を行いました。また、医療扶助相談・指導員が被保護世帯へ年間368回の同行訪問を行い、後発医薬品の使用促進や健康管理指導を行いました。

- ・生活困窮者自立相談支援事業等国庫負担金 負担率：3/4
  - ・生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(国) 補助率：3/4
- 補助対象経費：報償費、共済費、需用費(印刷製本費、消耗品費)  
役務費(通信運搬費)、委託料

レセプト点検の内容

1. 資格審査

職員において医療券交付処理簿との照合を行うことにより、診療月、受給者名、指定医療機関名及び診療別等が医療券と一致するか、また、指定医療機関における医療券等の公費負担番号、受給者番号、氏名及び本人支払額の記載内容のレセプトの転記が正確であるかを確認する。

2. 単月点検(業者委託)

毎月、全てのレセプトにつて、その内容の点検を行う。

- (1) 診療報酬、調剤報酬等の算定方法、算定点数の点検
  - ・診療日数、初診料、再診料、乳幼児加算、指導料、入院料、調剤レセプト
- (2) 重複請求の点検
- (3) 重複受診の点検
- (4) 診療報酬明細書と調剤報酬明細書の突合

3. 縦覧点検(業者委託)

複数月のレセプトを審査することにより、単月のレセプトの点検では確認できない項目等について点検・確認する。

・単月点検により特異な診療傾向が認められる指定資料機関、連続月あるいは一定期間内に重複算定できない診療内容、単月ではその適否が判断できない診療内容等に係るレセプトについて、4ヶ月に1回レセプトを縦覧し点検する。

【令和3年度における事務事業の成果】

レセプト点検による過誤調整282件を医療費請求に反映させるとともに、後発医薬品の使用促進により医療費を抑制することができました。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
過誤調整件数(全体)	254件	392件	360件	282件
過誤調整件数(委託分)	116件	108件	141件	91件
過誤調整効果額(委託分)	155,814円	141,940円	237,644円	159,774円

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
後発医薬品使用率	84.8%	82.4%	85.9%

(令和元年2月) (平均) (平均)

款	03	民生費	項	03	生活保護費	目	01	生活保護総務費
事務事業名	03	生活困窮者自立支援事業			6つのまちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施策		05	低所得者支援の推進
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 188	
29,438	20,911	17,338			3,573	8,527		

【令和3年度における事務事業の概要】

生活困窮者自立支援法の施行に伴い、生活困窮者に対する相談支援体制を整えるため、社会福祉協議会に自立支援業務を委託し、各種相談業務や個別支援プランの作成など、関係機関と連携した包括的支援を行っています。また、住居確保給付金を給付する相談窓口を設置しています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困窮する世帯に対しては、就労による自立を図るため、自立支援金を支給しています。

- ・生活困窮者自立相談支援事業等国庫負担金 負担率：3/4
- ・自立相談支援事業費国庫負担基準額 10,600,000円×1.5(加算率) = 15,900,000円  
(人口区分4万人以上～5.5万人未満)
- ・住居確保給付金 負担率：3/4 支給期間：3ヶ月間(3ヶ月間の延長及び再延長可能)  
(月額)単身世帯：29,000円 2人世帯：35,000円 3人～5人世帯：38,000円
- ・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金 負担率：10/10  
(月額)単身：60,000円 2人世帯：80,000円 3人以上世帯：100,000円  
支給期間：3ヶ月間(支給期間が終了した世帯に対し3ヶ月再支給が可能)

【令和3年度における事務事業の成果】

令和3年度は新規相談者数148人、相談件数(延べ)530件を受け付け、うち3人が就労による自立につながりました。

また、生活困窮者自立支援調整会議を毎月1回開催し、生活困窮者の情報共有と支援計画等について検討を行いました。

自立支援調整会議メンバー：税務課収納対策室1名、まちづくり課市民相談室1名、消費生活センター1名、地域包括支援センター1名、長寿社会課高齢・介護認定係1名、人権・同和対策課1名、都市政策課住宅・空家対策係1名、上下水道部管理課営業係1名、学校教育課学校教育係1名、生活自立センター(社協)4名、福祉課福祉総務係1名、福祉課障がい福祉係1名、福祉課保護係2名 計17名

社会福祉協議会への相談数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談件数	710件	695件	530件
新規相談者	123人	270人	148人
新規就労者	8人	15人	3人

生活困窮者自立相談支援事業

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
委託料	11,774,000円	12,485,000円	13,250,000円

住居確保給付金実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
申請件数	0	7件	1件
決定件数	0	5件	1件
給付額	0	625,800円	348,000円

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
支給世帯			29世帯
支給額			5,640,000円

(再支給含む)



款	03	民生費	項	03	生活保護費	目	01	生活保護総務費
事務事業名	04	生活保護扶養義務調査事業			6つのまちづくり		01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課		健康福祉部 福祉課			施 策		05	低所得者支援の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
756		558	418			140	198	P. 188

【令和3年度における事務事業の概要】

生活保護法第4条に定める保護の補足性の要件を充足させるため、扶養義務者の資産能力等を十分に調査するとともに親子関係等、人間的連携を基に自立援助を促しています。

生活保護受給者の扶養義務者の実態を把握し文書による援助照会を行うとともに、遠隔地に居住する扶養義務者に対して訪問面接により援助要請を行います。

- ・生活困窮者就労準備支援事業費等補助金（国） 補助率：3/4
- ・補助対象経費：報償費、共済費、需用費（印刷製本費、消耗品費）  
役務費（通信運搬費）、委託料

【令和3年度における事務事業の成果】

東京、福岡、熊本方面の訪問面接による扶養義務調査を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止いたしました。

なお、生活保護受給者の扶養義務者の実態を把握するため。文書による援助照会を行いました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実地調査件数	8件	0件	0件
経済的援助	0人	0人	0人
精神的援助	3人	0人	0人

款	03	民生費	項	03	生活保護費	目	02	扶助費
事務事業名	01	生活保護費支給事業	6つのまちづくり			01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 福祉課			施策		05	低所得者支援の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,114,116	1,011,399	771,559			239,840	102,717	P. 188	

【令和3年度における事務事業の概要】

生活に困窮する低所得者の最低限度の生活を維持し自立を支援するため、生活保護法に基づき生活保護費等を支給しました。

- ・生活保護費等国庫負担金 負担率：3/4

【令和3年度における事務事業の成果】

生活扶助、医療扶助等の支給により最低限度の生活の維持が可能となりました。

令和3年度は、令和2年度と同じく、生活保護世帯数の減少により、全体的に扶助費の支給額が減少しました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
月平均保護世帯数	550世帯	513世帯	487世帯
月平均保護人員	738人	684人	640人
保護相談件数	142人	115人	151人
保護申請件数	42人	31人	41人

【生活保護費の推移】

歳出

(単位：円)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年比
生活扶助	252,393,408	231,472,812	219,190,095	12,282,717
住宅扶助	99,107,980	90,533,269	87,441,466	3,091,803
教育扶助	4,652,437	4,203,643	3,866,540	337,103
介護扶助	35,466,002	32,376,251	32,487,252	111,001
医療扶助	736,388,368	663,890,582	633,934,700	29,955,882
出産扶助	386,180	744,250	421,500	322,750
生業扶助	3,093,798	2,351,256	2,444,801	93,545
葬祭扶助	1,230,176	1,593,432	1,550,106	43,326
進学準備給付金	0	300,000	1,200,000	900,000
就労自立給付金	132,718	466,235	140,537	325,698
保護施設事務費	38,969,977	34,932,053	28,721,645	6,210,408
合 計	1,171,821,044	1,062,863,783	1,011,398,642	51,465,141

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	01	保健衛生総務費
事務事業名	17	子育て世代包括支援センター事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 健康づくり課			施 策		04	子育て支援の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 198	
2,725	2,124	1,699			425	601		

【令和3年度における事務事業の概要】

子育て世代包括支援センターでは、妊娠、出産から小学校就学前までの母子を対象に係機関と連携した支援を行いました。

妊婦への母子健康手帳交付時には、保健師による面談を行い、アンケートをもとに利用可能なサービス等についての情報提供を行うほか、特定妊婦には支援計画を立て、妊娠期からの早期支援を行いました。

また、年中児を対象に就学までを支援する5歳児わんぱく相談や、産婦人科に委託し産婦保健指導・産後ケア事業を実施しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

母子健康手帳を375冊交付し、特定妊婦74人に支援計画を立て継続した支援を行い、産婦保健指導は20人が利用され、産婦の不安の軽減につながりました。

5歳児わんぱく相談は58人が利用され、療育訓練の紹介や受診勧奨など就学相談に向けた支援を行いました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
母子健康手帳発行数	416冊	400冊	375冊
特定妊婦数	110人	69人	74人
産婦保健指導利用者数	25人	31人	20人
産後ケア利用者数	2人	1人	0人
5歳児わんぱく相談利用者数	114人	92人	58人

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	01	保健衛生総務費
事務事業名	18	伊万里・有田地区医療福祉組合運営負担金			6つのまちづくり		01	安心して健やかな暮らしづくり
担当部課		市民交流部 市民課			施 策		06	保健医療体制の充実
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
275,043	275,043				275,043	0	P. 198	

【令和3年度における事務事業の概要】

市民が安心して暮らせるまちづくりを推進するために、救急医療や高度医療など伊万里・有田地区医療福祉組合が行っている伊万里有田共立病院事業に対し、国から交付される地方交付税等の相当額及び運営に要する経費の負担金を支出しました。  
(負担割合：伊万里市55%、有田町45%)

【令和3年度における事務事業の成果】

伊万里・有田地区医療福祉組合に対し、公立病院に関する財政措置として、国から交付される地方交付税等の相当額及び病院の運営に要する経費の275,043千円を繰出すことにより、伊万里有田共立病院が佐賀県西部医療圏において救急医療や高度医療を提供する体制を有する公立病院として中核的役割を担うことができました。

○地方交付税等の相当額 (単位：千円)

区 分	繰出額
病床数割	81,360
救急医療の確保に要する経費	11,879
病院の建設改良に要する経費	57,314
不採算地区に所在する中核病院の運営に要する経費	42,611
感染症医療に要する経費	839
小児医療に要する経費	5,352
院内保育所の運営に要する経費	1,052
病院事業会計に係る共済追加費用の負担に要する経費	1,237
医師の派遣等に要する経費	3,599
地方公営企業職員に係る児童手当に要する経費	13,082
会計年度任用職員期末手当	6,610
合 計	224,935

○病院の運営に要する経費 (単位：千円)

区 分	繰出額
退職手当負担金	49,740
組合議会負担金	368
合 計	50,108

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	01	保健衛生総務費
事務事業名	19	新型コロナウイルスワクチン接種医療機関支援事業			6つのまちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり	
担当部課	健康福祉部 新型コロナウイルスワクチン接種対策室				施 策	06	保健医療体制の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 198	
19,263	15,281	14,000			1,281	3,982		

【令和3年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、通常の医療提供に加えてワクチン接種を行う医療機関等に対して、支援金を支給しました。

支援内容 ( + )

- 1医療機関等当たり10万円
- ワクチン接種1回当たり150円

【令和3年度における事務事業の成果】

接種希望者に対して十分な接種機会が提供され、予約ができない等の状況を可能な限り回避でき、ワクチン接種を円滑に進めることができました。

支給実績

区分	単価(円)	件数	金額(円)
1医療機関等当たり	100,000	38	3,800,000
接種1回当たり	150	76,537	11,480,550
合計	-	-	15,280,550

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	02	予防費
事務事業名	01	予防接種事業				6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課	健康福祉部 健康づくり課			施 策		06	保健医療体制の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
167,538	145,776	2,930			142,846	21,762	P. 198	

【令和3年度における事務事業の概要】

予防接種は15種類で、全て、かかりつけ医のもとで実施する個別接種とし、安全な接種体制で感染症による疾病や重症化予防に努めました。

また、過去に風しんの公的予防接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を対象に、抗体検査と予防接種を行う「風しん第5期予防接種」、妊娠を希望する女性や妊婦の同居者を対象とした佐賀県風しん予防接種事業（任意接種）を実施し、大人の風しんの流行の防止に努めました。（令和元年度からの3ヵ年事業）

【令和3年度における事務事業の成果】

出生届時に予防接種の説明書と予診票を配付し、赤ちゃん訪問時にお母さんに対して保健師等から予防接種の意義や効果について説明を行いました。

また、幼児期以降の接種については、園長会や養護部会で接種勧奨文書の配布依頼や個人通知（麻しん風しん、ジフテリア破傷風、日本脳炎、高齢者の肺炎球菌、ヒトパピローマウイルス感染症）を行い、適切な情報提供と接種勧奨を行いました。

< 予防接種接種者数 >

（単位：人）

予防接種名	令和元年度	令和2年度	令和3年度
4種混合	1,596	1,558	1,504
麻しん風しん	943	859	778
日本脳炎	3,075	2,764	1,041
ジフテリア破傷風	496	413	412
ロタウイルスワクチン		346	846
結核（BCG）	412	394	373
ヒトパピローマウイルス感染症	14	95	239
ヒブ感染症	1,578	1,608	1,495
小児の肺炎球菌感染症	1,606	1,572	1,490
水痘	804	800	691
B型肝炎	1,180	1,183	1,112
高齢者の肺炎球菌感染症	835	960	960
高齢者等インフルエンザ	9,975	11,600	10,200
【国】風しん第5期定期接種	136	120	95
【県】風しん予防接種	80	59	51

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	02	予防費
事務事業名	03	新型コロナウイルス ワクチン接種事業	6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり			
	04	新型コロナウイルス ワクチン接種事業（繰越明 許）						
担当部課	健康福祉部 新型コロナウイルスワクチン接種対策室			施策	06	保健医療体制の充実		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 200	
414,253	348,687	347,910		55	722	65,566		

【令和3年度における事務事業の概要】

国の方針のもと、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び重症化予防を目的として、市が実施主体となり、ワクチン接種のための体制確保を図るとともに、初回（1、2回目接種）及び追加（3回目接種）のワクチン接種を実施しました。

(1)接種実施医療機関等 39か所（市民センター含む）

(2)接種実施内容

区分	対象者
初回接種（1、2回目接種）	5歳以上の人
追加接種（3回目接種）	12歳以上の人

【令和3年度における事務事業の成果】

ワクチン接種を実施することで、市民の新型コロナウイルス感染症に対する感染予防、重症化リスクの軽減を図ることができました。

(1)体制確保

予約システムの構築及びコールセンターの運営業務を民間事業者へ委託するとともに、医療機関と連携することで、接種希望者が予約から接種まで円滑に行うことができる体制を構築することができました。

また、R3.12月から、コールセンターの有料回線番号をフリーダイヤルへ変更し、加えて、3回目接種対象者がピークとなるR4.2月の1か月間、臨時でコールセンターの増設を行い、利用者の負担軽減及び利便性の向上を図ることができました。

(2)接種者数

R4.3.31時点

区分	人数	接種率
初回接種（1回目接種）	43,896人	83.5%
初回接種（2回目接種）	43,143人	82.1%
追加接種（3回目接種）	27,006人	55.6%

(3)集団接種の実施

医療機関で実施される個別接種に加えて、市が実施主体の集団接種を毎週土曜日に市民センターで実施しました。

実施期間：5/15～11/6

実施回数：26回

接種回数：3,219回

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
事務事業名	02	伊万里・有田地区衛生組合 運営負担金			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 環境政策課			施 策	21	生活環境の保全		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 204	
192,293	192,293				192,293	0		

【令和3年度における事務事業の概要】

し尿等の処理及び火葬場事業を行う伊万里・有田地区衛生組合に対して負担金を支出しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

衛生センターとやすらぎ斎苑（火葬場）の適正かつ効率的な事業運営を図ることができました。

伊万里・有田地区衛生組合運営負担金の内訳

(単位：千円)

区 分	組合運営事務	し尿等の処理事業		火葬場事業		合 計
		管理運営	施設建設	管理運営	施設建設	
伊万里市	16,691	138,832	1,873	34,897	0	192,293
有 田 町	7,587	73,303	1,208	15,862	0	97,960
合 計	24,278	212,135	3,081	50,759	0	290,253

し尿・浄化槽汚泥の搬入量（前処理）

(単位：kℓ)

区 分	し尿	浄化槽汚泥	合 計
伊万里市	28,310	7,268	35,578
有 田 町	14,876	218	15,094
合 計	43,186	7,486	50,672

やすらぎ斎苑（火葬場）での火葬件数

(単位：件)

区 分	12歳以上	12歳未満 死産時	身体一部	改 葬	合 計
伊万里市	716	8	5	13	742
有 田 町	252	5	6	11	274
地 区 外	22	1	0	9	32
合 計	990	14	11	33	1,048



款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
事務事業名	03	大気環境測定事業			6つのまちづくり		05	住みよい環境づくり
担当部課		市民交流部 環境政策課			施策		21	生活環境の保全
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
391		330			300	30	61	P. 204

【令和3年度における事務事業の概要】

伊万里団地（工業団地）内で養殖魚飼料等を製造する2企業から発生する臭気について、工場周辺の敷地境界部分で臭気測定を実施しました。

また、佐賀県や九州電力株式会社が設置する大気の自動測定局の情報データを毎月収集し、測定項目毎に環境基準値等との比較及び確認を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

周辺地域における臭気の状態を把握し、測定結果から企業への立入調査及び改善指導を行いました。

また、大気データの比較確認により、市内各所における大気環境の状態を把握することができました。

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

臭気測定

測定場所 (事業所)	調査回数	測定値 (指数)	基準値	結果	市の対応
A事業所	年2回	12 10未満	臭気指数 (12以下)	○	指導及び立入調査。シートシャッターの設置等により改善。
B事業所	年2回	16 10未満			

は令和3年9月28日、 は令和4年2月21日に測定を実施しました。

大気の自動測定局について

設置者	設置数	測定	調査地点	調査項目
佐賀県	2地点	常時	大坪コミュニティセンター、 消防西分署（山代町）	SO2、NO、NO2、NOX、 SPN、風向、風速の7項目。 (大坪局のみ9項目)
九州電力(株)	3地点	常時	南波多変電所、大川小学校、 日南郷局（敷地）	

調査項目：大坪局のみ7項目に加え、光化学オキシダントとPM2.5の測定も実施しています。

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
事務事業名	05	騒音・振動測定事業			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 環境政策課			施策	21	生活環境の保全		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 204	
1,776	1,653				1,653	123		

【令和3年度における事務事業の概要】

市内における自動車騒音の状況を把握するため、騒音規制法に基づき業者へ委託し、騒音測定を実施しました。  
また、住宅地域等の一般環境騒音や振動規制法に基づく道路交通振動についても状況を把握するため、測定調査を実施しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

市内における騒音・振動の状況を把握することができました。

自動車騒音の結果

(単位：dB)

路線名	測定日	調査地点	類型	測定結果(dB)		環境基準(dB)		評価
				昼間	夜間	昼間	夜間	
伊万里畑川内蔵木線	1/18・19	黒川町畑川内2238付近	無	68	61	70	65	
塩屋大曲線	1/18・19	黒川町大黒川1373-1付近	無	67	60	70	65	
塩屋大曲線	1/18・19	黒川町真手野2943-1付近	無	69	61	70	65	

昼間：6時～22時、夜間：22時～6時。

一般環境騒音の結果

(単位：dB)

調査地点	町名	測定日	類型	測定結果(dB)		環境基準(dB)		評価
				昼間	夜間	昼間	夜間	
市役所駐車場	立花町	3/15・16	B	41	36	55	45	
栄町公民館	大坪町	3/2・3	A	34	25	55	45	
中央駐車場	伊万里町	1/27・28	C	43	34	60	50	
東八谷搦公民館	二里町	3/9・10	B	35	31	55	45	

環境基準類型のA類型は都市計画法で定められた第1種及び第2種の低層住居専用地域や中高層住居専用地域、B類型は第1種及び第2種の住居地域や準住居地域、C類型は近隣商業地域や商業地域、準工業地域及び工業地域が該当となります。

道路交通振動の結果

(単位：dB)

路線名	測定日	調査地点	指定地域	測定結果(dB)		要請限度(dB)		評価
				昼間	夜間	昼間	夜間	
塩屋大曲線	2/10	黒川町大黒川1373-1付近	第4種	43	28	65	60	
畑川内蔵木線	2/10	黒川町畑川内2238付近	第4種	16	10	65	60	

昼間：8時～19時、夜間：19時～8時。

要請限度とは、環境省令で定める限度で、要請限度を超えて生活環境が著しく損なわれる場合は都道府県公安委員会に道路交通法上の措置を要請することができます。

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
事務事業名	07	水質・底質調査事業	6つのまちづくり			05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 環境政策課			施策		21	生活環境の保全	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
2,169	1,625				1,600	25	544	P. 206

【令和3年度における事務事業の概要】

河川や海域の水質及び伊万里湾の底質を定期的に調査するとともに、環境センターからの排水についても水質調査を実施しました。

また、市と環境保全協定を締結している事業所からの排水については、事業所が実施する水質調査の結果報告を受け確認を行いました。

さらに、ゴルフ場の周辺や伊万里湾の環境保全を図るため、若木ゴルフ場周辺地域水質保全協議会及び伊万里湾環境保全対策協議会に負担金を支出しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

定期的な調査により、公共用水域における水質や底質の状況を把握することができました。

また、市と環境保全協定を締結する事業所からの排水についても、水質汚濁防止法に基づく排出基準値及び環境保全協定値と比較確認を行うなど、排水の監視に努めることができました。

なお、令和3年度においては基準値を超過した事業所はありませんでした。

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

水質・底質の測定状況

区 分	調査地点数 (延べ回数)	主 な 調 査 地 点	調 査 項 目 ( 項 目 数 )
河 川	3地点 (12回)	大井手井堰、三十間井手橋、柳井堰	水素イオン濃度、大腸菌群等 (17項目)
海 水	2地点 (8回)	黒川湾内、九スミ工業北側	水素イオン濃度、大腸菌群等 (16項目)
底 質 (伊万里湾)	3地点 (3回)	伊万里川・有田川合流点、漁港入口、名村造船所北	総水銀、カドミウム等 (8項目)
事業所排水	1カ所 (13回)	環境センター	水素イオン濃度、ヒ素、鉛等 (12項目)

測定結果については、市のホームページで公開しています。「令和3年度環境報告」

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
事務事業名	08	浄化槽設置促進事業				6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり
担当部課		上下水道部 管理課				施策	18	上下水道の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
22,901	20,603	14,462				6,141	2,298	P. 206

【令和3年度における事務事業の概要】

公共下水道など集合処理の整備が困難な地域において、公共下水道と同等の浄化能力を有する合併処理浄化槽の普及促進を図るため、専用住宅に浄化槽を設置する市民に対し、設置整備補助金として20,544千円を交付しました。

(補助内訳)

5人槽 332千円 × 27基 = 8,964千円

7人槽 414千円 × 24基 = 9,936千円

10人槽 548千円 × 3基 = 1,644千円

別途、佐賀県浄化槽普及促進協議会負担金として、59千円を支出。

【令和3年度における事務事業の成果】

生活排水に起因する環境の悪化及び公共用水域の水質汚濁を防止するため、汚水処理施設の整備を促進することができました。



(引用)

環境省作成「快適な生活と美しい環境を守る合併処理浄化槽」リーフレット

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	04	健康増進費
事務事業名	05	健康診査事業				6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課	健康福祉部 健康づくり課			施 策		06	保健医療体制の充実	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
50,416	37,823	3,050		586	34,187	12,593	P. 208	

【令和3年度における事務事業の概要】

健康増進法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、伊万里市前立腺がん検診実施要領、伊万里市30歳代健康診査実施要綱に基づき、がん検診（胃・肺・大腸・子宮・乳・前立腺）、骨粗しょう症検診、肝炎ウイルス検診、生活保護受給者を対象とした健康増進健診、30歳代健康診査を実施し、市民の健康増進・疾病の早期発見に努めました。

また、前立腺がん検診を医療機関でも実施できる体制を整えました。

〔佐賀県子宮頸がん撲滅事業〕（R元から4年間の県の事業）

市の子宮頸がん検診と併用し、子宮頸がんの約90%に関係しているHPV（ヒトパピローマウイルス）感染の検査を30～44歳を対象に実施しました。

〔健（検）診結果の利活用に向けた情報標準化整備事業〕

検診機関からの結果データを国が定める標準的な様式にて取込むためのシステム改修や健（検）診の情報についてマイナンバー制度を活用し情報連携を開始するための整備を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

広報や市民健康カレンダー、個人通知等により周知を行い、医療機関での個別健診は5月から3月まで、市民センターでの集団健診は、感染予防と待ち時間を短縮するため予約制にて19日間実施しました。

前立腺がん検診を個別でも実施できるようにしたことで、令和2年度より受診者が増加し、また、被保護者への受診勧奨強化により、健康増進健診についても受診者が増加しました。

検診名	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
胃がん検診(2年に1回)	1,122人	15.5%	120人	11.3%	464人	6.9%
肺がん検診	3,075人	19.5%	2,033人	12.6%	2,063人	15.0%
大腸がん検診	2,664人	16.6%	1,341人	8.4%	1,247人	9.9%
子宮頸がん検診	2,737人	67.2%	1,833人	59.9%	1,698人	57.6%
HPV検査数	624人		514人		314人	
乳がん検診(2年に1回)	1,457人	51.6%	793人	39.5%	1,004人	39.3%
前立腺がん検診	566人		119人		264人	
30歳代健康診査	232人		114人		114人	
健康増進健診	32人		30人		71人	
肝炎ウイルス検診	166人		21人		64人	
骨粗しょう症検診	31人		86人		81人	

受診率は公的な報告がある40～69歳（子宮頸がんは20～69歳）を対象とした率を掲載。胃がん・子宮頸がん・乳がん検診は、2年に1回の受診として、受診率は以下の算定式により算定。

（前年度受診者数 + 当該年度受診者数 - 2年連続受診者数） / 佐賀県推計対象者数 × 100  
受診者数は年齢に関わりなく全数を掲載。

款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費
事務事業名	01	一般廃棄物収集運搬事業			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 環境政策課			施策	21	生活環境の保全		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 212	
177,450	177,178			96,952	80,226	272		

【令和3年度における事務事業の概要】

ごみの資源化と適正な分別収集を推進するため、ごみの態様に応じた市指定のごみ袋等を作製し、市内の小売店で販売しました。

また、市内に約1,450か所あるごみ集積所に排出される一般廃棄物を収集運搬業者2社に委託しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

家庭からのごみを衛生的かつ適正に収集運搬処理することができました。

指定ごみ袋の作製

・ 枚数	2,381,500 枚	} ごみ袋：2,378,000枚 ステッカー：3,500枚
・ 作製費	12,103,850 円	

指定ごみ袋の販売

・ 枚数	2,406,200 枚
・ 塵芥処理手数料	96,496,000 円 (歳入：指定ごみ袋の販売料)
・ 塵芥処理手数料徴収業務委託料	14,677,819 円 (歳出：指定ごみ袋の販売手数料)

一般廃棄物の収集運搬委託料

・ 有限会社水興社	77,381,700 円
・ 有限会社河原産業	72,849,700 円
	計 150,231,400 円

一般廃棄物の収集運搬実績

(単位：トン)

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	ペットボトル等	合 計
	青袋	黄袋・赤袋	ステッカー	緑袋・橙袋	
R2	8,914.1	643.7	1.7	112.7	9,672.2
R3	8,790.0	580.1	1.5	114.5	9,486.1
増減	124.1	63.6	0.2	1.8	186.1

款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費
事務事業名	02	環境センター管理運営事業			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	市民交流部 環境政策課			施策	21	生活環境の保全		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 212	
55,572	54,918			40,299	14,619	654		

【令和3年度における事務事業の概要】

市内から排出されたごみ（一般廃棄物）のうち、ビン類やペットボトル、発泡スチロール製トレイ等のリサイクルを行う環境センターを適正に管理運営し、ごみの再資源化に取り組みました。

また、最終処分場や環境センター周辺の各種環境調査を実施するとともに、令和4年度～令和5年度に行う焼却施設等解体工事に係る実施設計及び解体前の事前調査を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

資源ごみについて、品目ごとにリサイクルの前処理を行い、再資源化を行いました。

主な支出内容

- ・光熱水費 1,370 千円
- ・修繕料 1,010 千円
- ・手数料 11,255 千円 （県シルバー人材センター派遣手数料）
- ・環境センター施設運転管理業務委託料外4件  
28,384 千円 （重環オペレーション株式会社 他）
- ・発泡スチロールトレイ再商品化業務委託料外5件  
1,927 千円 （有限会社佐賀資源開発 他）
- ・焼却棟等解体に伴う各種環境調査業務委託料外1件  
7,466 千円 （西部環境調査株式会社 他）
- ・工事請負費 1,397 千円 （ビン選別設備荷揚コンベア取替工事）

再資源化（リサイクル）の状況

（単位：トン）

品 名	処 理 量		
	R2	R3	増減
ビン類	233.8	205.9	27.9
ペットボトル	111.4	113.3	1.9
発泡スチロール製トレイ	1.3	1.2	0.1
乾電池	12.1	11.6	0.5
蛍光灯	3.3	2.9	0.4
合 計	361.9	334.9	27.0

財源内訳の「その他」のうち37,800千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費
事務事業名	04	佐賀県西部広域環境組合運営負担金			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		市民交流部 環境政策課			施 策	21		生活環境の保全
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
804,573		804,573				804,573	0	P. 214

【令和3年度における事務事業の概要】

市内から排出されたごみ（一般廃棄物）を衛生的かつ適正に処理するため、さが西部クリーンセンターを運営する佐賀県西部広域環境組合に対し、その運営経費に係る負担金を支出しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

さが西部クリーンセンターにおいて、市内から排出されたごみ（一般廃棄物）を衛生的かつ適正に処理することができました。

負担金明細

(単位：千円)

管理運営負担金	施設整備負担金	長期債元利償還金交付税措置額負担金 *	合 計
256,603	204,924	343,046	804,573

\* 4市5町全体の交付税措置分を伊万里市で受入れ

構成市町のごみ処理量及び負担金額・割合

市町名	ごみ処理量 (トン)	負 担 金		
		金 額 (千円) ( )は交付税除く額	割合 (%)	交付税除く 割合 (%)
伊 万 里 市	14,384.73	804,573 ( 461,527 )	34.96	23.57
武 雄 市	13,402.42	400,404	17.40	20.45
鹿 島 市	7,213.92	249,284	10.83	12.73
嬉 野 市	6,346.48	235,360	10.22	12.01
有 田 町	5,177.12	167,313	7.27	8.54
大 町 町	1,758.27	66,182	2.88	3.38
江 北 町	2,509.17	91,757	3.99	4.69
白 石 町	5,344.04	204,161	8.87	10.43
太 良 町	1,693.71	82,302	3.58	4.20
合 計	57,829.86	2,301,336 ( 1,958,290 )	100.00	100.00

表中のごみ処理量はさが西部クリーンセンターでの処理量で、災害ごみは除きます。



款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費
事務事業名	05	広域ごみ処理施設建設に係る地域振興事業				6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり
	06	広域ごみ処理施設建設に係る地域振興事業（繰越明許）						
	07	広域ごみ処理施設建設に係る地域振興事業（逡次繰越）						
担当部課	教育委員会 スポーツ課				施策	21	生活環境の保全	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 214 216	
419,495	419,494			419,494	0	1		

【令和3年度における事務事業の概要】

スポーツを通じた交流人口の拡大による地域活性化を図るため、広域ごみ処理施設の建設に伴い、佐賀県西部広域環境組合と松浦町広域ごみ処理施設建設対策協議会（現：さが西部クリーンセンター対策協議会）との間で締結された地域振興策協定に基づく地域振興事業として、松浦町スポーツ・レクリエーション施設の整備を実施しました。

松浦町スポーツ・レクリエーション施設の概要

- ・整備期間 平成25年度～令和3年度（9年間）
- ・建設地 松浦町山形 地内（松浦コミュニティーセンター付近）
- ・敷地面積 約9.7ヘクタール
- ・施設概要  
 グラウンド・ゴルフ場 8ホール×2コース  
 多目的グラウンド 1面（120m×120m）  
 サブグラウンド 110m×60m  
 駐車場 約220台 ほか

【令和3年度における事務事業の成果】

佐賀県西部環境組合からの交付金を活用した土木工事等のほか、スポーツ振興くじ助成金を活用した防球フェンス等の設置工事を行い、令和3年度で全体の施設整備事業が完了しました。

令和3年度決算額：現年 201,366千円、繰越明許 1,394千円、逡次繰越 216,734千円

【伊万里松浦グラウンド・ゴルフ場】



【伊万里松浦球技場】



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	01	農業委員会費
事務事業名	01	農業委員会事務局運営事業			6つのまちづくり		03	活気あふれる産業づくり
担当部課		農業委員会事務局			施策		13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
39,712	39,353	4,195			3,287	31,871	359	P. 218

【令和3年度における事務事業の概要】

農業委員、農地利用最適化推進委員を配置し、農地法に基づく農地の権利移動の許可等の審議や、農用地利用計画の審査など、優良農地の確保と農地の効率的利用の促進を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

農業委員（14名）、農地利用最適化推進委員（20名）を配置し、地域ごとに情報共有を行い、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消等の活動を推進することができました。

また、毎月1回の農業委員会会議において、農地法、農業経営基盤強化促進法等に基づき農地の権利移動等の各種申請について審議を行い、適正な農地の権利移動を行うことができました。

その他、農業委員会だよりを発行し（全戸配布）、無許可による農地転用の禁止や農地管理についての啓発を行うことができました。

○農地法等に基づく許認可申請の状況

申請の種類	件数	筆数	面積
農地法 3 条	59	193	17.7ha
農地法 4 条	17	38	2.7ha
農地法 5 条	73	128	7.0ha
基盤強化法による利用権設定	209	548	67.9ha

決算額は、総務課人件費等29,594千円を含みます。

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	01	農業委員会費
事務事業名	04	遊休農地調査事業				6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課		農業委員会事務局				施 策	13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
612	499	499				0	113	P. 220

【令和3年度における事務事業の概要】

農地法に基づき、農地の有効利用や遊休農地解消のため、市内全域の農地を対象に利用状況調査を実施しました。

調査結果を基に農地台帳の整理を行うとともに、遊休農地の所有者に対して利用意向調査を実施しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

利用状況調査及び利用意向調査を行い、遊休農地の解消及び農地の貸借の推進を図ることができました。

○遊休農地面積（令和3年度）

	面 積
当 初	18.6ha
新規発生	20.2ha
解 消	2.5ha
年 度 末	36.3ha

（うち利用意向調査 11.7ha/157筆）

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	01	農業委員会費
事務事業名	05	農地中間管理事業推進事務			6つの まちづくり		03	活気あふれる産業づくり
担当部課		農業委員会事務局			施 策		13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
357	190				190	0	167	P. 220

【令和3年度における事務事業の概要】

農業経営の規模拡大や所得向上のため、経営農地の拡大を希望する農家に対して農地中間管理機構（佐賀県農業公社）が行う農地中間管理事業を活用した農地の貸借を推進しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

農地中間管理事業推進員を1名配置し、農地中間管理事業による貸借を推進することができました。

また、農業委員会だより（全戸配布）や、農業委員会窓口及び伊万里市農業協同組合各支所に中間管理事業による貸借の情報を掲示し、農地に関する貸借情報等を配信することで、制度の周知を図ることができました。

○農地中間管理事業による貸借実績（令和3年度）

貸付申出者数	19名
貸付希望面積	15.9ha
貸借成立面積	53.5ha
貸借成立面積累計（H26～R3）	131.5ha

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事務事業名	03	中山間地域農業集落活動支援事業				6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農業振興課				施策	13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
160,682	160,679	120,804			13	39,862	3	P. 222

【令和3年度における事務事業の概要】

中山間地域における農業生産条件の不利を補うとともに、耕作放棄地の発生防止や農地の多面的な機能（水源かん養・洪水防止等）の維持向上を図るため、集落単位で協定を締結し、面積に応じて、協定集落に交付金を交付しました。令和3年度は第5期対策の2年目になります。

○中山間地域等直接支払交付金

- ・ 交付単価（通常）10aあたり
 

田	急傾斜（1/20以上）	21,000円	緩傾斜（1/100～1/20未満）	8,000円
畑	急傾斜（15度以上）	11,500円	緩傾斜（8～15度未満）	3,500円
- ※「集落戦略の作成」を行わない集落は、上記交付単価が8割になります。

- ・ 負担割合 直接支払交付金 県3/4（国1/2、県1/4）、市1/4  
 推進事業費（事務費） 県10/10（国10/10）

【令和3年度における事務事業の成果】

協定集落に交付金を交付し、中山間地域における農業生産活動の維持を図るとともに、集落における共同活動を推進することができました。

○中山間地域等直接支払交付金 159,457千円（うち県費119,592千円）

- ・ 協定集落 61集落（通常単価 54集落 8割単価 7集落）
- ・ 対象農地 田 836.2ha 畑 6.8ha 合計 843.0ha
- ・ 加算措置
 

棚田地域振興活動加算	2集落
超急傾斜農地保全管理加算	1集落
集落協定広域化加算	1集落
生産性向上加算	3集落

○推進事業費 1,212千円（うち県費1,212千円）

○返還金 10千円（令和2年度分）

※財源内訳の「その他」は、雑入（令和2年度分交付金返還金）

□中山間地域等直接支払交付金の推移

年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
期	第4期対策	第4期対策	第4期対策	第5期対策	第5期対策
協定集落	66	66	66	61	61
協定農地(ha)	909	911	913	843	843
交付金額(千円)	158,897	159,308	159,718	159,410	159,457

※協定農地（ha）は、1ha未満を四捨五入しています。

※交付金額（千円）は、千円未満を四捨五入しています。

※第5期対策から4集落が取組を断念（役員のなり手不足等）、2集落が統合し1集落になったため、第5期対策の協定集落は61集落になりました。

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事務事業名	05	新規就農者支援事業				6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課	建設農林水産部 農業振興課			施 策		13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
9,702	9,702	6,702		1,500	1,500	0	P. 224	

【令和3年度における事務事業の概要】

新規就農者の就農時における初期負担の軽減等を行い、就農意欲の喚起や就農後の定着を図りました。

○農業次世代人材投資資金（経営開始型）

- ・令和2年度までの採択者  
交付金額 1,500千円/年（最長5年間）  
※就農2年目以降は前年の所得に応じて交付額が変動します（所得から交付金額を差し引いた額が100万円を超えた場合、段階的に減額され、350万円を超えた場合は交付停止となります）。
- ・令和3年度の採択者  
交付金額 1,500千円/年（経営開始1年目～3年目）  
1,200千円/年（経営開始4年目～5年目） 最長5年  
※前年の世帯所得が600万円を超えた場合は交付停止となります。
- ・負担割合 人材投資資金及び推進事業費（事務費） 県10/10（国10/10）

○親元就農等給付金

- ・給付金額 300千円/年（最長3年間）  
※新規採択は令和2年度で終了しました（令和3年度対象者（2年目と3年目）11名、令和4年度対象者（3年目）9名）。
- ・負担割合 市10/10

【令和3年度における事務事業の成果】

新規就農者に対し資金を交付し、就農意欲の喚起及び就農後の定着を図ることができました。

- 農業次世代人材投資資金（経営開始型）6,579千円（うち県費6,579千円）  
・対象者 平成29年度採択1名、平成30年度採択1名、令和元年度採択1名、令和2年度採択1名、令和3年度採択1名、計5名
- 推進事業費 123千円（うち県費123千円）
- 親元就農等給付金 3,000千円（うち基金繰入金1,500千円）  
・対象者 令和元年度採択1名、令和2年度採択9名 計10名

※財源内訳の「その他」は、まちづくり基金繰入金

□新規就農者数、資金及び給付金の該当者数の推移

年 度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
新規就農者数	11	16	12	19	13
経営開始型交付件数	11	7	3	5	5
親元就農給付件数	3	8	9	15	10

※新規就農者数は、法人に就農した者を含みます。

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事務事業名	07	有害鳥獣対策事業				6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課	建設農林水産部 農業振興課				施 策	13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
14,673	13,732				13,732	941	P. 224	

【令和3年度における事務事業の概要】

イノシシなどの有害鳥獣による農作物被害を軽減し農業経営の安定を図るため、駆除や被害防止対策を行う「伊万里有田地区有害鳥獣対策協議会」や市猟友会に委嘱する「伊万里市有害鳥獣捕獲隊」の活動を支援しました。

また、新規に狩猟免許を取得し、有害鳥獣駆除に従事した者に対して免許取得に係る経費の一部を助成しました。

捕獲報償金    イノシシ（幼・成獣） 2,500円    アライグマ                    1,000円

【令和3年度における事務事業の成果】

有害鳥獣の駆除や被害防止対策に要する経費の補助を行い、農作物被害を軽減し農業経営の安定を図ることができました。

補助金支出実績

- ・イノシシ捕獲    3,785 頭（補助金 9,463千円）    R3.2月～R4.1月
- ・アライグマ捕獲    508 頭（補助金 508千円）                    "
- ・捕獲わな導入    40 基（補助金 1,210千円）
- ・わな狩猟免許取得    5 人（補助金 251千円）
- ・伊万里市有害鳥獣捕獲隊活動費助成 1,000千円
- ・駆除委託経費                                    1,290千円

伊万里有田地区有害鳥獣対策協議会負担金 10千円

有害鳥獣捕獲頭数の推移

年度	イノシシ (頭)	アライグマ (頭)	アナグマ (頭)	タヌキ (頭)	カラスなど (羽)
H29	3,028	154	117	62	471
H30	3,244	178	67	44	330
R元	3,219	295	78	31	155
R2	4,757	533	139	81	1,073
R3	3,812	511	113	108	820

駆除期間は5月～2月（R2より5月～3月）

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事務事業名	08	人・農地プラン推進事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農業振興課				施 策	13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
980	181			166	15	799	P. 224	

**【令和3年度における事務事業の概要】**

地域内の人と農地の問題について、一体的に解決するための「人・農地プラン」を平成25年3月に当時のJA支所単位の11地区で策定しました。しかし、全国的にプランが有効に機能していなかったため、地域の将来について十分な話し合いができる単位で、「地域農業の担い手確保等の将来の方針」の策定（人・農地プランの実質化）が国により求められたことから、令和元年度に将来の営農意向に関するアンケート調査と農地利用の現状についての地図の作成を行いました。令和2年度は、地図の作成のほか、アンケート調査の結果と作成した地図を利用して、集落での話し合いとプラン作成（公表）を行い、令和3年度においても、引き続き集落での話し合いとプラン作成（公表）を行いました。

- 人・農地プラン推進事業
- ・負担割合 推進事業費（事務費） 県10/10（国10/10）

**【令和3年度における事務事業の成果】**

令和3年度までに145集落の全てでプランの作成（公表）を行う計画でしたが、新型コロナウイルスの感染症の拡大を受け、集落で話し合う機会が十分に得られなかったため、進捗が遅れています。しかし、このプランの作成が国庫補助事業の採択要件とされているため、農業者に不利益が生じないように国庫補助事業等を活用する可能性が高い認定農業者がいる集落を中心に、優先順位を決め推進を図りました。

- 人・農地プラン推進事業 181千円
- ・集落との話し合い 39集落（64回）
- ・プランの作成（公表） 31集落

※財源内訳の「その他」は、雑入（一般社団法人全国農業会議所）165,510円  
 ※農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律により、人・農地プランが法定化され「人・農地プラン」が「地域計画」となり、令和7年3月末までに「地域計画」を策定する必要があります。

<p>□人・農地プラン実質化のスケジュール</p> <p>①アンケート調査（R元年度実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各集落における人や農地の現況、将来の農地利用の意向調査（実績：145集落）</li> </ul> <p>②地図化による現況把握（R元～2年度実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの回答をもとに、年齢階層や後継者のいない農地等を地図上に示した地図の作成（R元～2年度実績 145集落）</li> </ul> <p>③集落での話し合い（R2～3年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査の回答や地図を活用し、将来の農地を誰が担っていくのか等の話し合い（R2実績 37集落（延べ46回）、 R3実績 39集落（延べ64回））</li> </ul> <p>④検討会の実施、プランの公表（R2～3年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者の代表者等で構成する検討会を経て、計画を公表（R2実績 3集落、 R3実績 31集落）</li> </ul>
--



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事務事業名	10	農地集積・集約化事業				6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農業振興課				施 策	13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
18,779	18,779	18,779				0	0	P. 226

【令和3年度における事務事業の概要】

農業生産性を高め、競争力を強化していくためには、担い手への農地の集積・集約化を加速させる必要があるため、国の補助事業を活用し、農地中間管理機構を通じて担い手への集積・集約に取り組んだ地域（団体）に対して、機構集積協力金を交付しました。

○負担割合 機構集積協力金 県10/10（国10/10）

【令和3年度における事務事業の成果】

担い手への農地集積と集約化を支援し、1経営体あたりの耕地面積の増加や農地の分散解消を図りました。

○地域集積協力金（集積タイプ）

要件：令和3年3月から令和4年2月末までの間に、農地中間管理機構に貸し付けられた農地面積のうち、10%以上が担い手以外から新たに担い手に集積されること。  
 交付額：13,792,800円（対象面積4,926 a × 交付単価28,000円/10 a）

○地域集積協力金（集約化タイプ）

要件：地域の農地面積に占める担い手の0.5ha以上の団地面積の割合が、目標年度（令和6年2月末）までに20ポイント以上増加すること。  
 交付額：4,986,000円（対象面積4,986 a × 交付単価10,000円/10 a）

取組前（耕作者毎に色分け）



取組後（耕作者毎に色分け）



※取組前が33経営体（うち法人1）、取組後が22経営体（うち法人2）となり、1経営体あたりの耕地面積が増加しました。また、分散していた農地を農地中間管理機構を活用し、集約したことにより分散解消に繋がりました。

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	04	園芸振興費
事務事業名	02	伊万里梨産地強化支援事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農業振興課			施策	13	農林水産業の振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 226	
5,607	4,605			4,600	5	1,002		

**【令和3年度における事務事業の概要】**

伊万里梨は、生産者の高齢化や後継者不足による栽培面積の減少、老木化による生産量の減少等の問題を抱えていることから、梨園を守るための取組や就農希望者の研修期間中の生活費等の支援、老木化による生産量減少の改善を図るための改植支援の強化など、梨産地の強化・維持を図るためのさまざまな支援を行いました。

- 就農フェア
  - ・就農相談会（福岡市）
- 伊万里市梨園を守る会支援事業費補助金
  - ・既設団体支援（300千円/1団体）、新規設立支援（200千円/1団体）
- 伊万里市梨栽培研修給付金
  - ・単身：100万円/年、夫婦：150万円/年
- 伊万里梨等産地維持・拡大事業費補助金（旧制度分～R3）
  - ・借受補助（1千円/1a）
- 伊万里市梨園地若返り推進事業費補助金（R2～）
  - ・改植・新植の促進費（10千円/1a）・借受補助（3千円/1a）

**【令和3年度における事務事業の成果】**

意欲的に改植等に取り組む梨生産者や団体等を支援し、伊万里梨の産地維持・強化を図ることができました。

- 就農フェア（145千円）
  - ・マイナビ農林水産FEST福岡会場出店使用料
- 伊万里市梨園を守る会支援事業費補助金（600千円）
  - ・梨園を守る会への支援 2団体 300千円×2団体
- 伊万里市梨栽培研修給付金（500千円）
  - ・対象者 1名（6か月分：R3. 10月～R4. 3月）
- 農地の借受の補助（310千円）
  - ・借受補助 2件（面積34a、補助金34千円）※旧制度分
  - ・ " 2件（面積92a、補助金 276千円）※新制度分
- 改植・新植の促進費（3,050千円）
  - ・29農家 約305a
  - ※幸水、豊水等の同一品種への改植要望が多かったため、令和2年度に市独自の補助制度を新設。



※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	04	園芸振興費
事務事業名	03	園芸農業機械・施設等整備支援事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農業振興課			施策	13		農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
501,336		64,337	53,462		10,800	75	436,999	P. 226

【令和3年度における事務事業の概要】

収益性の高い園芸農業を確立するため、収量・品質の向上や経営規模の拡大、経営コスト削減などの取組に必要な機械・施設等の整備に対して助成しました。

- さが園芸生産888億円推進事業費補助金（県単事業）  
補助率 県1/2（1/3）、市1/10

【令和3年度における事務事業の成果】

農業所得の向上に向けた経営規模の拡大や先進的技術の導入などに取り組む農家を支援し、農業経営の強化を図ることができました。

- さが園芸生産888億円推進事業費補助金（総事業費111,709千円 補助金64,337千円）
  - ・事業実施主体 5団体、8個人
  - ・事業内容 パイプハウス、高設栽培施設等
  - ・対象品目 きゅうり、いちご、アスパラガス、梨、ぶどう、茶

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

※不用額は、令和4年度への繰越明許費436,428千円を含みます。

○事業実績

年度	取組主体数	総事業費（千円）	補助金（千円）
R元	11 (10)	307,932 (99,152)	147,075 (52,175)
R2	9	105,577	58,554
R3	13	111,709	64,337

※R元年度は産地パワーアップ事業費補助金分を含む

( ) 内がさが園芸生産888億円推進事業費補助金分の数字



さが園芸888運動

チャレンジ！元気あふれるさが園芸へ

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	05	畜産業費
事務事業名	05	伊万里牛産地強化支援事業			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課		建設農林水産部 農業振興課			施 策	13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
16,174	15,164			15,100	64	1,010	P. 228	

【令和3年度における事務事業の概要】

肉用牛の農家や飼養頭数が減少し、ブランド牛としての産地維持が危惧される中で、産地強化を図るため、肥育農家の経営規模拡大や、一貫経営への移行、スマート畜産に要する経費を補助しました。

○伊万里牛産地強化支援事業費補助金

- ・肉用牛サポートセンター利用料  
肥育農家が母牛をサポートセンターに預け、その母牛が産んだ子牛を自家産肥育素牛とする場合、母牛1頭当たり利用料の1/3を補助  
(1戸当たり3頭を上限、補助期間最長2年)
- ・空き牛舎の賃借料  
肥育農家が規模拡大を行う際に空き牛舎を活用する場合、年間賃借料(1年目100%、2年目75%、3年目50%)を補助  
(単年度上限48万円、補助期間最長3年)
- ・空き牛舎のリフォーム  
肥育農家が空き牛舎を賃借する際に改修が必要な場合、その改修に係る費用の1/3を補助  
(100万円上限)
- ・肥育素牛の導入促進費  
肥育農家が年間計画で10頭以上増頭する場合、素牛導入1頭当たり5万円を補助  
(1農家80頭上限)
- ・IoT機器等の導入費  
生産性向上を図るためのIoT機器の導入費として、購入の場合1/3、リースの場合1/2を補助  
(100万円上限)

【令和3年度における事務事業の成果】

素牛価格や飼料費の高止まりに加え、新型コロナウイルス感染症の影響による枝肉価格が下落したことにより、これまで以上に経営がひっ迫した肥育農家が多いなか、肥育素牛の増頭などの規模拡大に取り組む肥育農家の意欲向上につながり、飼養頭数は増加に転じました。

○伊万里牛産地強化支援事業費補助金

・肉用牛サポートセンター利用料	1農家	205千円
・空き牛舎の賃借料	2農家	517千円
・空き牛舎のリフォーム	1農家	679千円
・肥育素牛の導入促進費	10農家	12,350千円
・IoT機器等の導入費	3農家	1,413千円
	17農家	15,164千円

【肥育農家数・肥育牛飼養頭数】

R3.2.1時点 7,697頭(41農家) R4.2.1時点 7,728頭(38農家)

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	05	畜産業費
事務事業名	06	肉用牛肥育農家経営回復支援事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農業振興課			施 策		13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 228	
45,640	45,640	40,000		5,600	40	0		

**【令和3年度における事務事業の概要】**

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、コロナ禍で枝肉価格下落の影響を受け、経営悪化に陥った肥育農家の早期の経営回復を図るため、素牛の導入にかかる経費の支援を行いました。

○肉用牛肥育農家経営回復支援金

- ・令和3年4月から令和4年3月までの間に導入した肥育素牛1頭あたり10千円

**【令和3年度における事務事業の成果】**

新型コロナウイルス感染症の拡大で経済情勢が悪化し、枝肉価格の下落によって、肥育農家の経営がひっ迫しましたが、国、県をはじめとする多くの行政支援によって歯止めがかかり、肥育農家の経営回復に一定の役割を果たすことができました。

○肉用牛肥育農家経営回復支援金（45,640千円）

- ・対象農家数：36戸
- ・補助頭数（導入数）：4,564頭

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費
事務事業名	03	農地・水保全管理支援事業	6つのまちづくり			03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策		13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
135,669	135,669	101,134		1,086	33,449	0	P. 230	

【令和3年度における事務事業の概要】

平成19年度から5ヵ年事業として創設され、令和元年度に3期目に入っている本事業は、農地農村が有する多面的機能を維持していくために、農業者をはじめとした住民等の組織が行う農地や農業用施設の適正な維持管理活動に対し、協定農地に応じた補助金を交付することで、その活動を支援しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

令和3年度は、77組織に活動費として補助金133,798千円を支出するとともに、活動組織からの相談に対する援助や適正な活動推進のための検査確認などを行うことにより農地、農業用施設の維持管理や長寿命化及び農村環境の良好な保全を図ることができました。

活 動 内 容	組 織 数	協定面積 ( ha )	
		田	畑
農 地 維 持 活 動	77	1,579.5	306.7
資源向上活動 ( 共同活動 )	77	1,579.5	306.7
資源向上活動 ( 長寿命化 )	61	1,301.2	264.1

( 円 )

区 分	内 容	事 業 費
多面的機能支払補助金		133,797,782
事 務 費	消耗品費、燃料費、通信運搬費、使用料及び賃借料	785,000
計		134,582,782

支 出 内 容	補 助 率		
	国	県	市
多面的機能支払補助金	50%	25%	25%
事 務 費	100%		

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費
事務事業名	05	小規模土地改良支援事業	6つのまちづくり			03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策		13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 232	
2,000	1,956			1,900	56	44		

【令和3年度における事務事業の概要】

国・県の採択基準に適合しない小規模な土地改良事業について、市単独補助により地域の生産基盤整備を実施しました。

(交付条件)

- ・受益面積1ha以上、受益戸数5戸以上
- ・事業費の限度額70万円以内
- ・補助額は事業費の1/2(上限35万円)

【令和3年度における事務事業の成果】

農業用施設改修の認可を11箇所行い、補助金1,956千円を支出し、施設整備による質的向上を図ることができました。

区 分	内 容	補 助 金 額 (円)
農道舗装	コンクリート舗装L=130m 幅員W=2.5(1箇所)	319,000
ため池補修	堤体工外(3箇所)	583,000
水路整備	コルゲート管布設 50×3.2m, 400×3.0m 浚渫外(5箇所)	929,000
パイプライン	鋼管 75(1箇所)	58,000
頭首工	巻き上げ機(1箇所)	67,000
計		1,956,000

財源内訳の「その他」は、まちづくり基金繰入金

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費
事務事業名	07	ため池整備促進事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
	13	ため池整備促進事業 (繰越明許)						
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
111,679	17,816	15,416	1,800	2,140	1,540	93,863	P. 232 234	

【令和3年度における事務事業の概要】

災害の未然防止や用水の安定確保を図るため、ため池改修工事及び決壊すると多大な影響を与えるため池のハザードマップ作成を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

ため池ハザードマップ作成N=7箇所のソフト対策と県営事業ため池改修N=3箇所のハード対策を行い、住民の安全確保を図りました。

区 分	内 容	事 業 費
ハザードマップ作成	R2繰越 N=7箇所	11,433,900
計画概要書作成	新堤	3,982,000
県営事業負担金	N=3箇所(鞍谷、田代、越差)	2,400,000
計		17,815,900

決算額内訳

(千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳				不用額
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
111,679	17,816	15,416	1,800	2,140	1,540	93,863
R2繰越 11,440	11,434	11,434			0	6
R3現年 100,239	6,382	3,982	1,800	2,140	1,540	93,857

( 93,839 ) 繰越

不用額は、令和4年度への繰越明許費93,839千円を含みます。



款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費
事務事業名	09	中山間地域農業基盤・環境整備促進事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策	13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 232	
36,677	36,677		13,000	13,648	10,029	0		

【令和3年度における事務事業の概要】

中山間地域の実情を踏まえ、その地域の特性を活かした農業と活力ある農村づくりに意欲があるエリアを対象に、農業生産基盤及び農村生活環境基盤の整備を行うことで、農業農村の活性化を図りました。

【令和3年度における事務事業の成果】

県営事業（伊万里東部地区中山間地域総合整備事業）に対して負担金36,677千円を納入し、中山間地域の特性を活かした農業の展開と豊かで活力のある農村づくりに貢献することができました。

(円)

区 分	内 容	事 業 費	負 担 金
農業生産基盤	大黒井堰用水路外6箇所	145,400,000	21,756,993
生活環境基盤	重橋・志気線外2箇所、西谷排水路	74,600,000	14,920,000
計		220,000,000	36,676,993

負担率

農業生産基盤 国55%、県30%、市10%、地元5%

生活環境基盤 国55%、県25%、市10%（20%）、地元10%（0%）

生活環境基盤の農道整備のうち、市道と重複している路線は（ ）書きの割合を適用します。

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費
事務事業名	10	経営体育成基盤整備事業			6つのまちづくり		03	活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策		13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
22,750		22,750		10,200	11,375	1,175	0	P. 232

【令和3年度における事務事業の概要】

東山代干拓地区の農地（A=49.9ha）は、湿田が多く麦作や畑作物など裏作の振興が図れない状況であり、また狭小の区画が点在しているため大型機械の導入が困難な状況である。

このことから農業機械は個人利用及び作業委託が行われているため、今回の整備により担い手による農地集積を進め、農業経営の安定化を図ることとしている。

【令和3年度における事務事業の成果】

県営事業（東山代干拓地区経営体育成基盤整備事業）に対して負担金22,750千円を納入し、担い手による農地集積が進み、農業経営の安定化を図ることができました。

(円)

区 分	内 容	事 業 費	負 担 金 額
農 地 整 備	農地整地、農業用排水路、暗渠排水	130,000,000	22,750,000
計		130,000,000	22,750,000

負担率

農地整備（経営体育成基盤整備事業） 国55%、県27.5%、市8.75%、地元8.75%

款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費
事務事業名	11	農業用排水路施設等整備事業	6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり			
	14	農業用排水路施設等整備事業(繰越明許)						
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策	13	農林水産業の振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
57,440	40,832	26,903	12,200	451	1,278	16,608	P. 234	

【令和3年度における事務事業の概要】

農業施設の維持及び農業生産の安定を図るため、用排水路改修工事、ため池改修工事及び暗渠排水工事を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

黒川町畑川内地区の農業用排水路改修工事で水路断面の拡張、松浦町下平地区の山田ため池改修工事の実施及び二里町大里地区で暗渠排水工事により、自然災害を未然に防止し農業施設の維持及び農業生産の安定を図りました。

区 分	内 容	事業費 (円)
農業用排水路改修工事	農業用(野田地区)用排水路工 L=92m	27,725,500
山田ため池改修工事	堤体工 L=20m	6,600,000
大里地区暗渠排水管布設工事	暗渠排水工 A=1.1ha	4,353,800
新堤第1ため池外測量設計業務委託	測量設計業務 N=1式	1,925,000
事務費	消耗品費、燃料費、通信運搬費、使用料及び賃借料	227,700
計		40,832,000

決算額内訳

(千円)

	予算現額	決算額	財 源 内 訳				不用額
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
	57,440	40,832	26,903	12,200	451	1,278	16,608
R2繰越	27,979	27,948	15,246	11,400	0	1,302	31
R3現年	29,461	12,884	11,657	800	451	24	16,577
							( 16,577 ) 繰越

不用額は、令和4年度への繰越明許費16,577千円を含みます。

款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
事務事業名	01	林業後継者育成等支援事業			6つのまちづくり		03	活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策		13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
2,379		2,377			1,178	1,199	2	P. 236

【令和3年度における事務事業の概要】

伊万里西松浦森林組合に対し、森林整備に関する担い手の確保や育成及び通年雇用を促進するため、森林整備担い手育成事業として、技術・技能の向上や安全衛生対策及び福利厚生費等に対し補助を行いました。

また、伊万里市、有田町管内において地域林業の担い手たる林業後継者の育成、確保を図る目的で結成された伊万里有田地区森林・林業協議会に負担金を支払うことで、林業経営研修会等が開催されました。

【令和3年度における事務事業の成果】

伊万里西松浦森林組合に対し、技術・技能の向上や安全衛生対策及び福利厚生費等に対する補助を行うことで、林業基盤の整備と経営の安定化を図ることが出来ました。

また、伊万里有田地区森林・林業協議会に対し負担金を支払い、協議会が行う林業経営研修会等に参加し、森林・林業に関する新たな知識の習得が出来ました。

項目	補助金等額	備考
森林整備担い手育成事業費補助金	2,304,962円	内訳 ・基金助成分(その他)1,177,612円 ・市(一般財源) 1,127,350円
伊万里有田地区森林・林業協議会負担金	72,000円	・市(一般財源) 72,000円
計	2,376,962円	・市(一般財源) 1,199,350円

款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
事務事業名	02	森林経営管理事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施策	13	農林水産業の振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 236	
14,743	6,696			6,696	0	8,047		

【令和3年度における事務事業の概要】

荒廃した森林の管理を促進するために平成31年4月1日に施行された森林経営管理制度に基づき、令和2年度に作成した経営管理権集積計画を基に間伐を実施しました。  
また、他地区の経営管理の意向調査や経営管理権集積計画の作成を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

令和2年度に作成した経営管理権集積計画を基に黒川町立目地区の間伐を5.76ha実施し、今後の森林整備につなげることができました。  
また、黒川町横野地区、花房地区及び南波多町原屋敷地区、水留地区の制度対象森林38.55ha、183筆の意向調査結果や林業経営に関する経営管理権集積計画の作成を行いました。

集積計画に基づく間伐実績（黒川町立目）

所有者	面積	筆数
8人	5.76ha	52

集積計画案作成実績（黒川町横野・花房、南波多町原屋敷・水留）

所有者	面積	筆数
41人	38.55ha	183

地元説明会



間伐後の森林



財源内訳の「その他」は、まちづくり基金繰入金  
不用額は、令和4年度への繰越明許費7,760千円を含みます。

款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	03	林道建設費
事務事業名	01	林道整備促進事業				6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策		13	農林水産業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
437	416				416	21	P. 238	

【令和3年度における事務事業の概要】

林道烏帽子岳線及び林道二里下分線の開設を、佐賀県（伊万里農林事務所）代行にて行っており、林道整備に関する調査、測量設計及び立木補償から開設工事までを佐賀県が実施し、市では林道用地の取得を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

林道二里下分線（2工区）に係る用地の取得を行いました。

林道二里下分線（2工区）用地購入費

所在地			取得面積	取得単価	取得金額
大字	字	地番			
滝川内	古田	197-1	977㎡	140円/㎡	136,780円
滝川内	古田	194-2	1,159㎡		162,260円
滝川内	古田	192-1	22㎡		3,080円
滝川内	古田	194-5	711㎡		99,540円
計			2,869㎡		401,660円

款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	04	治山事業費
事務事業名	03	農林地崩壊防止事業（林地）（繰越明許）			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施 策		22	防災体制の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 238	
2,600	2,322	1,161		581	580	278		

【令和3年度における事務事業の概要】

令和2年6月25日から28日の集中豪雨により被災した人家や公共施設に影響を及ぼす恐れのある林地の復旧工事を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

農林地崩壊防止事業にて、1箇所の林地の復旧を行い、周辺住民の安全を確保することができました。

地区名	工事場所	工事請負費	復旧延長
烏帽子	大川町川西	2,322,100円	9.7m

令和2年度 農林地崩壊防止事業（林地）（繰越明許）烏帽子地区農林地崩壊防止工事

着工前



成工



款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	01	水産業振興費
事務事業名	02	海域環境・生態系保全管理支援事業			6つのまちづくり		03	活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課			施策		13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 240	
585	584				584	1		

【令和3年度における事務事業の概要】

海域の環境や生態系の維持・回復など、水産業と漁村の多面的機能の維持向上を図るため、地域の活動に要する経費を補助しました。  
また、水産資源を確保するため、ナマコを放流し沿岸漁業の振興を図りました。

【令和3年度における事務事業の成果】

漁業者が行う水産業と漁村の多面的機能の維持向上を図る地域活動を支援し、環境・生態系の維持・回復や安心して活動できる海域の確保などを行うことができました。

事業内容：漂流・漂着・堆積物の処理  
活動組織：波多津地区海環境を守る会  
事業費：3,667千円  
補助金：550千円（3,667千円×15%）  
補助率：国70%、県15%、市15%  
佐賀県環境・生態系保全対策地域協議会を經由して補助

また、佐賀玄海漁業協同組合波多津支所が行うナマコ放流を支援し、水産資源の確保を図ることができました。

事業内容：ナマコの放流  
活動組織：佐賀玄海漁業協同組合波多津支所  
事業費：137千円（25,000尾×5.5円）  
補助金：34千円（137千円×1/4以内）

作業状況（漂流・漂着物の処理）



作業状況（ナマコ放流）





款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	01	水産業振興費
事務事業名	03	漁業経営支援事業			6つのまちづくり		03	活気あふれる産業づくり
担当部課		建設農林水産部 農山漁村整備課			施策		13	農林水産業の振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 240	
4,704	4,688	4,000			688	16		

【令和3年度における事務事業の概要】

コロナ渦において、漁業者等が経営を継続していくため、漁業経営の効率化や感染症対策等の取組に関する経費に対して補助しました。

【補助対象経費】

- 新たな機器・装置の導入に関する経費等
- 販売促進に関する経費等
- 感染症対策に関する経費等
- 事業計画書の確認事務に要する経費

【補助対象者】

佐賀玄海漁業協同組合波多津支所の正組合員（16名）、漁業者で構成する団体または佐賀玄海漁業協同組合波多津支所

【補助率】

10分の9以内  
 （補助上限額は500千円/漁業者、1,000千円/団体及び佐賀玄海漁業協同組合波多津支所）

【令和3年度における事務事業の成果】

佐賀玄海漁業協同組合波多津支所の正組合員（7名）、漁業者で構成する団体（1団体）、佐賀玄海漁業協同組合波多津支所が実施する、漁業経営の効率化や感染症対策等の取組に関する経費に対して補助しました。

補 助 対 象 経 費	主 な 経 費	補 助 金 額
新たな機器・装置の導入に関する経費等	魚群探知機、脱貝機、レーダー、製氷機、サテライトコンパス、漁業用燃料	4,485,076円
感染症対策に関する経費等	換気機能付きエアコン	179,100円
事業計画書の確認事務に要する経費		24,000円
計		4,688,176円

款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	04	工場等設置奨励事業	6つのまちづくり			03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課				施策	14	商工業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 244	
15,130	14,910			14,900	10	220		

【令和3年度における事務事業の概要】

市内に工場等の新設や増設を奨励することにより、産業の振興や新たな雇用の場を確保するため、新たな設備投資を行った事業者に対し、工場等設置奨励金を交付しました。

- ・対象要件：投下固定資産額が2,000万円を超えること
- ・交付期間：3年間（事業開始年度の翌年度から交付）

【令和3年度における事務事業の成果】

新たな設備投資が行われた11事業所に対し、工場等設置奨励金14,910千円を交付することにより、企業の安定的な経営を支援するとともに、市内において新たな雇用の場を確保することができました。

○交付期間

- ・1年目分 3件 510千円
- ・2年目分 3件 932千円
- ・3年目分 6件 13,468千円

○製造業の場合

課税された固定資産税相当額を奨励金として交付

1年目分	不均一課税(90%免除)	10%
2年目分	不均一課税(75%免除)	25%
3年目分	不均一課税(50%免除)	50%

■ 奨励金

・七ツ島工業団地（黒川町）



財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	11	市営駐車場管理運営事業	6つのまちづくり			03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課				施策	14	商工業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 246	
6,788	6,744			6,744	0	44		

【令和3年度における事務事業の概要】

中心市街地や商店街を訪れる来街者の利便性の向上を図るため、指定管理者制度により、5ヶ所の市営駐車場を運営しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

令和3年度では、管理運営費6,744千円を支出した一方、駐車場使用料収入が10,765千円あり、4,021千円の黒字となりました。

令和3年度利用実績

駐 車 場	利 用 台 数	前年度利用台数	前 年 度 比
中 央 駐 車 場	10,066台	10,593台	527台
船 屋 町 駐 車 場	409台	642台	233台
駅 前 東 駐 車 場	455台	480台	25台
駅 前 駐 車 場	11,074台	8,524台	2,550台
駅 前 広 場 駐 車 場	2,433台	2,523台	90台
合 計	24,437台	22,762台	1,675台

令和3年度収入実績

駐 車 場	収 入 金 額	前年度収入金額	前 年 度 比
中 央 駐 車 場	2,325,719円	2,513,919円	188,200円
船 屋 町 駐 車 場	1,294,090円	1,505,380円	211,290円
駅 前 東 駐 車 場	2,243,150円	2,366,400円	123,250円
駅 前 駐 車 場	4,855,830円	4,257,070円	598,760円
駅 前 広 場 駐 車 場	47,100円	25,950円	21,150円
合 計	10,765,889円	10,668,719円	97,170円



款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	13	第2次緊急経済対策クーポン券発行事業	6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり			
担当部課		総合政策部 企業誘致・商工振興課	施策	14	商工業の振興			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
116,421	109,431	96,728		12,700	3	6,990	P. 248	

【令和3年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に基づく行動自粛により、深刻な影響を受けている地域経済及び市民生活を支援し、市内における消費喚起を促すため、緊急経済対策クーポン券を発行しました。

- ・対象者 全市民（54,155人）  
基準日（令和3年9月1日）現在で、住民基本台帳に記録されている者
- ・金額 1人につき2,000円（500円券×4枚）
- ・使用期間 10月1日（金）～12月31日（金）
- ・使用方法 1,000円以上の買い物等でクーポン券が利用できる。  
（例：1,000円 1枚、1,500円 1枚、2,000円 2枚 等）
- ・取扱店 市内で営業している事業者で、市に登録したもの。（406店舗）

【令和3年度における事務事業の成果】

- （使用実績）
- ・対象者数 53,472人
  - ・配布枚数 213,888枚
  - ・使用枚数 202,905枚
  - ・使用金額 101,452,500円
  - ・使用率 94.9%



財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	14	第3次事業者緊急支援事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課			施策	14	商工業の振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
88,117	87,637	73,541			14,096	480	P. 248	

【令和3年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症の拡大による行動自粛や観光客の急減などに伴い、売上の減少など厳しい経営環境にある市内の事業者の事業の継続を支え、地域経済を支援するため、以下の緊急的な支援金を支給しました。

(1) 第3次事業者緊急支援金

次の及びの要件を満たす場合に、1事業者につき4万円を支援する。  
市内企業・事業所等において、売上げが令和3年7月から10月までのいずれかの月で、令和2年又は令和元年同月と比較して20%以上減少していること。  
比較対象月の売上げが法人20万円以上、個人15万円以上であること。

(2) 第3次事業者緊急支援金（追加支給）

第3次事業者緊急支援金の対象事業者に1事業者につき6万円を追加支給する。  
（第3次事業者緊急支援金（4万円）未申請の事業者においては10万円を支給）

(3) 貸切バス・タクシー・自動車運転代行事業者緊急支援金

深刻な影響が出ている貸切バス・タクシー・自動車運転代行事業者に対し、事業継続を支援するため、貸切バス1台につき10万円、タクシー・自動車運転代行車1台につき1万円を支援する。

【令和3年度における事務事業の成果】

（支給実績）

(1) 第3次事業者緊急支援金

700事業者 28,000,000円

(2) 第3次事業者緊急支援金（追加）

815事業者 53,580,000円

(3) 貸切バス・タクシー・自動車運転代行事業者緊急支援金

貸切バス	3事業者（50台）	5,000,000円
タクシー	3事業者（52台）	520,000円
自動車運転代行	9事業者（13台）	130,000円
	計	5,650,000円

款 07	商工費	項 01	商工費	目 02	商工業振興費		
事務事業名	16	伊万里・有田焼伝統産業会館管理運営事業（繰越明許）	6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり		
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課		施策	14	商工業の振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 248
22,809	22,450	20,240		2,200	10	359	

【令和3年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症に伴う「新しい生活様式」に対応し、自然換気と快適な室内温度の両立を図るため、老朽化した空調設備の改修を行いました。

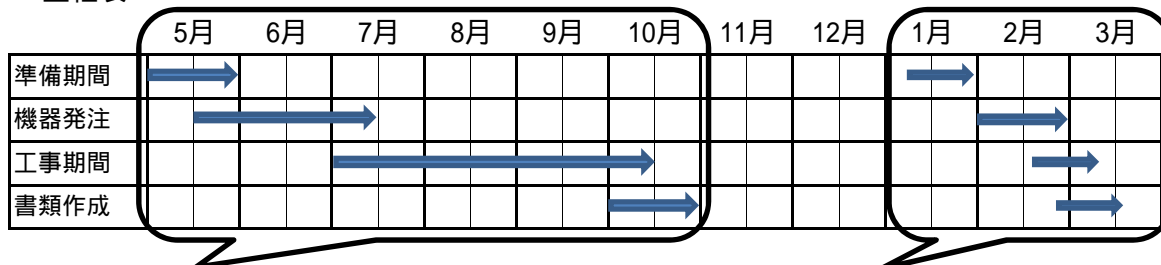
工事概要

令和2年度中に設計業務のみを行い、工事業務は予算額全額を令和3年度へ繰り越し対応したものの。

【令和3年度における事務事業の成果】

1階用空調の改修及び総合研修室、第1研修室、第2研修室、技術研修室それぞれに個別空調を設置したことにより、コロナ禍においても快適かつ安心して利用できる施設になりました。

工程表

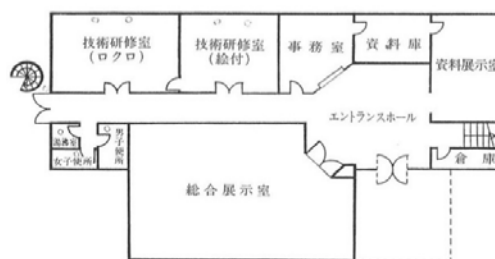
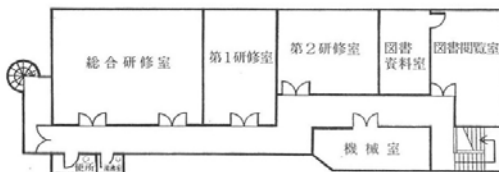


新規(総合研修室, 第1研修室, 第2研修室)  
改修(1階用空調)

2階

新規(技術研修室(ロクロ, 絵付))

1階



財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	商工業振興費
事務事業名	17	第2次事業者緊急支援事業 (繰越明許)			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 企業誘致・商工振興課			施 策		14	商工業の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 248	
77,674	49,105	49,100			5	28,569		

【令和3年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症の拡大による行動自粛や観光客の急減などに伴い、売上の減少など厳しい経営環境にある市内の事業者の事業の継続を支援、地域経済を支援するため、以下の緊急的な支援金を支給しました。

・第2次事業者緊急支援金

市内企業・事業所等において、売上げが令和2年12月から令和3年2月までのいずれかの月で、対前年同月比で減少している場合に、1事業者につき4万円を支援する。

個人事業者の場合は令和元年分の確定申告において、営業収入の割合が営業・給与・農業・不動産・雑収入の合計の80%を超える者に限る。

【令和3年度における事務事業の成果】

(支給実績)

・事業者緊急支援金

1,219事業者 48,760,000円

・予算見込み

2,000事業者 80,000,000円

款	07	商工費	項	01	商工費	目	03	企業誘致推進費
事務事業名	02	企業立地勸奨事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		総合政策部 企業誘致・商工振興課			施策	14		商工業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,712		974				974	738	P. 252

【令和3年度における事務事業の概要】

市内において新たな雇用機会を創出するため、企業訪問等による積極的な立地勸奨を行うとともに、既存企業の事業拡張を促進するためフォローアップ活動に取り組みました。

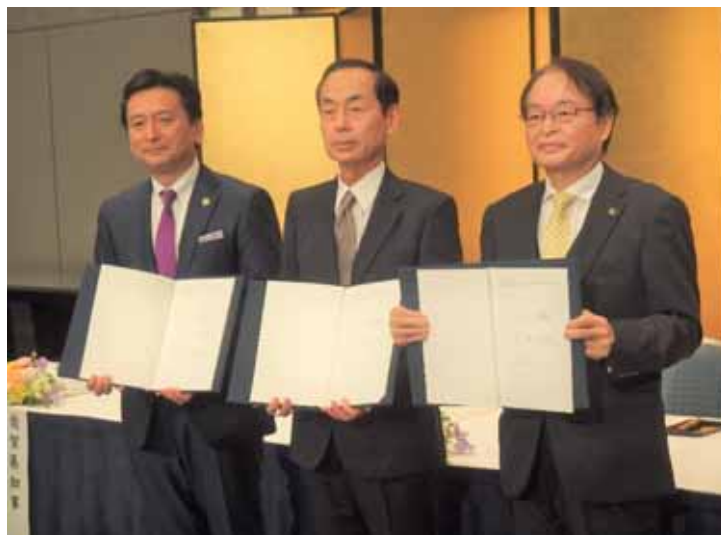
【令和3年度における事務事業の成果】

令和3年度立地企業

企業名	立地協定締結	主な事業内容
株式会社SUMCO	令和4年1月	半導体用シリコンウエーハの製造・販売

令和3年12月に株式会社SUMCOの投資計画を契機に、工場等の新設又は増設を行う企業活動を円滑に促進し、産業の振興及び雇用の増大を図るため、庁内連携による横断的かつ包括的な庁内支援体制として「伊万里市企業活動支援チーム」を設置しました。

株式会社SUMCO、県、伊万里市による三者協定





款	07	商工費	項	01	商工費	目	03	企業誘致推進費
事務事業名	03	ビジネス支援サービス業等立地促進事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		総合政策部 企業誘致・商工振興課			施策	14		商工業の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
30,531		29,565	258		29,272	35	966	P. 252

【令和3年度における事務事業の概要】

企業誘致の推進に取り組む中で、大学新卒者やUIJターン希望者等の就職先となる事務系企業の誘致を図るため、誘致の受け皿となるオフィススペースの確保が必要なことから、佐賀県の「さが創生オフィススペース創出事業」を活用し、拠点オフィスとしてバンリビルを賃借しました。

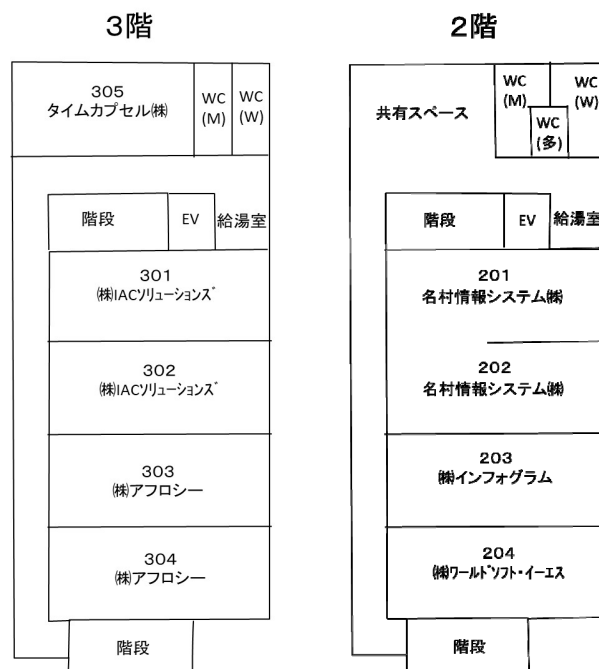
また、バンリビルへ進出した企業に対し、ビジネス支援サービス業等立地奨励金を交付しました。

- ・拠点オフィス借上料 18,889千円（月額1,574,100円）
- ・ビジネス支援サービス業等立地奨励金（バンリビル）  
交付要件：新規地元雇用者等3人以上

【令和3年度における事務事業の成果】

新たな雇用等を行われた4事業所に対し、ビジネス支援サービス業等立地奨励金10,676千円を交付することにより、企業の安定的な経営を支援するとともに、市内において新たな雇用の場を確保することができました。

○伊万里市ビジネス支援オフィス（バンリビル）への入居状況（令和4年3月末現在）



※財源内訳の「その他」のうち、10,900千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光費
事務事業名	02	観光PR事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課		市民交流部 シティプロモーション推進課			施策	15	観光の振興	
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
3,520		2,468			2,400	68	1,052	P. 254

【令和3年度における事務事業の概要】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少した交流人口及び観光消費の回復を図るため、本来のターゲット層の「福岡都市圏」、「本物志向」、「シニア層」に加え、情報発信力の高い「若者層」へ本市の魅力をもPRするため、佐賀県のご当地アニメ「ゾンビランドサガ」を活用した情報発信を行いました。

さらに、「健康」というコロナ禍において関心が寄せられているトピックスに着目し、本市が持つ自然豊かな地域資源を組み合わせ、新たな伊万里の観光資源の一つ、いわゆる「伊万里ヘルスツーリズム」として、旅行商品の造成を旅行会社等へ働きかけるよう計画していましたが、度重なる緊急事態宣言等により思うような営業活動ができませんでした。

しかしながら、コロナ禍にあるからこそ話題喚起としてアニメやSNSなどの新たなコンテンツを活用した情報発信など新たな取組を実施しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

交流人口の回復のため、以下のとおり、観光PRを実施しました。

- ・大川内山風鈴祭りの開催時期に合わせた伊万里焼風鈴の掲出  
首都圏、福岡都市圏のホテルや飲食店など市内外10か所、276個を掲出しました。
- ・伊万里市観光パンフレット「旅 伊万里」へのゾンビランドサガキャラクター掲載等  
市内2か所のゾンビランドサガデザインマンホール設置及びデザインナンバープレート交付に合わせて、観光パンフレットにアニメキャラを掲載した「伊万里市聖地巡礼マップ」を組み込むことで、アニメ聖地をはじめとした市内の周遊を促進しました。
- ・エディタースAGA広告掲載  
ゾンビランドサガデザインマンホール設置を契機とした誘客促進及び情報発信を図るため、WEBマガジン「エディタースAGA」にマンホールの写真と共に、佐賀県在住のライターによる市内の観光スポットや観光情報を紹介しました。
- ・博多駅バスターミナルデジタルサイネージ等ポスター掲載  
博多の玄関口である博多駅バスターミナルにおいて、伊万里市観光ポスター2種（伊万里牛、伊万里焼）を掲示することで誘客促進を図り、本市をPRできました。

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光費
事務事業名	03	伊万里ブランド販売促進事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		市民交流部 シティプロモーション推進課			施策	15		観光の振興
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,684	1,055			1,000	55	629	P. 254	

【令和3年度における事務事業の概要】

伊万里ブランドの認知度向上と販売促進を図るため、福岡都市圏等のホテルにおいて、伊万里産の食材を使った限定メニューを伊万里焼の器で提供する「伊万里フェア」の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりホテル自体の集客が厳しく、例年と比べて開催回数は減少しました。

そのような中、西鉄ホテルグループとは平成28年度から令和3年度まで毎年フェアを継続して開催しており、令和3年度は単にホテルのレストランイベントのみならず、伊万里焼風鈴の展示に合わせてホテルフロントにて販売したほか、西鉄が手掛ける最高級ラグジュアリーバス「グランデイズ」の伊万里ツアーを西鉄旅行とともに造成するなど、強力なパートナーとして、西鉄グループのチャネルを活用しながら福岡都市圏へ本市の魅力をも的にPRしました。

【令和3年度における事務事業の成果】

伊万里ブランドの認知度向上や販売の促進を図るため、以下のとおり、西鉄ホテルグループにおいて伊万里フェア等を開催しました。

- ・「春グルメチケット2022」の販売（3/1～6/30）

ホテル内のレストランにおいて、伊万里焼の器で伊万里牛をはじめ伊万里産の旬の野菜やフルーツなどを使用したフェア限定メニューを提供するなど、福岡都市圏のお客様に伊万里の食材と伊万里焼の魅力を、シェフが趣向を凝らした料理を通してお楽しみいただきました。

- ・西鉄の最高級バス「グランデイズ」で行く伊万里ツアー商品造成

「秘窯の里を訪れ、体感する伊万里健康美食ツアー」と題し、12席限定のラグジュアリーバスで、伊万里焼絵付け体験や伊万里牛ランチコース、くすきの杜での健康茶作り体験など、伊万里の「文化・食・健康」を体感いただくため、西鉄旅行の造成担当者に実際に伊万里を視察いただき、令和4年度の催行へとつなげました。

- ・伊万里・唐津の魅力を満喫できる西鉄旅行バスハイク商品造成

大川内山で開催された春の窯元市開催に合わせ、伊万里牛ランチや桜の名所である浦ノ崎駅を訪れていただくツアーを造成し、福岡都市圏のファミリー層にむけてPRするため、西鉄旅行の造成担当者に実際に伊万里を視察いただき、令和4年度の催行へとつなげました。

- ・西鉄グランドホテルにおける伊万里焼展示販売会（3/20～21）

西鉄グランドホテル1階ロビーにおいて、伊万里鍋島焼の献上品である瓶子を特別展示するほか、伊万里焼フリーカップをはじめ家庭用食器類などを数量限定かつ特別価格で2日間販売することで、福岡の有名ホテルにて伊万里焼及び本市の観光PRを行うことができました。

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光費
事務事業名	04	観光振興団体支援事業			6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課		市民交流部 シティプロモーション推進課			施策	15	観光の振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
29,859	26,390				26,390	3,469	P. 256	

【令和3年度における事務事業の概要】

物産観光振興協議会では、本市特産品の認知度向上を図るため、博多大丸等と連携した特産品PRや人気アニメを活用した観光PRを行ったほか、若者に影響力が強いインフルエンサーを起用した観光情報発信に取り組みました。

また、観光協会においても、SNSを活用した情報発信を行うなど時代に即したPRを実践するとともに、大阪阪急百貨店において市内の事業者と一緒に物産展を開催し、本市特産品を通して伊万里の認知度向上に努めました。

さらに、伊万里をイメージしたお土産として「陶板付お菓子セット」の開発を行い、高価格募集型企画旅行のお土産として商品化しました。

そのほか、市の施策と一体的な活動を推進するために設立された伊万里グリーン・ツーリズム推進協議会に対する損害賠償を求めた訴訟に関して、父親分の損害賠償金とそれに伴う遅延損害金の支払いを行うため、グリーン・ツーリズム推進協議会を支援しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

以下のとおり各種団体と連携した事業を行うことにより、誘客の促進及び消費額の向上を図ることができました。

- ・ 阪急うめだ本店「Hankyu PLATFARM MARKET」出店支援...3事業者(3/16～3/20)
- ・ 大丸福岡天神店「九州・沖縄特産品どうしようプロジェクト」出店支援...2事業者(2/18～4/5)
- ・ 「ゾンピランドサガ」を活用した観光PR企画
- ・ SNSを活用したインフルエンサーによる観光情報発信
- ・ 地域活性化企業に関する経費...**(株)ジャルセールス1名**
- ・ 「陶板付お菓子セット」の開発
- ・ グリーン・ツーリズムを目的とした農家民泊受け入れ実績...国内519名、国外0名



(支出内容)

- ・ 物産観光振興協議会補助金 359千円
- ・ 観光協会補助金 5,523千円
- ・ 観光振興強化事業費補助金 3,532千円
- ・ グリーン・ツーリズム推進事業費補助金 16,976千円



款	07	商工費	項	01	商工費	目	04	観光費
事務事業名	07	市内周遊観光券発行支援事業			6つのまちづくり	03		活気あふれる産業づくり
担当部課		市民交流部 シティプロモーション推進課			施策	15		観光の振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
3,000		2,130			2,100	30	870	P. 256

【令和3年度における事務事業の概要】

本市への宿泊者を対象に旅行予約サイト上での宿泊割引に加えて、周遊観光券（食事や土産、体験等を補助する割引券）を発行することで、さらなる誘客の拡大と市内における観光客の消費額増大を図りました。



【令和3年度における事務事業の成果】

【事業内容】

- (1) 名称 『伊万里まるごと周遊観光券』
- (2) 構成 宿泊者1名対象：宿泊割引2,000円、観光券2,000円分  
宿泊者2名以上対象：宿泊割引4,000円、観光券4,000円分
- (3) 取扱冊数・方法 1名対象：160予約分  
2名以上対象：45予約分
- (4) 助成率 100%以内（食事・土産・体験にかかった料金を割引）
- (5) 利用期間 令和4年1月5日～令和4年2月28日
- (6) 対象施設 宿泊 伊万里旅館組合所属施設、その他宿泊施設など  
食事 伊万里牛メニュー提供店、伊万里駅前近飲食店  
土産 伊万里市観光協会、市菓子組合所属店など  
体験 伊万里市伝統産業会館、くすきの杜など  
合計77施設

(7) 事業費 2,130,336円

【事業実績】

新型コロナウイルス感染症の再拡大により、県内にまん延防止等重点措置が適用された（1月27日～3月6日）ことを受け、予約受付を当初の予定より2週間以上短くしたことに加え、同時期に行われた佐賀県主体の宿泊割引キャンペーンとの兼ね合いから、事業の対象を九州在住者以外とせざるを得ない状況となりました。

- (1) 利用件数 本事業を利用した宿泊は、1名対象分19件、2名以上対象分15件
- (2) 利用額 89,500円（利用率 91.3%）
- (3) 旅行予約サイト、市特集ページの閲覧数  
旅行予約サイト上で展開した市特集ページの閲覧数は、2か月間の掲載期間の中で1,550回となりました。  
財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金





款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費	
事務事業名	03 西九州自動車道整備促進事業		6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課		施策	17	道路・交通体系の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳			不用額 (千円)	決算書
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
682	677				677	5 P. 260

【令和3年度における事務事業の概要】

物流や観光、防災などへの大きな効果が期待できる西九州自動車道は、福岡都市圏をはじめとした九州主要都市との大幅なアクセス時間の短縮を実現する計画総延長140kmの自動車専用道路です。

伊万里市域では、平成30年3月31日に、唐津伊万里道路の南波多谷口ICから伊万里東府招ICまでの区間5.3kmが開通し、現在は残りの2区間で事業が進められています。

この西九州自動車道の整備促進を図るため、福岡・佐賀・長崎8市4町の自治体で構成される期成会及び市内で組織されている期成会・協議会において整備促進のための協議を行うほか、予算獲得のための要望活動を行っています。

これらの事業を円滑に推進するため、期成会等への経費の負担及び補助を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

沿線12市町で構成する西九州自動車道建設促進期成会においては、昨年11月に更なる建設促進への取組として東京で総決起大会を開催しました。また、事業主体である国土交通省への沿線市町及び推進協議会との合同での提案活動の実施により、西九州自動車道の整備促進、令和4年度の予算確保に貢献することができました。

負担金・補助金交付団体

- ・西九州自動車道建設促進期成会負担金 72千円
- ・伊万里市西九州自動車道建設促進期成会補助金 160千円
- ・西九州自動車道伊万里道路建設促進協議会補助金 100千円
- ・山代町西九州自動車道建設促進協議会補助金 100千円
- ・東山代町西九州自動車道建設促進協議会補助金 100千円



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路維持費
事務事業名	02	道路管理事業（単独）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策		17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
115,752	108,365	16,192	27,400		64,773	7,387	P. 262	

【令和3年度における事務事業の概要】

身近な生活道路である市道について、歩行者や車両が安全に利用できるよう、市内全域の側溝整備、舗装、路肩等の維持補修工事や街路樹等の維持管理を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

側溝や舗装など道路施設の維持補修や街路樹管理などを行うことにより、道路の機能維持や歩行者及び車両の通行における安全性を確保することができました。

（千円）

工 種	事業費	事業内容
側溝整備	14,209	32路線、L=372m（改修含む）
一般補修	8,298	36路線、n=36箇所（側溝補修、路肩補修等）
法面対策	18,903	10路線、A=237m <sup>2</sup>
舗装補修	22,892	29路線、A=3,669m <sup>2</sup>
局部改良	1,631	3路線、L=25m
道路照明灯修繕	9,491	1路線、n=17基
小計	75,424	
委託料	16,527	33件（街路樹管理業務、草刈業務、用地測量業務）
使用料及び賃借料	215	市道補修用モーターグレーダー借上料
原材料費	9,999	生コン、側溝、アスファルト合材等
用地購入費	66	1件
物件移転補償費	1,732	4件（電柱等）
事務費	4,402	消耗品費、光熱水費、修繕料、通信運搬費
小計	32,941	
合計	108,365	

【令和3年度における市道に関する要望・通報件数状況】

	件数	採択件数	採択率
要望書	208件	73件	35.1%
通報（電話、来庁等）	481件	370件	76.9%
LINE通報	49件	45件	91.8%
合計	738件	488件	66.1%

不用額は、令和4年度への繰越明許費4,950千円を含みます。



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路維持費
事務事業名	04	道路管理事業(社会資本整備総合交付金)(繰越明許)		6つのまちづくり		04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策		17	道路・交通体系の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 264	
15,750	15,750	7,500	8,200		50	0		

【令和3年度における事務事業の概要】

道路防災・付属物点検結果に基づき、老朽化した法面の補修工事を行い、適切な市道の維持管理に努めました。

【令和3年度における事務事業の成果】

市道みどりヶ丘1号線の法面補修工事を行い、歩行者や車両の通行における安全性の確保を図ることができました。

(千円)

路 線 名	事業費	事 業 内 容
市道みどりヶ丘1号線	15,002	法面補修工事 L=42m モルタル吹付工 A=532㎡ 鉄筋挿入工 L=502.9m
事 務 費	748	消耗品費、通信運搬費、使用料及び賃借料
合 計	15,750	

市道みどりヶ丘1号線法面補修工事 (伊万里市大坪町みどりヶ丘地内)



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路新設改良費
事務事業名	02	市道改良事業（単独）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
8,000	7,966				7,966	34	P. 264	

【令和3年度における事務事業の概要】

地域に密着した生活道路の整備を進めるために、市単独事業により集落内の道路3路線の改良工事を実施しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

道路拡幅の改良工事を行うことで、利便性の向上や安全性の確保が図ることができました。

(千円)

路 線 名	事業費	事 業 内 容
市道東田代9号線	2,163	道路改良工事 L=26.0m（法面工128㎡、U字溝22.3m）
市道戸石川4号線	3,023	道路改良工事 L=78.5m（盛土工254㎡、路盤工139㎡）
市道提川～笠椎線	2,780	道路改良工事 L=19.0m（水路工φ500 8.1m、As舗装62㎡）
合 計	7,966	

市道東田代9号線局部改良工事（大川町東田代地内）



市道戸石川4号線局部改良工事（大川町戸石川地内）



市道提川～笠椎線局部改良工事（松浦町岳坂地内）



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路新設改良費
事務事業名	03	市道改良事業（道整備交付金）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策	17	道路・交通体系の整備		
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 264	
21,294	21,294	10,500	10,300		494	0		

【令和3年度における事務事業の概要】

道整備交付金を活用し、市道重橋～中山線の改良工事を実施しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

道路拡幅の改良工事を行い、供用に向けて事業の進捗を図ることができました。

(千円)

路 線 名	事業費	事 業 内 容
市道重橋～中山線	21,005	道路舗装工事 L=267m（舗装工 A=1,481m <sup>2</sup> ）
事 務 費	289	消耗品費、燃料費、通信運搬費、使用料及び賃借料
合 計	21,294	

市道重橋～中山線道路舗装工事（波多津町中山地内）



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路新設改良費
事務事業名	04	市道改良事業（道整備交付金）（繰越明許）	6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり			
担当部課	建設農林水産部 道路河川課		施策	17	道路・交通体系の整備			
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
41,048	41,043	20,386	18,500		2,157	5	P. 266	

【令和3年度における事務事業の概要】

道整備交付金を活用し、市道重橋～中山線の改良工事を実施しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

道路拡幅の改良工事を行い、供用に向けて事業の進捗を図ることができました。

(千円)

路 線 名	事業費	事 業 内 容
市道重橋～中山線	36,459	道路改良工事 L=410m（側溝工327m、擁壁工78m、法面工619㎡）
	3,684	用地測量設計業務委託
	629	用地購入費（12件）
事 務 費	271	消耗品費、燃料費、通信運搬費、使用料及び賃借料
合 計	41,043	

市道重橋～中山線道路改良工事（波多津町中山地内）



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	04	交通安全施設整備費
事務事業名	02	交通安全施設整備事業（単独）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策		17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
15,570	10,082				10,082	5,488	P. 268	

【令和3年度における事務事業の概要】

道路利用者の安全を確保するため、ガードレール等の防護柵設置や路面標示の区画線設置及び反射鏡等の交通安全施設を整備しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

交通安全施設の整備を行うことにより、歩行者及び車両の通行における安全性を確保することができました。

(千円)

工 種	事業費	事 業 内 容
防 護 柵 設 置	6,809	11路線 L=499.5m
区 画 線 設 置	2,512	25路線 L=2,948.9m
反 射 鏡 設 置 等	761	
合 計	10,082	

市単独交通安全施設設置（Ⅱ種）工事

市道浪瀬峠～桃川線 防護柵設置

市道上伊万里～松島線 外側線及び中央線設置



※不用額は、令和4年度への繰越明許費5,449千円を含みます。

款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	04	交通安全施設整備費
事務事業名	03	交通安全施設整備事業（社会資本整備総合交付金）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策		17	道路・交通体系の整備	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
55,752	17,952	9,737	7,900		315	37,800	P. 268	

【令和3年度における事務事業の概要】

社会資本整備総合交付金を活用し、市道の歩道拡幅を行い、歩行者や高齢者、障がいのある人たちに配慮した道路環境を整備しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

歩道拡幅工事に伴う車道部の舗装工事等を行い、供用に向けて事業の進捗が図ることができました。

(千円)

路 線 名	事業費	事 業 内 容
市道中山～井野尾線	17,465	道路舗装工事（L=184m、A=622㎡）
	243	用地購入費（2件）
事 務 費	244	普通旅費、消耗品費、燃料費、通信運搬費、使用料及び賃借料
合 計	17,952	

市道中山～井野尾線道路改良工事（波多津町井野尾地内）



※不用額は、令和4年度への繰越明許費37,800千円です。

款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	05	橋りょう維持費
事務事業名	01	橋りょう管理事業(単独)			6つのまちづくり		04	生活の基盤づくり
担当部課		建設農林水産部 道路河川課			施策		17	道路・交通体系の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,120		1,119				1,119	1	P. 268

【令和3年度における事務事業の概要】

身近な生活道路である市道について、歩行者や車両が安全に通行できるよう、老朽化した橋りょう14橋を補修しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

補修工事を行うことにより、老朽化した橋りょうの健全度が高まり、歩行者及び車両の通行における安全性を確保することができました。

(千円)

路 線 名	事業費	事業内容
大 国 橋 外 13 橋 (市道金武～福母線外)	1,119	断面修復工事外 N=14橋
合 計	1,119	

新田浜の浦2号橋補修状況 (新天町地内)



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	05	橋りょう維持費
事務事業名	02	橋りょう管理事業(補助)			6つのまちづくり		04	生活の基盤づくり
担当部課		建設農林水産部 道路河川課			施策		17	道路・交通体系の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 268
68,084		31,100	16,725	15,100		725	36,984	

【令和3年度における事務事業の概要】

国の補助金を活用し、平成25年度に作成した伊万里市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、幸橋の補修工事を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

補修工事を行うことにより、老朽化した橋りょうの健全度が高まり、歩行者及び車両の通行における安全性を確保することができました。

(千円)

路 線 名	事業費	事 業 内 容
幸 橋 (市道平尾～脇田線)	30,410	橋りょう補修 L=62.6m 断面修復工 V=0.475m <sup>3</sup> ひび割注入工 L=617.3m 表面含浸工 A=1,138m <sup>2</sup>
事 務 費	690	普通旅費、消耗品費、燃料費、賠償責任保険料、 使用料及び賃借料
合 計	31,100	

幸橋 補修後



※不用額は、令和4年度への繰越明許費36,984千円です。



款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	05	橋りょう維持費
事務事業名	03	橋りょう管理事業(補助) (繰越明許)	6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり			
担当部課		建設農林水産部 道路河川課	施 策	17	道路・交通体系の整備			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
39,472	39,469	21,539	12,000		5,930	3	P. 270	

【令和3年度における事務事業の概要】

国の補助金を活用し、平成25年度に作成した伊万里市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、幸橋の補修工事、松浦跨線橋ほか2橋の詳細設計業務委託、市道橋16橋の定期点検を実施しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

補修工事を行うことにより、老朽化した橋りょうの健全度が高まり、歩行者及び車両の通行における安全性を確保することができました。

また、定期点検を行い、橋りょうの現状における健全性を把握することができました。

(千円)

路 線 名	事業費	事 業 内 容
委 託 料	26,376	詳細設計(松浦跨線橋、楠久跨線橋、第二佐代川橋) 定期点検(立花跨線橋ほか15橋)
幸 橋 (市道平尾～脇田線)	10,406	橋りょう補修 L=62.6m 断面修復工 V=0.475m <sup>3</sup> ひび割注入工 L=617.3m 表面含浸工 A=1,138m <sup>2</sup>
負 担 金	2,388	定期点検、詳細設計に伴うJR九州への負担金
事 務 費	299	普通旅費、消耗品費、燃料費、通信運搬費、 使用料及び賃借料
合 計	39,469	



款	08	土木費	項	03	河川費	目	03	河川改良費
事務事業名	01	河川局部改修事業				6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策		22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
10,971	8,714		8,700		14	2,257	P. 274	

【主要な事務事業の概要】

治水安全度の低い普通河川宮ノ本川、普通河川野入川の河道拡幅及び護岸の整備を行い、河川の流下能力を増加させました。

【令和3年度における事務事業の成果】

普通河川宮ノ本川、普通河川野入川の河道拡幅及び護岸の整備により、周辺の宅地や農地の洪水被害の危険度が低減し、地域住民の安心安全な生活を確保することができました。

(事業内容)

河 川 名 普通河川宮ノ本川 両岸 (松浦町宿分地内)

工事内容 L=28.6m 護岸工(L型水路)

着工前



成 工



河 川 名 普通河川野入川 右岸 (東山代町浦川内地内)

工事内容 L=37.3m 護岸工(コンクリートブロック積)

着工前



成 工



不用額は、令和4年度への繰越明許費2,256千円を含みます。

款	08 土木費	項	03 河川費	目	03 河川改良費	
事務事業名	02 楠久津地区浸水対策事業 (繰越明許)	6つの まちづくり		05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課	施 策		22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳			不用額 (千円)	決算書
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
278,500	106,800		106,800		0	171,700
						P. 274

【主要な事務事業の概要】

浸水被害軽減を目的とした楠久津排水機場の整備に必要な機械設備工事、電気設備工事、土木工事を実施しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

機械設備工事で排水ポンプ製作を実施し、楠久津排水機場整備を推進することができました。

(千円)

費 目	事業費	事業内容
工事請負費	106,750	機械設備工事、電気設備工事、土木工事
事務費	50	消耗品費、使用料及び賃借料
合 計	106,800	

機械設備工事 工場立会検査



不用額は、令和4年度への事故繰越費171,700千円です。

款	08	土木費	項	04	港湾費	目	01	港湾管理費
事務事業名	02	港湾整備促進事業				6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課		総合政策部 伊万里湾総合開発課				施 策	16	港湾の活用
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
35,000		35,000		33,500		1,500	0	P. 274

【令和3年度における事務事業の概要】

伊万里港沿岸の海岸堤防は整備後40年が経過し、老朽化等により機能低下や機能不足が生じていることから、佐賀県が実施する海岸保全施設の補修等を行う事業に対し、その経費の一部を負担しました。

あわせて港湾物流ネットワークの強靱化のため、伊万里港の久原北地区と久原南地区を結ぶ楠久1号橋りょうの耐震補強（落橋防止装置設置）工事及び航行船舶の安全を確保するため、久原南泊地の土砂堆積箇所の浚渫について、いずれも県が行う事業の経費の一部を負担しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

護岸・樋門補修の実施及び橋りょうの耐震補強（落橋防止装置設置）工事により、伊万里港沿岸の海岸保全施設の機能が回復され防災機能の向上に貢献することができました。

また、久原南泊地の浚渫については、全体の約3割が進捗しました。



款 08	土木費	項 04	港湾費	目 02	港湾振興費	
事務事業名	01	伊万里港ポートセールス推進事業	6つのまちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課	総合政策部 伊万里湾総合開発課		施策	16	港湾の活用	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳			不用額 (千円)	決算書
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
6,068	4,833			3,700	1,133	1,235

【令和3年度における事務事業の概要】

平成9年度に伊万里港国際コンテナターミナル（黒川町七ツ島地区）が供用開始されたことに伴い、平成11年8月に佐賀県、伊万里市、民間物流業者、関係団体により設立された「佐賀県伊万里港振興会」を推進母体として、官民一体で国内外の荷主や船社に対し、集荷と航路誘致の両面から伊万里港のポートセールスを行いました。

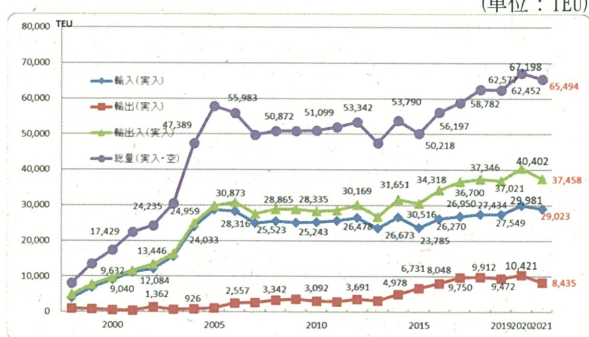
【令和3年度における事務事業の成果】

佐賀県及び市内民間企業と連携して、国際物流総合展への出展をはじめとした国内のポートセールスを行うとともに、伊万里港からコンテナを輸出する荷主に対する助成に取組み、コンテナ貨物の集荷活動に努めました。

その結果、伊万里港の令和3年のコンテナ貨物取扱量は、古紙価格の高騰により実入の輸出貨物が8,435TEUとなり、輸入貨物の29,023TEUと合わせ、合計で37,458TEUとなり、前年比2,944TEU減少（▲7.3%）したものの、過去2番目の高水準で推移しています。

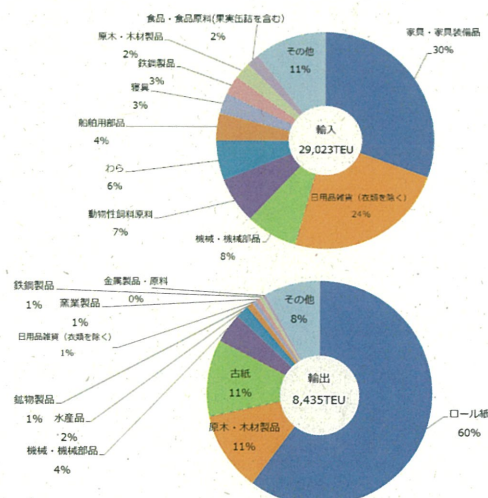
※TEU・・・20フィート（コンテナの長さ）換算のコンテナ取扱個数の単位

伊万里港コンテナ貨物取扱量  
(単位：TEU)



令和3年品目別コンテナ貨物取扱量

順位	輸 出	TEU	輸 入	TEU
1	ロール紙	5,076	家具・家具設備品	8,844
2	原木・木材製品	963	日用品雑貨(衣類を除く)	6,949
3	古紙	936	機械・機械部品	2,238
4	繊維・繊維部品	361	動物性飼料原料	2,006
5	水産品	159	わら	1,718
6	鉱物製品	79	船舶用部品	1,172
7	日用品雑貨(衣類を除く)	52	寝具	867
8	窯業製品	50	鉄鋼製品	825
9	鉄鋼製品	45	原木・木材製品	728
10	金属製品・原料	42	食品・食品原料(果菜缶詰を含む)	561
	その他	672	その他	3,095
	計	8,435	計	29,023



年	実 入			前年比 増減本数	前年比 増減率(%)	月平均	実入・空 総 計
	輸 入	輸 出	計				
2017	26,950	9,750	36,700	2,382	6.9	3,058	58,782
2018	27,434	9,912	37,346	646	1.8	3,112	62,577
2019	27,549	9,472	37,021	△325	△0.9	3,085	62,452
2020	29,981	10,421	40,402	3,381	9.1	3,367	67,198
2021	29,023	8,435	37,458	△2,944	△7.3	3,122	65,494

※財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

款	08	土木費	項	05	都市計画費	目	02	公園事業費
事務事業名	01	都市公園管理事業			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課			施 策	19	都市空間の形成		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 278	
27,217	26,734			17,135	9,599	483		

【令和3年度における事務事業の概要】

市内の都市公園38か所のうち36か所の都市公園と公園緑地5か所について、定期的な巡回や遊具の点検、草刈、樹木管理を行うなど、適正な管理に努めました。

【令和3年度における事務事業の成果】

適正な維持管理を行うことにより、利用者に安心安全な休憩やレクリエーション、緑と触れ合う場を提供することができました。

決算額内訳

費 目	事業費	事業内容
需用費	8,744千円	消耗品費・燃料費・光熱水費・修繕料・飼料費
役務費	319千円	通信運搬費・手数料・自動車損害賠償責任保険料
委託料	16,822千円	公園管理業務・樹木管理業務・清掃業務
使用料・賃借料	691千円	土地借上料・下水道使用料
原材料費	69千円	生コン、真砂土等
備品購入費	72千円	草刈機 1機
公課費	17千円	自動車重量税 2台
計	26,734千円	

業者委託

樹木管理 14公園 伊万里ファミリーパーク

地元委託

トイレ清掃 9公園  
公園清掃 2公園  
トイレ、公園清掃 2公園  
草刈 1公園

シルバー人材センター

除草、トイレ、公園清掃 23公園



財源内訳の「その他」のうち16,800千円は、ふるさと応援基金繰入金

款	08	土木費	項	06	住宅費	目	01	住宅管理費
事務事業名	02	市営住宅管理事業				6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり
担当部課	建設農林水産部 都市政策課			施策		20	住宅施策の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
56,297	56,165			24,040	32,125	132	P. 280	

【令和3年度における事務事業の概要】

住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で住宅を賃貸し、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的に市営住宅を9団地に708戸設置しています。

市営住宅の入居申し込み受付や入居及び退去の手続き、住宅使用料の算定、住宅使用料等の納付書発送及び収納処理、滞納者への窓口相談や納付指導を行う等、公営住宅法に基づき、管理・維持・運営を行っています。

また、現入居者や新たな入居者に安全で安心な住宅を提供するため、施設管理業務の委託と住宅内の経年劣化等による破損個所の修繕や器具等の取替工事を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

修繕を246件、施設管理業務委託を6件、器具取替等工事を14件行い、市営住宅入居者の安全と安心を確保することができました。

決算額内訳

費 目	事業費	事業内容
需用費 修繕料	10,826千円	市営住宅(9団地)修繕 246件
需用費 (その他)	1,276千円	市営住宅の管理運営に要する経費 消耗品費、印刷製本費、光熱水費(浄化槽電気代)
役務費	1,163千円	市営住宅の管理運営に要する経費 通信運搬費、手数料(コンビニ収納等)、 賠償責保険料(火災共済)
委託料	8,976千円	貯水槽清掃業務委託 汚水処理施設管理業務委託 樹木管理等業務委託 市営住宅管理人業務委託外2件
使用料及び賃借料	60千円	建築工事標準単価表使用料
工事請負費	6,586千円	大久保市営住宅倉庫屋根補強工事 立花・大坪市営住宅水道メーター取替工事 楠久第2市営住宅火災警報器取替工事 久原市営住宅解体工事外10件
原材料費	10千円	住宅補修資材
負担金、補助及び交付金	20千円	市営住宅駐車場等管理組合補助金
計	28,917千円	

決算額は、総務課人件費等27,248千円を含みます。

款	08	土木費	項	06	住宅費	目	01	住宅管理費
事務事業名	03	空家等管理促進事業 (社会資本整備総合交付金)			6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課			施 策		20	住宅施策の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
732	562	250			312	170	P. 282	

【令和3年度における事務事業の概要】

平成26年11月に空家等対策の推進に関する特別措置法が制定され、市では、平成29年3月に条例を改正、平成29年12月に伊万里市空家等対策計画を策定し、空家等の適正な管理に関して必要な事項を定め、倒壊等の事故、犯罪及び火災の未然防止並びに生活環境の保全を図り、市民の安全で安心な暮らしの実現のために事業に取り組んでいます。

市内に点在する空き家の状況把握に努め、老朽化が進み危険な空き家については、所有者等に対し、適正な管理の指導や解体依頼を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

市が把握している空き家の現況確認を行い、老朽化に応じた区分分けの作業を行うとともに、老朽化が進み危険な空家等の所有者等に対しては、適宜、空家等の適正管理の依頼及び指導を行い、周辺住民の良好な生活環境と安全を確保することができました。

令和3年度末の空き家戸数 1,539戸  
 空き家の適正管理の依頼及び指導 延べ51件

決算額内訳

費 目	事 業 費	事 業 内 容
報酬 委員報酬	37千円	空家等対策協議会委員報酬 7名分
旅費 費用弁償	2千円	空家等対策協議会委員旅費 7名分
需用費 消耗品費	11千円	空き家所有者への通知用消耗品(用紙代)
役務費 通信運搬費	12千円	空き家所有者等への通知及び他市戸籍請求(郵便料)
負担金、補助及び交付金 補助金	500千円	特定空家等除却事業費補助金
計	562千円	

過去の実績

区 分	H29	H30	R元	R2	R3
依頼及び 指導件数	延べ11件	延べ10件	延べ46件	延べ40件	延べ51件
除却補助件数	2件	0件	2件	0件	1件



款	08	土木費	項	06	住宅費	目	02	住宅建設費
事務事業名	01	市営住宅改修事業（社会資本整備総合交付金）			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 施設営繕課			施 策		20	住宅施策の推進	
予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財 源 内 訳				不用額 （千円）	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
38,054	37,920	18,590	18,800		530	134	P. 284	

【令和3年度における事務事業の概要】

伊万里市公営住宅等長寿命化計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用しながら老朽化が進んだ市営住宅を改修し、市営住宅の長寿命化を図りました。

【令和3年度における事務事業の成果】

大久保市営住宅と立岩市営住宅の改修を行うことにより、建物の長寿命化を図るとともに居住環境の改善と安全性の向上を図ることができました。

また、立花市営住宅と大久保市営住宅の改修工事に向けた実施設計を行うことができました。

市営住宅	事業費	事業内容
大久保市営住宅	22,849千円	内部改修工事（12戸） 断熱パネル設置，浴槽及び風呂釜取替え
	3,255千円	排水管及びガス管改修実施設計 建物内外及び埋設部の排水管とガス管を更新するための設計
立岩市営住宅	8,660千円	ガス管改修工事（2棟） 建物内外及び埋設部のガス管の更新
立花市営住宅	2,925千円	排水管改修実施設計 建物内外及び埋設部の排水管を更新するための設計
その他	231千円	公用車に係る費用
合計	37,920千円	



大久保市営住宅



立岩市営住宅

款	08	土木費	項	06	住宅費	目	02	住宅建設費
事務事業名	02	一般住宅耐震改修等促進事業			6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり	
担当部課	建設農林水産部 都市政策課			施策		20	住宅施策の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,034	1,034	774			260	0	P. 284	

【令和3年度における事務事業の概要】

平成17年11月に建築物の耐震改修の促進に関する法律が一部改正されたことにより、平成19年3月に佐賀県耐震改修促進計画が策定され、また、平成25年5月に同法律が一部改正されたことにより、平成30年3月に伊万里市耐震改修促進計画を策定しました。

これに基づき、住宅の耐震化等を推進することを目的として、建築基準法の旧耐震基準(昭和56年5月31日)以前に建てられた木造一戸建て住宅の耐震性を確認する耐震診断を実施するための登録建築士を派遣しました。また、既存耐震不適格建築物である一戸建て住宅等に対する耐震改修工事や避難道路沿いに存する地震等で倒壊の危険性があるブロック塀等の撤去を実施するための耐震改修事業費について、住宅・建築物の所有者に直接的な補助を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

木造一戸建ての耐震診断派遣事業として、2件の診断を実施しました。また、耐震診断で住宅の耐震補強が必要と診断された家屋1件に対して、耐震改修費用の補助を行いました。さらに、避難道路沿いに存するブロック塀2件に対して、撤去費用の補助を行い、住民の安全と安心を確保することができました。

決算額内訳

費 目	事 業 費	事 業 内 容
委託料	170千円	木造住宅耐震診断派遣事業業務委託料 耐震診断 2件(図面なし1件、図面あり1件)
負担金、補助 及び交付金	864千円	耐震改修事業費補助金 耐震改修費用補助 1件 756,000円 ブロック塀等撤去補助 2件 108,000円
計	1,034千円	

過去の実績

区 分	H29	H30	R元	R2
耐震診断 補助	10件	8件	1件	3件
耐震改修 費用補助	1件	0件	0件	0件
ブロック塀等 撤去補助	0件	0件	0件	1件

款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費
事務事業名	01	伊万里・有田消防組合運営負担金			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		総務部 消防調整課			施策	22		防災体制の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
918,535		918,535				918,535	0	P. 284

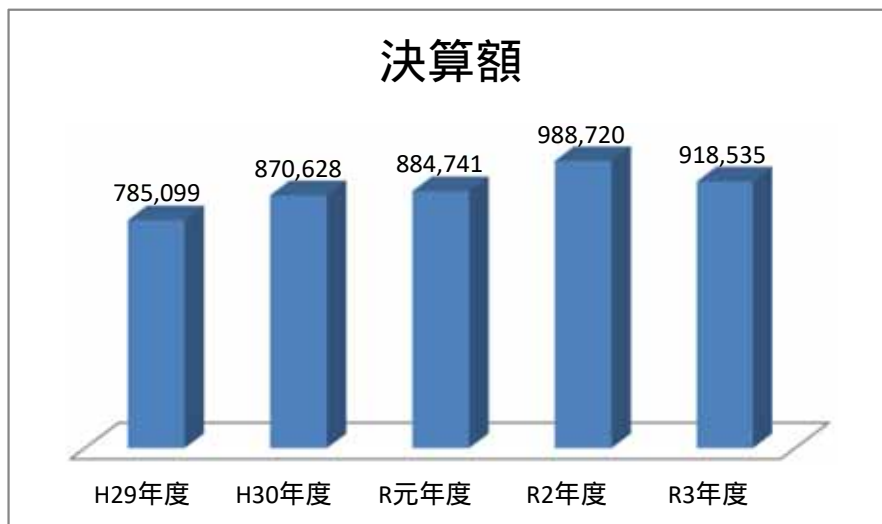
【令和3年度における事務事業の概要】

伊万里市及び有田町で構成される伊万里・有田消防組合の運営に関する費用を両市町の負担割合に基づき負担しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

伊万里・有田消防組合の運営に要する費用を負担し、市民の安全・安心の確保に貢献することができました。

単位：千円



款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費
事務事業名	02	佐賀県防災航空隊運営負担金			6つのまちづくり		05	住みよい環境づくり
担当部課		総務部 消防調整課			施策		22	防災体制の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
3,736		3,669				3,669	67	P. 286

【令和3年度における事務事業の概要】

佐賀県防災航空隊に係る市町負担金を県内20市町の負担割合に基づき負担しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

佐賀県防災航空隊に係る市町負担金を負担し、市民の安全・安心の確保に貢献することができました。



佐賀県消防防災ヘリ「かちどき」

款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費
事務事業名	03	伊万里・有田消防組合運営負担金（繰越明許）			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	総務部 消防調整課			施策		22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
50,169	50,169	50,040			129	0	P. 286	

【令和3年度における事務事業の概要】

伊万里消防署の新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、改修工事にかかる費用を負担しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

感染症対策工事を行うことで消防職員の感染及び感染拡大を防ぎ、火災・救急・救助の業務継続が可能となり、市民の安全・安心の確保に貢献することができました。

< 個室化した伊万里消防署仮眠室 >

【改修前】



【改修後】



款	09	消防費	項	01	消防費	目	02	非常備消防費
事務事業名	01	消防団運営事業			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		総務部 消防調整課			施策	22		防災体制の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
79,687	77,903	50,889			21,652	5,362	1,784	P. 286

【令和3年度における事務事業の概要】

大規模複雑化、多様化する災害に対応する非常備消防組織としての役割を果たす消防団が市民に安全・安心を提供するため、活動に必要な装備の整備及び福利厚生の実施を図り、消防団の円滑な活動・運営の環境づくりを行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

消防団の装備品として、消防用ホース143本及び雨衣71着を整備し、円滑な現場活動及び団員の安全な活動を確保することができました。また、消防団員の福利厚生のため、消防団員報酬及び出勤報償金の個人支給を行うとともに、消防団員退職報償金掛金、佐賀県市町総合事務組合消防補償事務負担金及び消防団員福祉共済制度加入補助金を支出し、福利厚生を充実させることができました。

・消防団員報酬	12,034,610円
・出勤報償金（うち災害出勤延べ527人）	2,694,000円
・消防用ホース等	4,542,835円
・消防団員退職報償金掛金	17,817,600円
・佐賀県市町総合事務組合消防補償事務負担金	3,091,120円
・消防団員福祉共済制度加入補助金	909,000円
・消防団運営交付金等	6,001,000円
・その他	30,813,107円
合計	77,903,272円

決算額は総務課人件費等1,944千円を含みます。



消防団の装備品として消防ホース143本、雨衣71着を整備

款	09	消防費	項	01	消防費	目	02	非常備消防費
事務事業名	02	消防団車両管理事業			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		総務部 消防調整課			施策	22		防災体制の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
8,049	7,927			7,700		227	122	P. 288

【令和3年度における事務事業の概要】

消防団活動を充実させるため、老朽化している小型動力ポンプ付積載車を年次計画に沿って更新しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

小型動力ポンプ付積載車1台を更新し、消防団の災害に対する活動を強化することができました。



小型動力ポンプ付積載車 山代分団第4部

款	09	消防費	項	01	消防費	目	02	非常備消防費
事務事業名	03	消防団施設整備支援事業			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	総務部 消防調整課				施策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 288	
142	142				142	0		

【令和3年度における事務事業の概要】

消防団施設の整備、強化促進を図るため、行政区が所有する小型動力ポンプ積載車格納庫の補修に要する経費に対して補助金を交付しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

行政区が所有する消防団施設の補修に要する経費を補助したことにより、消防団施設を整備・強化することができました。

小型動力ポンプ積載車格納庫補修費補助  
 ・二里町作井手区（二里分団第3部） 142,000円

過去5年間の補助事業の件数

		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
件数		2件	1件	2件	3件	1件
内 訳	新設	0件	0件	1件	0件	0件
	補修	2件	1件	1件	3件	1件



款	09	消防費	項	01	消防費	目	03	消防施設費
事務事業名	01	消防用設備管理事業			6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	総務部 消防調整課				施策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳					不用額 (千円)	決算書
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
10,835	7,988				7,988	2,847	P. 288	

【令和3年度における事務事業の概要】

消防用設備の整備、強化促進を図るため、老朽化した防火水槽、消火栓の改修を行いました。また、行政区が所有する防火水槽の補修費に対して補助金を交付しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

防火水槽、消火栓の改修を行うと共に、行政区が所有する防火水槽の補修に要する経費を補助したことにより消防用設備を整備・強化することができました。

消火栓等工事負担金	7,089,500円
防火水槽補修費補助 (大川町戸石川区、南波多町水留区、南波多町笠椎区)	855,000円
その他(消防水利維持管理用原材料等)	43,784円

合計 7,988,284円

過去5年間の補助事業の件数

		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
件数		1件	2件	5件	1件	3件
内 訳	新設	0件	0件	0件	0件	0件
	補修	1件	2件	5件	1件	3件

款	09	消防費	項	01	消防費	目	05	災害対策費
事務事業名	02	防災活動事業				6つのまちづくり	05	住みよい環境づくり
担当部課	総務部 防災危機管理課				施策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
7,790	7,442	5,940			1,502	348	P. 288	

【令和3年度における事務事業の概要】

伊万里市地域防災計画に基づき、国や県など関係機関との連携を図り、防災体制の充実に取り組みました。

【令和3年度における事務事業の成果】

自然災害の対策については、災害対策基本法の一部を改正する法律を踏まえた伊万里市地域防災計画の修正を行いました。これに伴い、避難情報の判断・伝達マニュアルを改定しました。

また、指定避難所に備蓄している資機材を使って、小学生を対象とした避難所体験を実施するなど防災に関する啓発に努めました。

原子力災害の対策については、「伊万里市原子力災害避難計画」を改定し、平成30年度に作成した「伊万里市原子力防災のてびき」の改訂版を令和4年3月に全戸配布しました。

また、佐賀県原子力防災訓練において、太良町への避難訓練等を実施し、関係機関の相互連携の強化と住民の防災意識の啓発に努めました。

その他、障がいや病気により、緊急時に速やかに配布を受けることが困難な方などに対し、安定ヨウ素剤の事前配布を行いました。



・市の災害について説明する様子（大坪小）



・備蓄品を使った避難所体験の様子（大坪小）



・原子力防災訓練の一般住民避難訓練の様子



・安定ヨウ素剤服用の説明などをする様子

款	09	消防費	項	01	消防費	目	05	災害対策費
事務事業名	03	防災行政無線施設管理事業			6つのまちづくり	05		住みよい環境づくり
担当部課		総務部 防災危機管理課			施策	22		防災体制の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
16,626	15,927	15,927				0	699	P. 290

【令和3年度における事務事業の概要】

災害時や緊急時に市民へ情報を迅速に伝達する防災行政無線施設の維持管理を行いました。

【市役所親局】



操作卓

【屋外拡声子局】



J-ALERT  
(全国瞬時警報システム)



【令和3年度における事務事業の成果】

防災行政無線の適切な維持管理をはじめ、関係するシステム等の適切な運用を行い、防災体制の充実に努めることができました。

1. 委託料  
保守点検業務委託、戸別受信機設置業務委託
2. 電気料  
181局の電気料(中継局 1局、再送信局 2局、屋外拡声子局 178局)
3. ASP利用料  
防災行政無線やJアラートと防災ネットあんあん、緊急速報メール、市ホームページ、ケーブルテレビ、電話・FAX配信サービス、職員・駐在員連絡メールシステムを連携するための利用料
4. IP無線機利用料  
市役所と町コミュニティセンター(波多津、南波多、大川、松浦)及び滝野小学校間の停電時における連絡用無線機の回線利用料
5. 防災ネットあんあん利用料  
佐賀県が運用する防災ネットあんあんの県内市町が負担する利用料
6. 防災行政無線(固定局)電波利用料  
親局 1局、中継局 1局、再送信局 2局、可搬型親局 1局 の電波利用料
7. 簡易無線局電波利用料  
市役所と町(地区)コミュニティセンター(伊万里、牧島、大坪、立花、大川内、黒川、二里、東山代、山代)間の停電時における連絡用無線機の電波利用料

款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費
事務事業名	03	いじめ・教育相談事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課			施 策	07	学校教育の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 296	
3,620	3,567	991			2,576	53		

【令和3年度における事務事業の概要】

平成27年3月の伊万里市いじめの防止等に関する条例制定に伴い、いじめ防止対策を実効的に行うための専門機関として、市に伊万里市いじめ問題対策委員会を、全学校にいじめ対策委員会を設置しています。

教育相談の専門的な知識や経験を有するスクールカウンセラー3名を拠点校に配置し、全小学校で巡回相談を行っており、不登校やいじめなど子どもや保護者が抱える悩みについての相談や診断等の適切なカウンセリングを行いました。

今年度は1日4～8時間、1か月に1～3日程度実施しました。

また、必要に応じ、いじめ防止等緊急スクールカウンセラーを派遣する等の支援を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

カウンセラーの助言を受けたことで学校に登校できるようになったなど、児童や保護者などの抱える問題を改善することができました。

○拠点校：伊万里小、大坪小、南波多郷学館

・相談件数：408件

・相談人数：延べ 552人

また、些細なことでも早い段階から対応を行い、いじめに対して適切な指導をしたことで、解消に向かった事例もありました。

さらに、市いじめ問題対策委員会では、実際にあったいじめの事例を共有するなど、児童生徒が安心して生活し、健やかに成長することができる環境づくりに努めるとともに、諮問事案について審議を行いました。

【スクールカウンセラー相談件数】

年 度	相談件数
平成29年度	869件
平成30年度	456件
令和元年度	459件
令和2年度	458件
令和3年度	408件

款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費
事務事業名	10	教科書購入事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課			施 策		07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 298	
18,950	18,419			18,400	19	531		

【令和3年度における事務事業の概要】

令和3年度は、中学校の教科書の全面改訂に伴い、教師用教科書及び指導書を購入するとともに、小学校の国語・算数・社会・理科の4教科、中学校の国語・数学・社会・理科のデジタル教科書を購入しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

学習指導要領に基づく教科書・指導書の採択及び教師用教科書・指導書の購入により、学習指導の充実を図ることができました。

また、デジタル教科書を主要教科で整備し、児童生徒の学習への興味や関心を高め、多くの資料や情報を素早く提供できるようになったことで、その学力向上を図るとともに、電子黒板を効果的に活用することができました。

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費
事務事業名	12	プログラミング教育推進事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 学校教育課			施策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
3,000		1,086			1,000	86	1,914	P. 298

【令和3年度における事務事業の概要】

市内小学生を対象にしたプログラミングコンテスト及び中学生・高校生向けの無料プログラミングスクール「伊万里プログラミングスクール」を開催しました。  
 なお、中学生を対象にしたプログラミングワークショップ等については、新型コロナウイルス感染症対策のため、実施を中止しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

市在住の中学生・高校生を対象に「伊万里プログラミングスクール」を開催しました。WEBプログラミングコースとスマホアプリプログラミングコースの二つのコースで、それぞれ各8回開催しました。  
 WEBプログラミングコースでは、延べ41人の参加者が基礎知識を身につけていろいろなWEBサイトを作成しました。  
 スマホアプリプログラミングコースでは、延べ46人の参加者がスマホアプリの作成までの流れを学び、実際にアプリの開発に取り組みました。

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費	
事務事業名	17	公立幼稚園運営交付金事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課		教育委員会 教育総務課			施策	07		学校教育の推進	
予算現額 (千円)	105	決算額 (千円)	104	財 源 内 訳				不用額 (千円)	1
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
							104		P. 300

【令和3年度における事務事業の概要】

公立幼稚園長の裁量による特色ある幼児教育を推進するとともに、幼稚園で発生する様々な課題に迅速に対応するため、黒川幼稚園に対し、交付金を交付しました。

・基礎配分額 100,000円

・比例配分額 4,000円

(令和3年4月1日現在の園児数13人 × 240円 = 3,120円。千円未満の端数は切り上げる。)

【令和3年度における事務事業の成果】

交付金を活用し、子どもや地域の特徴に応じた幼児教育を推進することができ、幼児の豊かな心の醸成と健康な体を育成することができました。

- ・リズム遊び 8回
- ・お話どんぐりのコンサート 1回
- ・卒園小学生との交流会 1回
- ・老人会との交流会 1回
- ・クリスマス会交流 1回
- ・家読の推進等

(ライチダンス教室)



(リズム遊び)



(老人会との交流)



(卒園小学生との交流会)



款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費
事務事業名	18	学びの保障対策事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課			施 策	07	学校教育の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
18,522	18,522	18,000		500	22	0	P. 300	

【令和3年度における事務事業の概要】

1人1台端末及びオンライン授業の導入初年度の初期対応として、令和3年6月からICT支援員を5名配置し、教職員のICT活用支援を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

ICT活用支援やICT機器のトラブル対応、教職員向けの研修等を行うことにより、授業における1人1台端末を活用したICT環境の活用推進を図ることができました。

また、コロナ禍における非常時の学びの保障として、オンライン授業の推進ができました。

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金





款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費
事務事業名	20	学校統合事業			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課			施策	07	学校教育の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 300	
2,864	2,780				2,780	84		

【令和3年度における事務事業の概要】

令和4年3月末をもって統廃合する滝野小・中学校の歴史や思い出を遺すために必要な記念誌、記念碑等の作製や、閉校記念式典を行うための費用として、学校と地元地区等で組織する閉校事業部会に対し補助金を交付しました。

また、学校備品を統合先の学校へ移動させるための引越し業務を委託しました。



【令和3年度における事務事業の成果】

令和4年4月に滝野小・中学校をそれぞれ東山代小学校と国見中学校に統合するため、学校備品の引越し作業を行いました。また、令和4年3月26日に閉校記念式典を挙行し、明治6年の学校創立から150年近く地域と共に歩んできた滝野小・中学校の長い歴史に幕を下ろしました。



款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
事務事業名	01	小学校管理事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 教育総務課			施 策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 300
143,772	140,217				2,375	137,842	3,555	

【令和3年度における事務事業の概要】

小学校14校及び義務教育学校（前期）1校において、児童の安全の確保と良好な学習環境を維持するため、日常的な施設の維持管理に要する経費と学校運営に必要な備品等の整備費用として140,217千円を支出しました。

令和3年5月1日現在

学校名	児童数	学級数	学校名	児童数	学級数	学校名	児童数	学級数
伊万里小	536	23	黒川小	119	8	二里小	242	12
牧島小	58	6	波多津小	89	8	東山代小	387	17
大坪小	522	24	南波多郷学館 (前期課程)	116	8	滝野小	9	3
立花小	581	25	大川小	114	8	山代東小	156	9
大川内小	90	8	松浦小	112	8	山代西小	40	5
合 計							3,171	172

【令和3年度における事務事業の成果】

各学校施設の適正な維持・管理をはじめ、教材備品、図書備品等の購入・充実により、児童の安心・安全の確保と、学習環境の維持に努めることができました。

決算額は、総務課人件費等20,615千円を含みます。

【主な工事】

- ・黒川小学校  
浄化槽フェンス設置工事
- ・松浦小学校  
駐車場舗装改修工事
- ・大坪小学校外  
プールろ過装置改修工事
- ・大坪小学校外  
消防用設備改修工事
- ・山代東小学校  
非常放送設備改修工事

黒川小学校浄化槽フェンス設置



児童の安全確保のため浄化槽を囲むフェンスを設置しました。

款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	01	小学校遠距離児童通学支援事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 学校教育課			施策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
31,784	30,325	5,597				24,728	1,459	P. 304

【令和3年度における事務事業の概要】

通学距離4km以上の児童及び学校統合により遠距離通学となった児童に対し、定期券などの通学費の補助を行いました。

また、黒川小学校と波多津小学校にスクールバス、南波多郷学館に通学用タクシーをそれぞれ運行しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

通学距離4km以上及び学校統合により遠距離通学となる児童22名に対して定期券・ガソリン代を補助したほか、児童105名に対してスクールバス・タクシーを運行することで、遠距離通学児童の保護者の負担軽減を図ることができました。



款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	03	小学校要保護・準要保護児童就学援助事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課			施 策		07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 304	
21,302	20,466	9			20,457	836		

【令和3年度における事務事業の概要】

経済的理由により就学困難な児童の保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行等の経費の一部を援助しました。

また、令和4年度入学者（新1年生）の保護者へ、入学前に新入学学用品費の援助を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

要保護児童1名、準要保護児童382名（うち39名は令和4年度入学者）の保護者に対し、就学に係る費用の一部を援助することで、保護者の経済的負担を軽減し、等しく教育を受けられる機会を確保することができました。

小学校就学援助率 (準要保護)	H29	H30	R元	R2	R3
割合(%)	9.83	9.68	9.93	9.70	10.79
伊万里市の就学援助 受給者数(人)	317	314	319	308	342
児童数(人)	3,224	3,244	3,214	3,176	3,171

年度末時点の人数

市外1名

新入学学用品費対象者及び市外学校除く

款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	04	小学校パソコン管理事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 学校教育課			施策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
47,986	47,401				400	47,001	585	P. 304

【令和3年度における事務事業の概要】

情報化社会に対応する能力を養うために、タブレットパソコンや電子黒板等のICT機器の整備、教職員の校務処理に必要な校務用パソコンの整備を行いました。  
令和3年度は、学校の教室で使用する電子黒板の更新を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

経年劣化した電子黒板を更新することで、学習指導要領で目標とされるICT機器を整備し、児童の学習活動の充実を図るとともに、教職員の業務負担軽減を図ることができました。

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	02	小学校費	目	03	学校建設費
事務事業名	01	東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課			施 策		07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 304	
23,823	23,823			23,823	0	0		

【令和3年度における事務事業の概要】

耐震基準を満たしていない東山代小学校と、併設する東山代児童クラブ及び老朽化が著しい東山代コミュニティセンターの3施設を複合施設として整備します。

【令和3年度における事務事業の成果】

令和3年度に、2ヶ年の継続事業として基本・実施設計業務を発注し、令和3年度は基本設計を完了いたしました。

財源内訳の「その他」は、公共施設整備基金繰入金

東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設建設スケジュール(予定)

内容 / 年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
基本構想	→					
基本・実施設計		→				
校舎建築				→		
校舎解体					→	
体育館建築						→
小学校体育館解体						→
コミュニティセンター建築				→		
留守家庭児童クラブ建築				→		
運動場整備						→
東山代体育館解体						→

款	10	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理費
事務事業名	01	中学校管理事業				6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課	教育委員会 教育総務課			施策		07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
121,986	120,677			2,021	118,656	1,309	P. 304	

【令和3年度における事務事業の概要】

中学校7校及び義務教育学校（後期）1校において、生徒の安全の確保と良好な学習環境を維持するため、日常的な施設の維持管理に要する経費と学校運営に必要な備品等の整備費用として120,677千円を支出しました。

また、学校プール施設の老朽化等で使用できない青嶺中学校及び山代中学校について、令和3年度から民間事業所への水泳指導委託を実施しました。

令和3年5月1日現在

学校名	生徒数	学級数	学校名	生徒数	学級数
伊万里中	540	22	東陵中	93	5
啓成中	284	12	国見中	308	11
青嶺中	98	5	滝野中	7	2
南波多郷学館 (後期課程)	70	5	山代中	86	5
			合 計	1,486	67

【令和3年度における事務事業の成果】

各学校施設の適正な維持・管理をはじめ、教材備品、図書備品等の購入・充実により、生徒の安心・安全の確保と、学習環境の維持に努めることができました。

また、プールの使用ができない上記2校について、プールの大規模な改修費用をかけることなく、民間プールでの水泳授業を実施することができました。

決算額は、総務課人件費等50,064千円を含みます。



【主な工事】

- ・伊万里中学校 体育館モルタル壁塗装工事  
空調機移設工事
- ・山代中学校 消防配水管漏水工事
- ・青嶺中学校 消防用設備改修工事

款	10	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理費
事務事業名	03	中学校管理事業（繰越明許）			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 教育総務課			施策	07	学校教育の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 308	
22,286	17,733	17,730			3	4,553		

**【令和3年度における事務事業の概要】**

東陵中学校及び山代中学校の屋内運動場は、新型コロナウイルス感染症対策が行われる中、3密を解消するための災害時の指定避難場所となっているが、天井断熱材の劣化から遮熱効果が失われる恐れがあることから、遮熱効果を改善させるため、天井断熱材吹付改修工事を行いました。

**【令和3年度における事務事業の成果】**

屋内運動場の天井断熱材を改修することにより、遮熱効果が改善され、利用環境の充実を図ることができました。

山代中学校屋内運動場天井断熱材吹付改修





款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	01	中学校遠距離生徒通学支援事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課			施 策		07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 308	
18,282	17,815				17,815	467		

【令和3年度における事務事業の概要】

通学距離6km以上の生徒及び学校統合により遠距離通学となった生徒に対し、定期券等の通学費の補助を行うとともに、青嶺中学校にスクールバスを運行しました。

また、自転車通学を行う要保護及び準要保護生徒に対し、ヘルメット購入に係る費用を補助しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

通学距離6km以上及び学校統合により遠距離通学となる生徒4名に対して定期券・ガソリン代を補助したほか、生徒33名に対するスクールバス・タクシーを運行することで、遠距離通学生徒の保護者の負担軽減を図ることができました。

また、自転車通学を行う要保護及び準用保護生徒14名に対し、ヘルメット購入に係る費用の補助を行い、通学に係る費用の負担軽減を図ることができました。



款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	03	中学校要保護・準要保護生徒就学援助事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課			施 策		07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 308	
22,693	19,619	166			19,453	3,074		

【令和3年度における事務事業の概要】

経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行等の経費の一部を援助しました。

また、令和3年度入学者（新1年生）の保護者へ、入学前に新入学学用品費の援助を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

要保護生徒8名、準要保護生徒266名（うち55名は令和4年度入学者）の保護者に対し、就学に係る費用の一部を援助することで、保護者の経済的負担を軽減し、等しく教育を受けられる機会を確保することができました。

中学校就学援助率 (準要保護)	H29	H30	R元	R2	R3
割合(%)	14.27	14.19	14.58	13.28	14.00
伊万里市の就学援助 受給者数(人)	217	203	209	192	208
生徒数(人)	1,521	1,431	1,433	1,446	1,486

年度末時点の人数

市外3名

新入学学用品費対象者及び市外学校除く

款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
事務事業名	04	中学校パソコン管理事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 学校教育課			施策	07	学校教育の推進		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 308	
27,111	26,113			100	26,013	998		

【令和3年度における事務事業の概要】

情報化社会に対応する能力を養うために、タブレットパソコンや電子黒板等のICT機器の整備、教職員の校務処理に必要な校務用パソコンの整備を行いました。  
令和3年度は、学校の教室で使用する電子黒板、校務用サーバーの更新を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

経年劣化した電子黒板・サーバーを更新することで、学習指導要領で目標とされるICT機器を整備し、生徒の学習活動の充実を図るとともに、教職員の業務負担軽減を図ることができました。

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	03	中学校費	目	03	学校建設費
事務事業名	01	中学校建設事業				6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課	教育委員会 教育総務課			施策		07	学校教育の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 310	
726,747	726,745	221,643	436,700	17,202	51,200	2		

【令和3年度における事務事業の概要】

伊万里中学校の耐震化に伴う校舎の全面的な改築工事を令和元年度から4ヶ年の継続事業として実施しています。

《工事概要》

- ・主体構造 鉄筋コンクリート造 4階建て
- ・校舎面積 6,798㎡
- ・工事期間 令和元年9月～令和4年11月  
第一期工事 管理・普通教室棟  
第二期工事 特別教室棟（体育館床改修、連絡橋含む。）

工事名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新校舎南側工区				
既存3棟舎解体				
新校舎北側工区				
既存1・2棟舎解体				

【令和3年度における事務事業の成果】

校舎改築工事において、令和3年度は進捗率36%を達成し、特別教室棟の約75%を完成することができました。

※不用額は、令和4年度への継続費通次繰越2千円を含みます。

※財源内訳の「その他」は、公共施設整備基金繰入金



(全体進捗率81%)

工 事 年度割	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	9%	36%	36%	19%

款	10	教育費	項	04	幼稚園費	目	01	幼稚園費
事務事業名	01	公立幼稚園管理運営事業	6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり			
担当部課	教育委員会 教育総務課		施 策	07	学校教育の推進			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
25,656	24,615			562	24,053	1,041	P. 310	

【令和3年度における事務事業の概要】

黒川幼稚園では、集団生活や自然体験等を取り入れるなど、幼児が身近な人たちとの関わりを深め、愛情や信頼感を育むための教育を進めるとともに、放課後や長期休業中の預かり保育事業、入園児副食費助成を実施するなど、保護者の子育て支援に努めました。

【令和3年度における事務事業の成果】

黒川幼稚園で15名の園児に幼稚園教育を実施し、幼稚園の運営・維持管理の経費として、24,615千円を支出し、幼児教育の推進と子育て支援に努めることができました。

・令和3年度黒川幼稚園園児数

年齢	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
人数	2	1	7	5	15

- ・平常保育 月曜日から金曜日 9時から14時
  - ・預かり保育 月曜日から金曜日 平日 14時から17時  
長期休業 9時から17時
  - ・預かり保育料 平日 1回400円、長期休業 1回500円
  - ・預かり保育事業の利用者 12名
  - ・入園児副食費助成金対象者 8名
- 決算額は、総務課人件費等22,642千円を含みます。

(保育の様子)



款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	02	カブトガニ保護促進事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策	12		文化財の保護
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,476	1,476				1,400	76	0	P. 312

【令和3年度における事務事業の概要】

カブトガニの保護活動を充実させるため、その活動の拠点施設である「伊万里湾カブトガニの館」を運営する『牧島のカブトガニとホテルを育てる会』に対し、施設運営費の補助金として1,444千円を支出しました。

ほかに、カブトガニ研究調査業務委託として『佐賀県立伊万里高等学校理化・生物部』に対し16千円を、伊万里市カブトガニを守る会補助金として『伊万里市カブトガニを守る会』に対し16千円を支出しました。



伊万里湾カブトガニの館

【令和3年度における事務事業の成果】

令和3年度の伊万里湾カブトガニの館の入館者数は3,803名でした。コロナ禍の令和2年度を除く平成29年度から令和元年度（3年間）までの平均入館者数3,740名を超える入館者数となり、コロナ禍前の水準に戻りつつあると思われます。また、新たな情報発信として令和3年3月末から始めた、インターネットによる水槽飼育カブトガニのライブ配信も引き続き行いました。

台風や大雨、コロナ禍により3年間開催できなかった「カブトガニの産卵を観る会」を開催し約130名の参加者がありました。また、カブトガニ増殖のために館や伊万里高校、牧島小学校で約1年間飼育した幼生を放流しました。

カブトガニ産卵つがい数は、ここ数年600～700つがいの間を推移していましたが、令和3年度は通常の2倍以上で過去最高の1,512つがいを確認しました。増加の理由は不明ですが、今までの海岸清掃活動や幼生の飼育放流などの保護活動成果の可能性も推察されます。

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



「産卵を観る会」の状況



「幼生放流」の状況

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	03	文化財保護総務事業				6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課	教育委員会 生涯学習課			施 策		12	文化財の保護	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
958	610				610	348	P. 312	

【令和3年度における事務事業の概要】

文化財保護事業に関する各種事業を実施しており、令和3年度は特に、腰岳黒曜石シンポジウムを開催しました。

腰岳は九州随一の黒曜石原産地として知られており、先史時代には石器の材料として、九州を中心として西日本、琉球列島、朝鮮半島南部まで運ばれました。

平成26年以降、「腰岳黒曜石原産地研究グループ」が地質、岩石、考古学的な調査を行い、黒曜石の生成過程や人類活動の具体的な様相が明らかにされつつあります。

その調査成果を広く市民に公表するとともに、誇れる郷土の文化財として見直し、今後の保護活動や保護理解を進めるためシンポジウムを開催しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

令和3年10月9日～10日の2日間にわたって「日本列島のなかの腰岳黒曜石原産地」をテーマに、記念講演や基調報告、オンラインによるシンポジウム、石器づくりの実演を行いました。

発表内容としては地質、岩石、考古学的な最新の調査を基に、東アジア全体における腰岳黒曜石の範囲分布に関する講演や腰岳黒曜石の生成過程、国内の黒曜石原産地状況、消費地での腰岳黒曜石の状況などの基調報告があり、多角的な視野から腰岳黒曜石の新たな特徴を提示することができました。

2日間で図書館ホールの参加者は延101名、オンライン配信の参加者は延135名、計236名でした。

また、腰岳の黒曜石原産地に関する一般向けの啓発用パンフレットをシンポジウム参加者及び小・中学校、関係者等に配付しました。

さらに、腰岳黒曜石シンポジウム開催に合わせて10月5日から11月21日まで、歴史民俗資料館で腰岳の黒曜石に関する展示を行い、期間中（42日間）256名の来場者がありました。

今回のシンポジウムでは、市民の方々に『見慣れた腰岳』についての新たな歴史的価値を伝えると共に、腰岳黒曜石原産地の保護事業についての理解や、周知を図ることができました。

【シンポジウムの状況】



(会場の様子)



(パネラー)

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	05	市美術展開催事業				6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課	教育委員会 生涯学習課			施 策		10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
60	60				60	0	P. 314	

【令和3年度における事務事業の概要】

市民や市内クラブに所属している人等から創作意欲に溢れる作品を公募し、絵画、書、写真・工芸の部門別に「伊万里市美術展」を開催しました。

- 主催：市美術展実行委員会（絵画2人、書5人、写真1人、工芸3人、計11人で組織）  
市教育委員会
- 会場：市民図書館

【令和3年度における事務事業の成果】

例年市民センター文化ギャラリーで開催していましたが、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種会場となっていたため、市民図書館に場所を変えて開催しました。感染対策のため作品の解説や席書会は取りやめましたが、作品発表の場を提供するとともに、市民に美術鑑賞の機会を提供し、市民参加型の文化芸術の振興を図ることができました。

○部門ごとの開催期日、出品数

- ・前期（10/13～10/17）：写真・工芸 出品数 写真 45点・工芸 41点
  - ・中期（10/20～10/24）：絵画 出品数 52点
  - ・後期（10/27～10/31）：書 出品数 245点（一般49点、学生196点）
- ※会場の都合により出品点数や規格を変更した。

○出品者数：314人

○入場者数：延べ約1,071人

年度別部門別出品点数

部門	絵画	書（一般）	書（学生）	写真	工芸	計	出品者数
H29	60	70	220	72	37	459	354
H30	57	65	251	65	42	480	377
R元	47	66	250	70	46	479	379
R2	-	-	-	-	-	-	-
R3	52	49	196	45	41	383	314

※R2年度は中止

年度別入場者数

年度	H29	H30	R元	R2	R3
人数	1,244	1,333	1,481	-	1,071

※R2年度は中止



款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	09	同和教育集会所管理運営事業			6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 生涯学習課				施 策	11	人権教育と啓発の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 316	
2,530	2,475	542			1,933	55		

【令和3年度における事務事業の概要】

同和問題解決の拠点施設である同和教育集会所の管理運営を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しながら人権啓発交流事業「粘土教室」を実施するなど、市民への同和教育の推進・向上に努めることができました。

	施設利用者数
平成29年度	710
平成30年度	806
令和元年度	784
令和2年度	636
令和3年度	635



同和問題研修



粘土教室受講者の作品

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	11	社会人権・同和教育団体支援事業			6つのまちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策		11	人権教育と啓発の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,440	1,440	480				960	0	P. 316

【令和3年度における事務事業の概要】

同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の早期解決を図るため、「市人権・同和教育推進協議会」と協働し、地域に密着した教育・啓発を実施しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

各種研修講座を開催し、市民の人権意識の向上に努めることができました。  
特に、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮した新たなスタイルの住民啓発として、職員出演・制作によるオリジナル人権啓発動画「じんけんかわらばん」をYouTubeで配信したことで、これまでの課題であった若い世代への啓発を促進することができました。

事業名	実施回数	参加者数
指導者育成講座	2	85
地区巡回講座	21	452
PTA等研修講座	9	624
企業・事業所研修講座	14	980
住民啓発事業	46	1,152
啓発動画じんけんかわらばん	4	4,475
計	96	7,768

動画視聴回数



PTA研修



啓発動画の撮影の様子

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	12	市民音楽祭開催事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
100		100				100	0	P. 316

【令和3年度における事務事業の概要】

市内を中心に活動する団体が、合唱、吹奏楽やバイオリン、箏、ハーモニカなど多彩な演奏や歌を披露する「市民音楽祭」を開催しました。

- 主催：市民音楽祭実行委員会（歌・合唱団体3人、器楽・重奏団体3人、計6人で組織）  
市教育委員会
- 会場：市民センター 文化ホール

【令和3年度における事務事業の成果】

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止しましたが、令和3年度は、無観客や時間短縮など様々な感染対策を行い、開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、日頃の練習の成果を発表する場がなくなる中、「市民音楽祭」を開催できたことは、地域における芸術文化の継続や活動団体のモチベーションの維持につながったと考えます。

- 期日：12月5日（日）
- 出演団体：13団体
- 出演者数：154人
- 感染対策
  - ・過去に出演実績がある団体のみ
  - ・一般観客は入場不可
  - ・出演団体は午前、午後の2部入替制
  - ・演奏時間の短縮
  - ・出演時のマスク着用（歌のみ）
  - ・伊万里讃歌の全員合唱は省略
  - ・出演者の健康チェック、距離の確保、場内の換気等

年度別出演団体・出演者数

	出演団体	出演者数
H29	19	270
H30	20	280
R元	23	343
R2	-	-
R3	13	154

※R2年度は中止



令和3年度の開催の様子

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
事務事業名	18	史跡大川内鍋島窯跡学術調査事業	6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり			
担当部課	教育委員会 生涯学習課		施策	12	文化財の保護			
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,033	1,031	631		300	100	2	P. 318	

【令和3年度における事務事業の概要】

大川内山にある史跡大川内鍋島窯跡の将来的な保存・整備・活用を図り、地域活性化に資するため、平成26年度から国県の補助金を活用し遺構の範囲や性格、歴史の変遷を確認する発掘調査を実施しています。

発掘調査対象として、史跡内にある日峯社下窯跡について、窯跡及び物原の基礎データを確認する調査を行っています。

令和3年度は、昨年に引き続き今までの発掘調査成果をまとめる整理作業を行いました。

また、今までの発掘調査によって明らかになった窯跡の構造や出土遺物の新たな知見を発表するとともに、鍋島焼の始まりや変遷、国内の鍋島焼の出土例などの研究発表を通じて「鍋島焼の特質」を明らかにする鍋島焼調査研究発表会を開催しました。



(出土遺物 接合作業風景)

【令和3年度における事務事業の成果】

主に平成29～令和元年度調査分の整理作業として接合、注記する遺物の選別、注記を行いました。今回の整理作業により、鍋島焼を廃棄する際に意図的に破壊し広範囲に散布していることがわかりました。これらの成果は今後の史跡整備の基礎資料として活用します。

鍋島焼調査研究発表会を令和4年2月12日、13日の2日間にわたって開催しました。「江戸時代に佐賀藩が特別詔えした鍋島焼の特質」をテーマに、近世陶磁研究会との共同主催によりオンライン方法で行い、2日間でオンラインでの参加者は延128名、オンライン放映会場での参加者は延28名、計156名の参加でした。オンライン配信であったことから11名の海外研究者の参加がありました。

上記の発表に合わせて、2月11日から4月10日までの51日間、歴史民俗資料館で、日峯社下窯跡調査成果と出土遺物の展示を行い、期間中248名の来場者がありました。

また、参加者と来場者に一般向けの小冊子を配付しました。

今回の発表会により、多くの方々に鍋島焼の歴史的価値を伝えると共に、史跡大川内鍋島窯跡の保護事業について理解や周知することができました。

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

【オンライン配信状況】



款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	02	青少年育成費
事務事業名	01	青少年相談事業				6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課	教育委員会 生涯学習課			施 策		09	青少年の健全育成の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,896	1,887				1,887	9	P. 320	

【令和3年度における事務事業の概要】

青少年相談室を設置し、青少年や保護者等からの悩み事の相談に対応しました。

- 相談業務委託先：青少年なやみ相談つくしの会（教職経験者等7人）
- 開設日時：土・日・祝日、年末年始休日を除く、月曜日から金曜日の9:00～17:00

【令和3年度における事務事業の成果】

青少年や保護者等が抱える悩みに対して、相談者が気軽に来所または電話により相談できる体制・環境を整え、青少年センターの相談機能を充実させることができました。

- 年間相談件数：111件
- 青少年相談室案内カードの配付  
小学4年生から中学3年生までの全児童、生徒

年度別相談件数

年 度	H29	H30	R元	R2	R3
件 数	155	100	46	153	111

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	02	青少年育成費
事務事業名	02	青少年育成市民会議支援事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策	09		青少年の健全育成の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
400		400				400	0	P. 320

**【令和3年度における事務事業の概要】**

市民が一丸となって次代を担う青少年の健全育成を図るために組織された「伊万里市青少年育成市民会議」に対して、事業費補助を行うとともに、非行防止パトロール等の実施、青少年育成関係団体の組織強化・活動支援を行いました。

**【令和3年度における事務事業の成果】**

○「伊万里市青少年育成市民会議」の事業

令和3年度も昨年同様、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、「伊万里サマーキャンプ」は中止となりましたが、前年度に引き続き、各町青少年育成町民会議や関係団体の取組に対する支援を行い、地域の青少年育成活動を促進することができました。

また、非行防止活動については、全国強調月間にあわせ広報誌や市ホームページに掲載し啓発するとともに、定期巡回パトロールや地域環境点検等を実施し、青少年の健全育成に努めました。

- ・各町民会議交付金……………281千円
- ・青少年団体連絡協議会交付金…120千円
- ・加盟団体等事業費支援費……………70千円
- ・子ども話し方大会後援（市子ども会連合会主催）

○「伊万里市青少年団体連絡協議会」の事業

令和3年度も昨年同様、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、「チャレンジキャンプ」や「LOVE伊万里・21世紀のつどい スタミナ焼肉オリエンテーリング」は中止しましたが、キャンプの代替事業として『チャレンジ「Day」キャンプ』を都川内森林公園において実施しました。

市内の小学生11名が参加し、テント設営や火起こし、野外炊飯等を体験しました。



令和3年度に開催した『チャレンジ「Day」キャンプ』の様子

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	02	青少年育成費
事務事業名	03	放課後子ども教室開催事業			6つのまちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策		09	青少年の健全育成の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
369	314	208				106	55	P. 320

【令和3年度における事務事業の概要】

地域住民等の協力・参画を得ながら、文化・芸術の分野ではミニ門松づくりや書き方教室のほか茶道教室など、スポーツの分野では陸上教室やバスケットボール教室など、様々な学習や体験、交流の機会を提供する「放課後子ども教室」を開催しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

子どもたちの社会性、自主性、創造性を育むとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、子どもたちが安心して過ごせる環境（居場所）づくりを推進することができました。

○実施教室数等

6コミュニティセンター6教室

○実施内容

- ・伊万里地区      お菓子作り、ミニ門松作り、茶道体験、親子料理教室
- ・牧島地区      陸上教室、ミニ門松作り
- ・大坪地区      親子で手づくり教室、チェス教室、留守家庭児童クラブ交流会
- ・立花地区      リズムダンス、書き方教室、茶道教室、鬼火たき
- ・大川内町      茶道教室
- ・山代町      バスケットボール教室、料理教室、体験教室

○参加子ども人数

延べ1,284人



リズムダンス（立花）



茶道教室（立花）

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	02	青少年育成費	
事務事業名	04	地域学校協働活動推進事業			6つのまちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策		09	青少年の健全育成の推進	
予算現額 (千円)	380	決算額 (千円)	65	財 源 内 訳				不用額 (千円)	315
				国・県支出金	42	地方債		その他	
								一般財源	23
									P. 320

【令和3年度における事務事業の概要】

地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに「学校を核とした地域づくり」を目指し、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う「地域学校協働活動」を円滑に進めるため、「地域学校協働活動推進員」を全小学校区に配置しました。

地域学校協働活動推進員  
15名（小学校毎に1名）

地域学校協働活動推進員協議会  
R3.9.16開催

【令和3年度における事務事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、行事が中止になるなど、地域と学校をつなぐ活動が難しいところもありましたが、活動ができた小学校区では、学校と地域が相互に連携・協働し、「地域学校協働活動」を円滑に進めることができ、「学校を核とした地域づくり」を推進することができました。

活動実施小学校区数  
5小学校区（南波多郷学館、大川小学校、松浦小学校、滝野小学校、山代東小学校）

活動内容及び活動実績

小学校区	活動時間	活動実績
南波多郷学館	17.5時間	川柳教室、総合学習（特産品や浮立等の見学・発表）、手芸・将棋教室、リズムダンス、パソコン教室、スポーツクラブ、話し方大会指導、交通教室
大川小学校	1時間	JR筑肥線（肥前長野駅、大川野駅、駒鳴駅）、大川亀公園の清掃活動
松浦小学校	1時間	JR筑肥線（桃川駅、金石原駅）、桃川親水公園の清掃活動
滝野小学校	10.5時間	黒米稲作体験（田植え、稲刈り）、黒米郷土料理教室、ふれあい花苗植え、滝野校の歴史学習、「いのびか」イルミネーション制作
山代東小学校	35時間	周辺企業の職業講話、みまもりサポーターの募集及び勧誘活動



款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	図書館費
事務事業名	01	図書館管理運営事業				6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課	教育委員会 市民図書館			施 策		08	生涯学習の推進	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳					不用額 (千円)	決算書 P. 322
105,965	104,674	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	1,291		
				138	104,536			

【令和3年度における事務事業の概要】

施設の維持管理等に27,425千円を支出しました。そのうち、第五次図書館システム・機器更新等業務図書館システム等保守点検業務委託料に2,309千円、同システム賃貸借料に4,912千円を支出しました。

また、事業3年目となる西九州させば広域都市圏連携事業では、域内の7つの公共図書館を巡回して、互いの図書館資料を運搬する配本事業と、図書館職員スキルアップ事業の負担金として、74千円を支出しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

令和3年7月に開館26周年を迎えましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民と一緒に誕生日をお祝いする「図書館（ほし）まつり」は2年連続で中止となりました。そこで、まつり実行委員会の有志と協議して、「天の川としょかん」と命名した展示会場をホールに準備して、星に関する本の展示を行い、幅広い世代の方々に見てもらいました。

施設利用については、感染対策が緩和され、徐々に利用できるようになったことから、展示コーナー等の利用日数は190日間、図書館が主催した行事の参加者数は1,290人、市民が主体となって行った会議や研修会などの参加者数は3,550人と回復傾向が見られました。

決算額は、総務課人件費等77,249千円を含みます。



開館日（7月7日）の七夕にちなみ「天の川としょかん」を開設。星に関する777冊の本をホールに展示。



東京オリンピックの開催に合わせて、本を使ってオリンピック競技を体験。

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	図書館費
事務事業名	02	図書館資料収集事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 市民図書館			施策	08		生涯学習の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
15,000		14,996			14,900	96	4	P. 322

【令和3年度における事務事業の概要】

令和3年度は図書館資料として、新たに本館用図書を5,791冊、自動車図書館ぶっくん用を857冊、雑誌1,560冊と視聴覚資料94点、新聞7紙を購入し、14,050千円を支出しました。さらに、データベース5件と契約して使用料946千円を支出し、合計で14,996千円を支出しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

令和3年度における市民図書館の利用状況は、個人登録者数46,093人、団体登録1,292団体、利用人数73,649人、貸出点数360,789点となり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも利用人数や貸出点数は前年度よりやや増加しました。また、調査相談（レファレンス）は、7,623件、予約受付件数は12,239件でした。加えて、コロナ対策における非接触型のサービスとして、インターネットによる予約を積極的に案内することで、年間9,180件の申込を受け付け、前年度から352件増加するとともに、予約全体の75%を占め、感染対策にもつながりました。

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



職員で選書会議を行い、毎週100冊前後の図書を購入し、新刊書の本棚に陳列した。

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	図書館費
事務事業名	03	ブックスタート事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 市民図書館			施 策	08		生涯学習の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
270	143				143	0	127	P. 324

【令和3年度における事務事業の概要】

ブックスタート事業は、毎月3か月児健診の際、当事業の趣旨を保護者に説明した上で、4冊の絵本の中から1冊を選んでもらい、その絵本を手渡しています。併せて、赤ちゃんと保護者にボランティアや図書館職員が読み語りを行って、絵本を介したコミュニケーションを保護者に勧めるものです。

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に3か月児健診が集団検診から個別健診に変更となったため、ブックスタートを実施せず、絵本の受け渡しのみ行いました。

令和3年度から、他の利用者がいない館内整理休館日を活用して、市民図書館のホールでブックスタートを再開し、感染対策を講じながら月に1回実施しました。

この絵本の購入経費等として143千円を支出しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

令和3年度は市民図書館のホールを会場として9回開催し、103人の赤ちゃんに読み語りを実施しました。また、都合が合わなかった方には別の日に来館してもらい、119人の赤ちゃんにそれぞれ絵本1冊とアドバイスブックを渡しました。

絵本を手渡すことで、保護者が赤ちゃんとのコミュニケーションを持つきっかけを作り、家族で読書や絵本に親しむ環境整備を支援することができました。

ふるさと納税を活用したガバメントクラウドファンディングを令和3年2月から実施し、3ヶ月間で128万円の寄附がありました。

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金（ガバメントクラウドファンディング）



図書館ホールで再開したブックスタート。  
感染対策のため、距離を開けて絵本を読む。

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	図書館費
事務事業名	04	家読推進事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 市民図書館			施 策	08		生涯学習の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
272	162					162	110	P. 324

【令和3年度における事務事業の概要】

令和3年度は、福音館書店で長く絵本の編集に携わっている山形昌也氏を招いてうちどく推進講演会を行いました。参加者は絵本作りの苦労話や作家との交流を聴くことで、さらに絵本に関心を持ってもらいました。講師謝礼と旅費及び諸経費を含め、合計67千円を支出しました。

また、第6回「伊万里市民図書館・学校図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、コンクール開催に係る諸経費95千円を支出しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

新型コロナウイルス感染症対策のため、うちどく推進講演会を図書館のホールから立花コミュニティセンターの講堂へ会場を変更して開催し、読み語りボランティアなど30人の参加がありました。受講したボランティアからは、その後の読み語りで「科学絵本」を取り上げることが増えたとの報告がありました。

また、図書館を使った調べる学習コンクールでは、市内の小学校から70点の応募があり、入賞作品（14点、14人）を表彰するとともに、高学年の部から最優秀賞と優秀賞の2点を全国コンクールへ推薦しました。その2点とも佳作に入賞しました。



うちどく推進講演会  
(講師：山形昌也氏)



図書館を使った調べる学習コンクール表彰式

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	歴史民俗資料館費
事務事業名	01	歴史民俗資料館管理運営事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策	12		文化財の保護
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,278	1,232				1,209	23	46	P. 324

【令和3年度における事務事業の概要】

歴史民俗資料館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、伊万里市の歴史や文化、自然を紹介する常設展と企画展を行いました。

- ・常設展タッチコーナーの休止にかわるドジョウの通年生体展示
- ・8月1日～8月31日「伊万里のいきもの」展
- ・10月5日～11月21日「腰岳黒曜石」のコーナー展示
- ・2月11日～4月10日「日峯社窯跡の成果と初期鍋島」のコーナー展示
- ・出前講座や見学講座
- ・吉野ヶ里歴史公園に資料の貸し出し



【令和3年度における事務事業の成果】

コロナ禍の中、令和3年度の入館者数は1,962人を数え、伊万里市民を中心に郷土に対する理解を深めることができました。

財源内訳の「その他」のうち1,200千円は、ふるさと応援基金繰入金



見学講座の様子

款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	歴史民俗資料館費
事務事業名	02	陶器商家資料館管理運営事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策	12		文化財の保護
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,296	1,273				1,200	73	23	P. 324

【令和3年度における事務事業の概要】

陶器商家資料館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、市重要文化財の旧犬塚家住宅である建物の公開と併せて「古伊万里」などの古陶磁器や商家に関する文書や調度品などの展示を行いました。



【令和3年度における事務事業の成果】

コロナ禍の中、令和3年度の入館者数は1,687人を数え、市内外からの来訪者へ、本市のやきもの文化や商人文化に関する理解を深め、市街地観光に貢献しました。

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	歴史民俗資料館費
事務事業名	03	鍋島ギャラリー管理運営事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 生涯学習課			施策	12		文化財の保護
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,660		1,638			1,573	65	22	P. 326

【令和3年度における事務事業の概要】

伊万里・鍋島ギャラリーでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、市内外からの来訪者へ、鍋島焼や古伊万里の歴史、伝統文化に対する理解を深めてもらうとともに観光にも活用するため、所蔵する優品の常設企画展を開催しました。

- 「鍋島焼 将軍への献上磁器展」 2月6日～5月30日
- 「すがすがしい藍鍋島 鍋島染付の世界展」 6月12日～11月7日
- 「徳永水滴コレクションと鍋島焼、古伊万里名品展」 11月13日～1月10日
- 「鍋島焼十傑と輸出古伊万里の美」 2月5日～5月29日

上記4常設企画展で市所蔵の鍋島焼や古伊万里など延べ159件371点を展示

このほかに、大川内山の秋の窯元市に協賛して、伊万里・有田焼伝統産業会館においても本市が所蔵する古陶磁器を広く一般に展示公開しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

コロナ禍の中、令和3年度の入館者数は1,148人を数え、市内外からの来訪者へ鍋島焼や古伊万里の歴史、伝統文化に対する理解を深めてもらうとともに、市街地観光に貢献しました。

財源内訳の「その他」のうち1,400千円は、ふるさと応援基金繰入金



款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	01	保健体育総務事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 スポーツ課			施策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
3,597		3,045				3,045	552	P. 326

【令和3年度における事務事業の概要】

スポーツ基本法に基づき市内各町・地区にスポーツ推進委員を配置するとともに、各町でのニュースポーツ講習会を支援する体力増進指導員を配置し、市民の更なるスポーツへの関心や参加意欲の高揚を図りました。

また、東京2020オリンピック開催に向け、市内においても聖火リレーを行い、市内の機運醸成を図りました。

【令和3年度における事務事業の成果】

スポーツ推進委員

各町3名ずつ計39名に委嘱しているスポーツ推進委員に対して、毎月の研修会を行うなど各種スポーツの見識を深め、指導技術を向上させることができました。

東京2020オリンピック聖火リレー

5月9日に東京2020オリンピック聖火リレーを行い、国見台公園から伊万里市民センターまで10人の走者が聖火をつなぎました。

伊万里市スポーツ推進審議会

関係団体の代表者や学識経験者により組織される「伊万里市スポーツ推進審議会」において、令和3年度事業報告や令和4年度社会体育についての計画、予算等について審議しました。





款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務	
事務事業名	02	ニュースポーツ大会開催事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課		教育委員会 スポーツ課			施策	10		文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	76	決算額 (千円)	67	財 源 内 訳				不用額 (千円)	9
				国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
							67		P. 328

【令和3年度における事務事業の概要】

市民が気軽にスポーツを楽しみ、心身の健康を維持する機会を創出するため、ニュースポーツ大会を開催しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる大会があったものの、市民がスポーツの楽しさを味わいながら仲間意識を醸成し、健康を維持する生涯スポーツを推進することができました。

大会名	参加チーム数	参加者数
第24回市民グラウンド・ゴルフ大会	47チーム	391人
第15回市民ソフトバレーボール大会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
第34回市長杯争奪市民ゲートボール大会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
伊万里スポーツデイ（第11回市民ペタンク大会） （第3回市民アジャタ大会） （第25回伊万里っ子・キッズスポーツフェスティバル）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
伊万里スプリングスポーツデイ （第26回伊万里っ子・キッズスポーツフェスティバル）		69人



款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	03	競技スポーツ大会開催事業	6つのまちづくり		02	創造的で心豊かなひとづくり		
担当部課	教育委員会 スポーツ課			施策	10	文化芸術・スポーツの振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 328	
454	434				434	20		

【令和3年度における事務事業の概要】

競技スポーツの普及と競技力向上を図るため各競技団体と連携し、野球やソフトボールの競技スポーツ大会を開催しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる大会があったものの、各種大会の開催により、競技人口の拡大と競技力の向上を図ることができました。

大会名	参加チーム数等	優勝チーム
第49回伊万里市民軟式野球大会	13チーム	ミックス
第44回市長旗争奪高等学校野球大会	4校(春季)	有田工業高校
	3校(秋季)	伊万里高校
第57回国見台陸上競技選手権大会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
第48回市民早朝ソフトボール大会	一部 8チーム	インズパークスIP倶楽部
	二部 19チーム	楠久津
市長旗争奪第43回中学生野球大会	8校	東陵中学校
市長旗争奪第48回少年野球大会	10チーム	二里少年野球クラブ
第44回市長旗争奪 ママさんナイターバレーボール大会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	

款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	04	市内一周駅伝競走大会開催事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 スポーツ課			施策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
252		245				245	7	P. 328

【令和3年度における事務事業の概要】

各町におけるスポーツの普及、振興はもとより市内の長距離選手の発掘、育成につなげるため、市内一周駅伝競争大会を開催しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

11月28日に、市内全地区・町の参加により市内一周（全12区間60.3km）をコースとする「第68回市内一周駅伝競走大会」を開催し、競技力の向上とともに、各地区の融和と団結力の向上を図ることができました。

【令和3年度成績】

優勝：伊万里地区 準優勝：立花地区 第3位：黒川町 躍進賞：大川町



款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	05	競技スポーツ全国大会等出場支援事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 スポーツ課			施策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
2,605		2,605				2,605	0	P. 328

【令和3年度における事務事業の概要】

スポーツの全国大会等に出場する個人や団体の負担軽減を目的に、出場に要する経費の一部を助成しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

競技スポーツの全国・九州レベルの大会に出場した団体・個人（27件168人）に対し、出場に要した経費の一部を助成し、参加者の負担軽減を図るとともに、競技力の向上を図ることができました。

		助成を行った大会	開催地	対象人員
全 国 大 会	1	全農杯 2021年全日本卓球選手権大会（ホープス・カブ・バンビの部）	兵庫県神戸市	2
	2	全農杯 2021年全日本卓球選手権大会（ホープス・カブ・バンビの部）	兵庫県神戸市	2
	3	令和3年度全国高等学校総合体育大会卓球競技大会第90回全国高等学校卓球選手権大会	富山県富山市	7
	4	令和3年度全国高等学校総合体育大会卓球競技大会第90回全国高等学校卓球選手権大会	富山県富山市	8
	5	第36回全日本壮年ソフトボール大会	高知県高知市	12
	6	第43回全国レディーステニス大会	東京都昭島市	1
	7	JOCジュニアオリンピックカップ第35回全国都道府県対抗中学バレーボール大会	大阪府大阪市	1
	8	JOCジュニアオリンピックカップ第35回全国都道府県対抗中学バレーボール大会	大阪府大阪市	1
	9	2022/パラ水泳春季記録会兼マデイラ2022W P S 世界選手権日本代表選手選考会	静岡県静岡市	1
	10	国際大会日本代表選考会	東京都江東区	2
	11	全日本卓球選手権	愛知県豊田市	2
	12	第23回全国中学選抜卓球大会	愛媛県松山市	9
	13	第21回全国小学生ソフトテニス大会	千葉県白子町	3
	14	第52回日本少年野球春季全国大会	東京都大田区	1
九 州 大 会	15	第6回九州中学選抜卓球大会	熊本県熊本市	6
	16	第7回全九州少年少女空手道選手権大会	宮崎県宮崎市	2
	17	第7回全九州少年少女空手道選手権大会	宮崎県宮崎市	2
	18	第36回九州クラブユース（U-15）サッカー選手権大会	福岡県みやま市	4
	19	令和3年度全九州高等学校体育大会 秋父宮賜杯 第74回全国高等学校陸上競技対抗選手権大会北九州地区予選会	大分県大分市	8
	20	令和3年度全九州高等学校体育大会第68回全九州高等学校剣道競技大会	鹿児島県霧島市	2
	21	第34回九州学童軟式野球大会	鹿児島県日置市	25
	22	第37回日本少年野球九州大会	鹿児島県日置市	21
	23	第9回九州地区U-12サッカーフェスティバルin宮崎	宮崎県宮崎市	19
	24	第36回全九州小学生バレーボール男女優勝大会 in沖縄	沖縄県那覇市	14
	25	全九州スイミングクラブ夏季水泳競技大会	宮崎県宮崎市	1
	26	全九州スイミングクラブ夏季水泳競技大会	宮崎県宮崎市	1
	27	第39回九州中学校バレーボール選抜優勝大会	宮崎県宮崎市	11
対象人員計				168人

款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	06	ウォーキング大会開催事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 スポーツ課			施策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
300		300				300	0	P. 328

【令和3年度における事務事業の概要】

市民の健康づくりと自然豊かな伊万里を市内外にPRするため伊万里ウォークを開催しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

11月23日に「魅力あふれる夢のまち伊万里ウォーク2021」を開催したところ、市内外から過去最高となる738名の参加をいただき、市民が気軽に参加できる健康づくりの場を創出するとともに、市外の方に本市の魅力発信を行うことができました。

【コース別参加者数】

伊万里湾岸・はちがめコース（約20km）	...	170名
秘窯の里・鍋島コース（約12km）	...	345名
古伊万里コース（約6km）	...	223名
		計 738名

【地域別参加者数】

佐賀県内	...	563名
うち伊万里市内		(458名)
うち伊万里市外		(105名)
福岡県	...	37名
長崎県	...	128名
その他	...	10名
		計 738名



款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	07	スポーツ団体支援事業				6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり
担当部課	教育委員会 スポーツ課			施 策		10	文化芸術・スポーツの振興	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 328	
2,762	2,762				2,762	0		

【令和3年度における事務事業の概要】

市民へ広くスポーツの普及及び振興を図るため、各種目団体や各町スポーツ協会などへ、その活動に要する経費の一部を支援しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

スポーツ団体への支援を行ったことで、子どもから大人までスポーツに親しむ環境づくりを推進することができました。

また、市民体育祭に代わる「伊万里スポーツフェスティバル」では、市民総参加型のスポーツイベントとして、スポーツの普及と健康増進を図ることができました。

【令和3年度成績】

- 第一位 伊万里地区
- 第二位 二里町
- 第三位 大坪地区

種 目	大 会 名	種 別	開催日	会 場	第1位	第2位	第3位
グラウンド・ゴルフ	市民グラウンド・ゴルフ大会	団体戦	6月5日	国見台陸上競技場・球技場	二里町	伊万里地区 伊万里地区	
ソフトボール	県民スポーツ大会予選会	一般A	6月20日～ 7月11日	国見台球技場 伊万里湾大橋球技場	大川町	大坪地区	二里町 黒川町
		一般B			立花地区	伊万里地区	二里町 東山代町
軟式野球	県民スポーツ大会予選会	一般A	6月6日～ 7月18日	国見台野球場 東山代運動広場	山代町	大坪地区	南波多町 波多津町
		一般B			二里町	東山代町	大坪地区 大川町
ドッジビー	市子ども会連合会球技大会	男子	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
ミニバレーボール	市子ども会連合会球技大会	女子	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
ゲートボール	市長杯争奪市民ゲートボール大会	—	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
相撲	市長旗争奪青年相撲大会	団体戦	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
ベタンク	伊万里スポーツデイ(秋)	—	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
アジャタ	伊万里スポーツデイ(秋)	—	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
バレーボール	市民バレーボール大会	一般男子	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
		一般女子					
ゴルフ	市民ゴルフ大会	—	11月24日	佐世保国際カントリー倶楽部	伊万里地区	大坪地区	大川内町
陸上	市内一周駅伝競走大会	—	11月28日	浦ノ崎駅前～市内一円	伊万里地区	立花地区	黒川町
卓球	市長杯争奪各町対抗卓球大会	男・女混成団体戦	—	国見台体育館	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		

款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務事業
事務事業名	09	スポーツ合宿誘致事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 スポーツ課			施 策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,700		717			700	17	983	P. 328

【令和3年度における事務事業の概要】

市民と市外の高校生等との合同練習などによる競技力の向上を図るとともに、スポーツの振興と宿泊に伴う経済の振興を目的にスポーツ団体の合宿に対し、宿泊費の一部を助成しました。

助成要件：2泊以上の宿泊で、延べ宿泊者数が20人以上の場合

助成内容：1名あたり1,000円 / 泊（1団体上限100,000円）

令和2年度から1団体あたりの上限金額を150千円から100千円、  
1人あたりの助成額を1,500円から1,000円に減額

【令和3年度における事務事業の成果】

コロナ禍にあって合宿団体数及び述べ人数は大きく減少しましたが、高校生の陸上合宿「伊万里アスリート・アカデミー」において、10団体延べ755人を誘致し、競技力の向上及び市外の方へ伊万里の魅力発信を図ることができました。

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

	団体数	延べ人数	補助額
平成29年度	24	1,861人	2,604,000円
平成30年度	25	1,516人	2,208,000円
令和元年度	31	2,072人	3,016,500円
令和2年度	2	149人	149,000円
令和3年度	10	755人	717,000円

款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	10	ハーフマラソン大会開催事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 スポーツ課			施策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
2,000		2,000			2,000	0	0	P. 330

【令和3年度における事務事業の概要】

スポーツの振興に加え、交流人口の拡大や観光情報の発信を目的として、伊万里ハーフマラソン大会を開催しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

平成27年度から開催し8回目となる2022年大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため前年に続きオンライン大会となりましたが、全国各地から1,306人のエントリーがあり、県内外の参加者に対し、伊万里の魅力を発信することができました。

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金

伊万里ハーフマラソン2022 (IMARI HALF-MARATHON2022) 完走者集計												
種目No.	種別	エントリー	完走	完走率	完 走 賞						合計	
					A伊万里牛ハンバーグ	B深山米夢しずく	C地酒飲み比べセット	D伊万里焼マグカップ	E伊万里産いちごさん	Fオリジナルグッズセット		
1	男子 18~39歳	107	91	85.0%	29	4	10	5	24	19	91	
2	男子 40~49歳	193	151	78.2%	62	4	28	10	23	24	151	
3	男子 50~59歳	186	159	85.5%	57	8	25	9	26	34	159	
4	男子 60歳以上	60	50	83.3%	18	1	8	2	10	11	50	
5	女子 18~39歳	32	28	87.5%	7	4	3	2	9	3	28	
6	女子 40~49歳	65	52	80.0%	21	1	7	3	14	6	52	
7	女子 50~59歳	60	49	81.7%	13	4	7	6	13	6	49	
8	女子 60歳以上	27	25	92.6%	12	0	4	0	6	3	25	
	小 計	730	605	82.9%	219	26	92	37	125	106	605	
9	セルフ男子18歳以上	307	280	91.2%	96	10	50	19	54	51	280	
10	セルフ女子18歳以上	269	248	92.2%	98	6	20	12	85	27	248	
	小 計	576	528	91.7%	194	16	70	31	139	78	528	
	合 計	1,306	1,133	86.8%	413	42	162	68	264	184	1,133	
					エントリー時予定数	480	54	191	77	296	208	1,306
					差引	△ 67	△ 12	△ 29	△ 9	△ 32	△ 24	△ 173



款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	11	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進事業	6つのまちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり			
担当部課	教育委員会 国スポ・全障スポ推進課	施策	10	文化芸術・スポーツの振興				
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
2,034	2,034	1,116			918	0	P. 330	

【令和3年度における事務事業の概要】

令和6年度に佐賀県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて、開催準備を行うSAGA2024伊万里市実行委員会に対して、負担金を支出しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

令和6年度に開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けて、三重国体の会場地視察、カウントダウンボードやPRボールペンの製作など広報啓発活動等に取り組みました。

また、県との共同プロジェクト「学校訪問2024」として、市内小中学校6校を訪問し、延べ275名の参加者に大会PRを行うとともに、ミニホッケー等の体験会を実施しました。

○SAGA2024伊万里市実行委員会 令和3年度主な執行状況

総務費 55,257円（会議費：お茶代外、事務局費：切手代外）  
 開催推進費 1,916,434円（調査研究費 264,760円 三重国体会場地視察外）  
 （広報啓発費 1,342,882円 カウントダウンボード製作費外）  
 （開催準備費 308,792円 軟式野球競技会場実施設計業務）



**SAGA  
2024**  
 国スポ・全障スポ  
 新しい大会へ。  
 すべての人に、スポーツの子カラを。

款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事務事業名	12	選抜高等学校野球大会出場支援事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 スポーツ課			施策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,103		1,018				1,018	85	P. 330

【令和3年度における事務事業の概要】

第94回選抜高等学校野球大会に出場を果たした有田工業高等学校に対し、出場及び応援に要する経費の負担軽減を図るため、補助金を交付しました。

【令和3年度における事務事業の成果】

伊西地区高校野球で常に切磋琢磨し競技力の向上を図る有田工業高等学校へ補助金を交付することで、全国に焼き物など伊万里市・有田町の情報発信を行うことができました。



款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育施設費
事務事業名	01	体育施設管理運営事業			6つの まちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 スポーツ課			施 策	10		文化芸術・スポーツの振興
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
31,170		30,100			6,834	23,266	1,070	P. 330

【令和3年度における事務事業の概要】

市スポーツ施設の核となる国見台運動公園をはじめ、市内各地の体育施設の維持管理を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

南波多郷学館夜間照明の修繕や伊万里湾大橋球技場放送設備修繕などの維持補修を行い、利用者が使いやすい環境づくりに努めることができました。

【主な支出額の内訳】

- ・南波多郷学館夜間照明修繕 498 千円
- ・伊万里湾大橋球技場放送設備修繕 187 千円
- ・国見台相撲場天井塗裝修繕 212 千円
- ・国見台庭球場休憩所修繕 253 千円
- ・伊万里湾大橋球技場等管理清掃業務委託 4,576 千円
- ・国見台運動公園公用車購入 1,374 千円
- ・その他各体育施設光熱水費等 23,000 千円

南波多郷学館夜間照明設備修繕

交換前



交換後



款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育施設費
事務事業名	02	散弾銃射撃場環境調査事業	6つのまちづくり			05	住みよい環境づくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課			施策		21	生活環境の保全	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳					不用額 (千円)	決算書
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			P. 332
16,512	874			800	74	15,638		

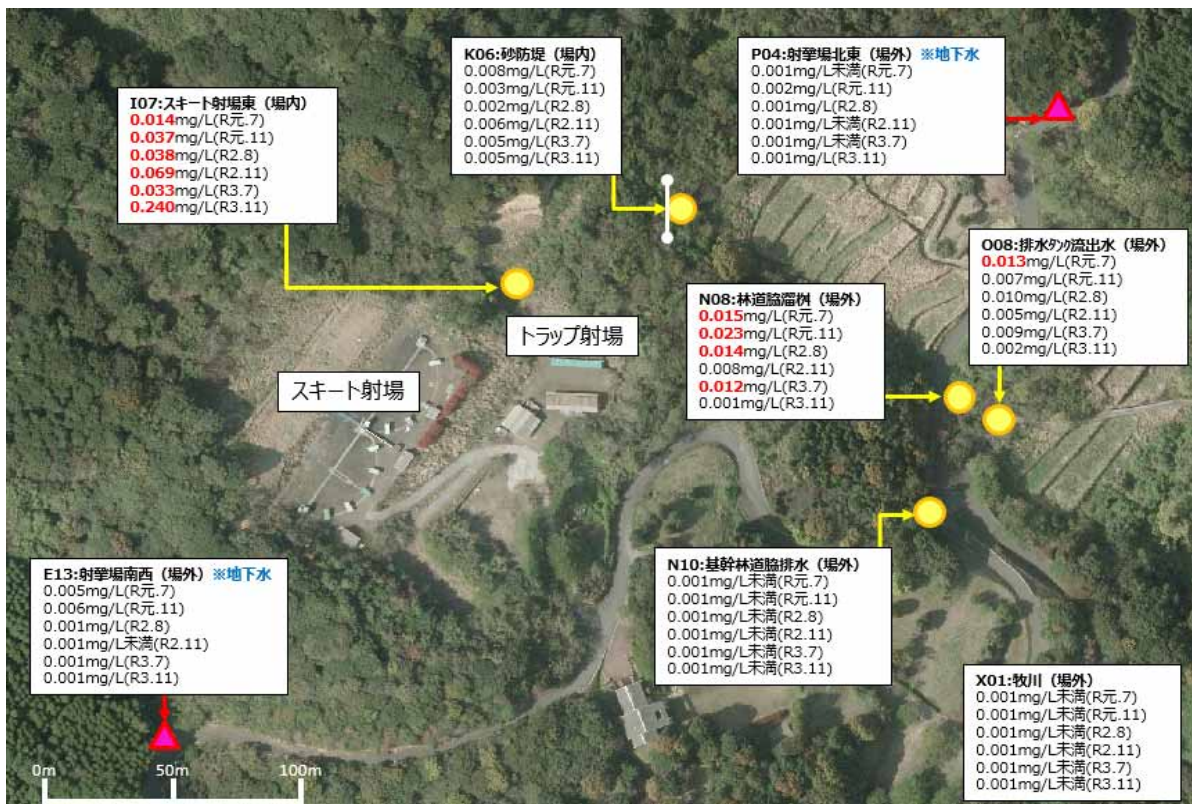
【令和3年度における事務事業の概要】

「伊万里市散弾銃射撃場環境対策検討委員会」で策定されたアクションプランに基づき、散弾銃射撃場内および場外の水質（表流水・地下水）調査を継続して行いました。また、鉛による汚染土壌の撤去に向けた実施設計業務を進めました。

【令和3年度における事務事業の成果】

5月28日に開催した第9回目の検討委員会において、射撃場で特に高濃度汚染が確認されているエリア（3,600㎡）の、第2溶出量基準を超える土壌（表層から20cm程度）を優先して撤去するよう決定したことを受け、専門コンサルタントによる実施設計業務を進めるなど、鉛問題解決に向けた取組を進めました。

財源内訳の「その他」は、ふるさと応援基金繰入金  
不用額は、令和4年度への繰越明許費15,500千円を含みます。



<環境基本法>

鉛の環境基準：0.01mg/L以下

款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育施設費
事務事業名	03	国見台体育施設改修事業 (繰越明許)			6つの まちづくり	02	創造的で心豊かなひとづくり	
担当部課	教育委員会 スポーツ課			施 策	10	文化芸術・スポーツの振興		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 332	
599,798	599,798	299,899	299,500		399	0		

【令和3年度における事務事業の概要】

令和6年度に佐賀県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向け、伊万里市における競技会場地である国見台球技場、国見台野球場及び国見台陸上競技場において、中央競技団体等の指摘事項に対応するため施設の改修工事を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

ホッケー競技の会場となる国見台球技場では、競技場全面を人工芝生とするとともに、利用者の利便性向上を図るため大型トイレのユニバーサルデザイン化を進めました。また、軟式野球競技の会場となる国見台野球場では、老朽化したラバーフェンスの全面張替えを実施するとともに、スコアボードの改修工事を実施しました。さらに、全国障害者スポーツ大会の会場となる国見台陸上競技場において、車いすでも自由にトラックとフィールドを行き来できるように、トラック縁石を固定式から取り外しが可能な着脱式に改修を行いました。



款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	給食費
事務事業名	01	学校給食センター管理運営事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 学校教育課			施策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
237,023		234,522				234,522	2,501	P. 332

**【令和3年度における事務事業の概要】**

給食を安定的に提供するため、施設や設備を適正に管理し、調理に必要な消耗品の購入や光熱水費などの経費を支出しました。

また、令和3年8月末をもってPFI契約が終了しましたので、当該契約で実施していた清掃や警備、機器の点検などの維持管理や配送業務を新たに契約し、実施しました。

**【令和3年度における事務事業の成果】**

施設の維持管理と運営を適正に行うことで、年間194回の給食を予定どおり提供することができました。（台風により市内一斉休校になった1日を除く。）

1日当たりの提供食数は、約5,250食となりました。

※決算額は、総務課人件費等18,955千円を含みます。

●佐賀県玄海地区 学校給食食材提供事業

佐賀玄海漁業協同組合が国の補助を受け標記事業に取り組み、本市にも真鯛が提供されましたので、献立に取り入れ提供しました。

**【真鯛を使用した献立】**

ごはん、真鯛のレモンマリネ、  
鶏肉とピーマンの炒め物、冬瓜の味噌汁



款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	給食費
事務事業名	02	学校給食センターPFI事業			6つのまちづくり	02		創造的で心豊かなひとづくり
担当部課		教育委員会 学校教育課			施策	07		学校教育の推進
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
80,808		80,807				80,807	1	P. 334

**【令和3年度における事務事業の概要】**

PFI方式により整備した給食センターの維持管理及び配送業務（滝野小・中学校を除く）を契約に基づき令和3年8月末まで実施しました。

9月以降は市の直接管理となりましたので、学校給食センター管理運営事業の中で新たに業務別に契約し、給食提供に支障が生じないよう管理運営しました。

**【令和3年度における事務事業の成果】**

給食センターの施設・設備を適正に管理し、契約期間内の維持管理と配送は滞りなく実施することができました。

また、夏季休業期間に集中的に施設・設備の点検を実施しました。



**【配送回収業務】**



**【維持管理業務】**  
(排水処理設備点検・清掃業務)

款	11	災害復旧費	項	01	農林水産施設災害復旧費	目	01	農業用施設災害復旧費
事務事業名	02	農業用施設災害復旧事業 (補助、現年)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
	04	農業用施設災害復旧事業 (補助、現年)(繰越明許)						
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
175,922	91,885	97,056	3,900	3,206	12,277	84,037	P. 334 P. 336	

【令和3年度における事務事業の概要】

令和2年、令和3年の豪雨により被災した農業用施設の復旧工事を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

国の農業用施設災害復旧事業で採択された2年災25件（全体31件）と3年災4件（全体31件）について復旧工事を行い、農家等の生産活動の維持と経営の安定を図ることができました。

区 分	内 容	事 業 費 (円)
工事請負費	2年災（25件）、3年災（4件）	82,544,000
委託料	測量設計業務委託	8,107,000
事務費	旅費、消耗品費、通信運搬費、使用料及び賃借料	1,234,100
計		91,885,100

補助率

- ・2年災補助率 国97.6%、市1.20%、地元1.20%
- ・3年災補助率 国97.0%、市1.50%、地元1.50%

決算額内訳

予算現額	決算額	財 源 内 訳				不用額
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
175,922	91,885	97,056	3,900	3,206	12,277	84,037

R2繰越	83,197	70,460	93,317	0	2,724	25,581	12,737
R3現年	92,725	21,425	3,739	3,900	482	13,304	71,300
		2災(元年)	4,107				( 70,664 ) 繰越
		3災(元年)	1,967				

不用額は、令和4年度への繰越明許費70,664千円を含みます。



款	11	災害復旧費	項	01	農林水産施設災害復旧費	目	02	農地災害復旧費
事務事業名	01	農地災害復旧事業 (補助、現年)	6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり			
	02	農地災害復旧事業 (補助、現年)(繰越明許)						
担当部課	建設農林水産部 農山漁村整備課			施策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
51,234	24,157	24,277	1,400	1,479	2,999	27,077	P. 336	

【令和3年度における事務事業の概要】

令和2年、令和3年の豪雨により被災した農地の復旧を図りました。

【令和3年度における事務事業の成果】

国の農地災害復旧事業で採択された2年災13件（全体20件）と3年災6件（全体23件）について復旧工事を行い、農家等の生産活動の維持と経営の安定を図ることができました。

区 分	内 容	事 業 費 (円)
工事請負費	2年災（13件）、3年災（6件）	23,905,200
事務費	消耗品費、通信運搬費、使用料及び賃借料	252,000
計		24,157,200

補助率

- ・2年災補助率 国93.4%、市3.30%、地元3.30%
- ・3年災補助率 国92.1%、市3.95%、地元3.95%

決算額内訳

予算現額	決算額	財 源 内 訳				不用額	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
51,234	24,157	24,277	1,400	1,479	2,999	27,077	
R2繰越	20,700	16,329	24,277	0	1,211	9,159	4,371
R3現年	30,534	7,828	0	1,400	268	6,160	22,706

( 22,706 ) 繰越

不用額は、令和4年度への繰越明許費20,706千円を含みます。

款	11	災害復旧費	項	02	公共土木施設災害復旧費	目	01	土木施設災害復旧費
事務事業名	01	土木施設災害復旧事業 (単独、現年)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 338	
42,805	15,798		5,800		9,998	27,007		

【主要な事務事業の概要】

令和3年5月20日～21日及び令和3年8月11日～18日の豪雨により被災した公共土木施設のうち、国庫補助の対象とならない小規模な災害について復旧工事を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

被災した公共土木施設44箇所のうち、4箇所（河川4箇所）の復旧工事を実施し、施設の機能を回復することができました。

残りの40箇所（河川21箇所、道路19箇所）は、令和4年度に繰越して復旧工事を行います。

普通河川 西尾川

着工前



成 工



普通河川 広川

着工前



成 工



不用額は、令和4年度への繰越明許費27,007千円です。

款	11	災害復旧費	項	02	公共土木施設災害復旧費	目	01	土木施設災害復旧費
事務事業名	02	急傾斜地整備事業			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課		建設農林水産部 道路河川課			施 策	22	防災体制の整備	
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
17,736	15,880	7,940	4,100	4,188	348	1,856	P. 338	

【主要な事務事業の概要】

県の急傾斜地整備事業を活用し、整備要望があった急傾斜地崩壊危険区域内の斜面崩壊防止工事を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

要望があった3地区のうち、2地区で崩壊防止工事を実施し、周辺住民の安全を確保することができました。

残りの1地区は、令和4年度へ繰越して整備を行います。

(事業内容)

- 1) 戸ノ須地区(木須町木須東) 延長 L=19.0m 重力式擁壁  
着工前 成 工



- 2) 木須東第1地区(木須町木須東) 延長 L=12.0m 吹付砕工  
着工前 成 工



不用額は、令和4年度への繰越明許費1,856千円です。

款	11	災害復旧費	項	02	公共土木施設災害復旧費	目	01	土木施設災害復旧費
事務事業名	03	土木施設災害復旧事業 (補助、現年)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 338	
71,471	20,265	12,796	10,000		2,531	51,206		

【主要な事務事業の概要】

公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法に基づき、令和3年5月20日～21日及び令和3年8月11日～18日の豪雨により被災した公共土木施設の復旧工事を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

被災した公共土木施設17箇所のうち、7箇所（河川3箇所、道路4箇所）の復旧工事を実施し、施設の機能を回復することができました。  
残りの10箇所（河川3箇所、道路7箇所）は、令和4年度に繰越して復旧工事を行います。

準用河川 白野川

着工前



成 工



市道 奥野・楠立線

着工前



成 工



不用額は、令和4年度への繰越明許費51,206千円です。

款	11	災害復旧費	項	02	公共土木施設災害復旧費	目	01	土木施設災害復旧費
事務事業名	04	土木施設災害復旧事業 (単独、現年)(繰越明許)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 340	
22,097	21,008		20,100		908	1,089		

【主要な事務事業の概要】

令和2年6月25日～28日及び令和2年7月6日～12日の豪雨により被災した公共土木施設のうち、国庫補助の対象とならない小規模な災害について復旧工事を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

令和2年度に被災した公共土木施設56箇所のうち、令和3年度に繰越した43箇所(河川21箇所、道路22箇所)の復旧工事を実施し、施設の機能を回復することができました。

普通河川 小波佐間川

着工前



成 工



市道 津留・重橋線

着工前



成 工



款	11	災害復旧費	項	02	公共土木施設災害復旧費	目	01	土木施設災害復旧費
事務事業名	05	土木施設災害復旧事業 (補助、現年)(繰越明許)			6つの まちづくり	05	住みよい環境づくり	
担当部課	建設農林水産部 道路河川課			施 策	22	防災体制の整備		
予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書	
		国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 340	
50,726	42,594	27,535	15,000		59	8,132		

【主要な事務事業の概要】

公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法に基づき、令和2年6月25日～28日及び令和2年7月6日～12日の豪雨により被災した公共土木施設の復旧工事を行いました。

【令和3年度における事務事業の成果】

令和2年度に被災した公共土木施設23箇所のうち、令和3年度に繰越した7箇所(河川2箇所、道路5箇所)の復旧工事を実施し、施設の機能を回復することができました。

普通河川 大道田川  
着工前



成 工



市道 笠椎・藤川内線  
着工前



成 工



款	13	諸支出金	項	01	公営企業費	目	01	水道公営企業費
事務事業名	01	水道事業繰出金				6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり
担当部課		総合政策部 財政課				施策	18	上下水道の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
98,025		97,937				97,937	88	P. 342

【令和3年度における事務事業の概要】

旧簡易水道地区の整備に対する企業債償還利子補助金及び企業債償還元金出資金のほか、旧簡易水道地区の高料金対策等に係る補助金を繰出しました。

(繰出金の内訳)

・負担金、補助及び交付金	44,910 千円
・投資及び出資金	53,027 千円
計	97,937 千円

【令和3年度における事務事業の成果】

水道事業会計への繰出しにより、公営企業の健全経営に資することができました。



大川浄水場



屋敷野配水池



波多津浄水場



浦ノ崎浄水場

款	13	諸支出金	項	01	公営企業費	目	02	工業用水道公営企業費
事務事業名	01	工業用水道事業繰出金			6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり	
担当部課		総合政策部 財政課			施 策	14	商工業の振興	
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		P. 342
475,594		474,799				474,799	795	

【令和3年度における事務事業の概要】

工業用水道の整備に対する第2工業用水道事業、第3工業用水道事業及び第4工業用水道事業に係る企業債償還利子補助金、企業債償還元金出資金等を繰出しました。

(繰出金の内訳)

・負担金、補助及び交付金	92,509 千円
・投資及び出資金	382,290 千円
計	474,799 千円

【令和3年度における事務事業の成果】

工業用水道事業会計への繰出しにより、公営企業の持続性確保に資することができました。



長浜配水池



長浜浄水場



久原浄水場



伊万里団地と久原貯水施設



款	13	諸支出金	項	01	公営企業費	目	03	下水道公営企業費
事務事業名	01	下水道事業繰出金				6つのまちづくり	04	生活の基盤づくり
担当部課		総合政策部 財政課				施策	18	上下水道の整備
予算現額 (千円)		決算額 (千円)	財 源 内 訳				不用額 (千円)	決算書
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
830,142		766,051				766,051	64,091	P. 344

【令和3年度における事務事業の概要】

下水道の整備に対する企業債償還利子補助金及び企業債償還元金出資金のほか、分流式下水道に要する経費等に係る補助金を繰出しました。

(繰出金の内訳)

・負担金、補助及び交付金	155,101 千円
・投資及び出資金	610,950 千円
計	766,051 千円

【令和3年度における事務事業の成果】

下水道事業会計への繰出しにより、公営企業の健全経営に資することができました。



伊万里市浄化センター



伊万里市浄化センター航空写真



井手野水処理センター



宿地区農業集落排水処理センター

会計名	国民健康保険特別会計	6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課	市民交流部 市民課 健康福祉部 健康づくり課 総務部 税務課、収納管理課	施 策	06	保健医療体制の充実

【令和3年度における事務事業の概要】

国民健康保険事業の推進

国民健康保険は、地域住民の健康と福祉を保障する地域保険として、国民皆保険体制を支える大きな柱となっており、伊万里市国民健康保険においても、市民の「健康で豊かな毎日」を支えるために、必要な医療サービスを提供しながら保健事業の推進を図るとともに、保険料の収納率向上やレセプト点検、第三者求償事務などの保険給付の適正化を図り、国保財政の健全化に努めました。

令和3年度の国民健康保険の加入状況は、世帯数が7,119世帯（前年度7,235世帯）、被保険者数は11,023人（前年度11,433人）となっています。世帯数及び被保険者数ともに減少傾向にあります。

<被保険者数調べ>

（単位：世帯、人）

区 分	令和2年度	令和3年度	増 減	伸び率
国 保 世 帯 数	7,235	7,119	116	1.6%
市全世帯に占める割合	30.7	30.3	-	-
被 保 険 者 数	11,433	11,023	410	3.6%
市全人口に占める割合	21.3	20.8	-	-

国保世帯数・被保険者数は年度平均の数値

【令和3年度における事務事業の成果】

1. 医療費等の状況

国民健康保険法に基づく保険給付を行い、被保険者の健康保持を図るとともに、高額療養費の給付により被保険者負担の軽減を図りました。

また、出産育児一時金の給付により妊産婦及び乳幼児の健康増進を進めるとともに、葬祭費の給付を行うことで葬祭費用負担の軽減を図りました。

なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による受診控えにより、療養給付費は減少していましたが、令和3年度は受診が増えたこと等により、前年度より大きく増加しました。

<国民健康保険給付費の内訳>

（単位：千円）

区 分	令和2年度		令和3年度		増減額 (a-b)	伸び率 (a/b-1)	歳出総額に 占める割合
	支出額(b)	件数	支出額(a)	件数			
療養給付費	3,742,694	198,926	4,070,590	207,533	327,896	8.8%	58.8%
療養費	29,276	4,017	26,272	4,453	3,004	10.3%	0.4%
審査支払手数料	11,651	-	12,972	-	1,321	11.3%	0.2%
高額療養費	616,746	9,562	670,992	10,362	54,246	8.8%	9.7%
移送費	0	0	0	0	0	-	0.0%
出産育児一時金	14,671	34	14,347	30	324	2.2%	0.2%
葬祭費	2,430	81	2,700	82	270	11.1%	0.0%
傷病手当金	0	0	46	1	46	-	0.0%
合 計	4,417,468	212,620	4,797,919	222,461	380,451	8.6%	69.3%

## 2. 保健衛生普及の実施

疾病の予防、早期発見及び早期治療に役立て、被保険者の健康増進を図るため保健衛生普及について、以下の事業を行いました。

### (1) 健康マイレージ事業

特定健康診査の対象となる40歳以上の被保険者のうち、健康診断の受診や運動など自主的な健康づくり活動を行った場合に、ふるさと応援寄附金の返礼品(2千円相当)を抽選により400名に交付することで健康意識の高揚を図りました。

健康マイレージ申込状況

年 度	令和2年度	令和3年度
申込者数	459名	575名

### (2) 医療費通知事業

医療内容を年3回通知することで、健康や医療に対する認識を深め医療費の抑止を図りました。

医療費通知発送実績

年 度	令和2年度	令和3年度
通数	21,216通	21,424通

### (3) ジェネリック医薬品差額通知事業

継続的に服用している医薬品のうち、自己負担を500円以上軽減できる被保険者に差額通知を年2回送付して、医療費の抑制を図りました。

差額通知送付実績及び使用率

年 度	令和2年度	令和3年度
通数	303通	227通
後発医薬品使用率	80.5%	80.8%

使用率は各年1月の割合

### (4) 国民健康保険人間ドック・脳ドック事業

国保に加入し国保税の滞納のない世帯に属する被保険者に対し、人間ドック費用のうち11,385円と脳ドック費用のうち12,411円を助成することで医療費の適正化に努めました。

人間ドック・脳ドック費用助成実績

コース	件数	助成単価	助成金額
人間ドック	134件	11,385円	1,526千円
脳ドック	64件	12,411円	794千円
令和3年度 実績	198件	-	2,320千円
令和2年度 実績	149件	-	1,770千円

### 3. 保険税の収納率向上

国民健康保険税の収納率向上を目的として、滞納が累積される前に電話や文書で催告を行い、その後も納付がなければ預貯金等の差押え（滞納処分）を行うなど滞納整理を強化するとともに、対応が困難な事案については、国税局OBによる高度な滞納整理業務の指導により対応策を講じるなど、滞納整理の促進に努めました。

また、納税相談のために夜間・休日開庁や、コンビニエンスストア収納やスマートフォン決済を導入するなど納税しやすい環境を整備するとともに、国民健康保険の利用制限（長期滞納者には自己負担限度額適用認定証の交付等が制限される短期保険証の交付、催告等にも無反応で悪質な滞納者には病院等受診時の支払いが通常3割負担ではなく10割負担となる資格証明書の交付）を行うなど国民健康保険事業独自の滞納整理に取り組んだ結果、現年度課税分の収納率は対前年比1.2%増の97.6%となり、現年度課税分と滞納繰越分を合わせた保険税全体の収納率についても前年比1.9%増の88.8%と収納率を向上させることができました。

### 4. 生活習慣病予防対策

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、生活習慣病の予防対策として、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導を実施し39,506千円を支出しました。

#### 1) 特定健康診査

	対象者数	受診者数	受診率	備考
R2	8,121	3,134	38.6%	R3.9 (確定値)
R3	7,961	3,058	38.4%	R4.6 (速報値)

#### 2) 特定保健指導

	対象者数	支援終了者数	終了率	備考
R元	416	271	65.1%	R2.9 (確定値)
R2	268	171	63.8%	R3.9 (確定値)

会計名	介護保険特別会計	6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課	健康福祉部 長寿社会課	施 策	02	高齢者支援の充実

### 1. 高齢者の活動支援と介護予防の充実

#### 【令和3年度における事務事業の概要】

生活習慣病の予防や認知症予防等の介護予防に関する知識の普及に努めるとともに、要支援や介護予防・日常生活支援総合事業の対象者への支援を行い、適切なサービス利用につなげました。また、地域で住民主体での介護予防活動を支援しました。

#### 【令和3年度における事務事業の成果】

いきいき百歳体操教室などの取組により、介護予防につながるだけでなく、高齢者が定期的に顔を合わせることで閉じこもりを予防しました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
介護予防総務事業	13,339千円	22,344千円	22,739千円
うち人件費	13,318千円	22,270千円	22,656千円
認知症予防事業	478千円	262千円	216千円
いきいき百歳体操活動支援事業	1,605千円	2,499千円	1,439千円
教室(箇所数・実人数) ※新規	9か所・201人	9か所・176人	6か所・140人
出前講座(回数・延べ人数)	158回・2,601人	344回・4,726人	402回・5,284人
高齢者生きがいづくり講座開催事業	573千円	785千円	573千円
受講人数	665人	550人	748人
高齢者保健・介護予防連携推進事業	—	167千円	259千円
ハイリスクアプローチ(実・延べ人数)	—	15人・20人	22人・39人
ポピュレーションアプローチ(回数・延べ人数)	—	60回・941人	42回・601人
介護予防支援サービス事業	42,137千円	40,767千円	43,205千円
うち人件費	24,217千円	24,228千円	26,941千円
(事業対象者・要支援認定者の介護予防サービス計画作成)			
介護予防支援	4,393人	4,571人	5,034人
介護予防ケアマネジメント	3,893人	3,675人	3,514人

### 2. 介護サービス・生活支援の充実

#### 【令和3年度における事務事業の概要】

高齢者の生活支援として、地域包括支援センターによる総合相談等の包括的支援や日常生活を安心して過ごせるよう各種在宅サービスの提供を図りました。

また、地域包括ケアシステムの構築に向け、在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業等を実施しました。

#### 【令和3年度における事務事業の成果】

地域包括支援センターでは、高齢者や家族、民生委員、医療機関、介護支援専門員などからの相談に応じ、関係機関と連携し、地域の保健・福祉・医療サービスや見守りにつなげる支援を行うことができました。

また、生活支援体制整備事業では、高齢者サロンや百歳体操などの活動を推進し、地域で取り組む団体が増えました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
・包括的支援総務事業	58,751千円	66,453千円	68,021千円
うち人件費	51,875千円	60,028千円	60,871千円
総合相談延件数	3,629件	4,278件	3,362件

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
・在宅医療・介護連携推進事業	4,257千円	4,291千円	4,008千円
※在宅医療・介護連携支援センターに相談員を配置、普及啓発用DVD作成、運営委員会、多職種連携研修会等開催			
・生活支援体制整備事業	4,913千円	4,827千円	7,119千円
※コーディネーターを配置(地域包括支援センター4人、社会福祉協議会2人)し協議体会議、地区座談会、介護予防・生活支援サポーター養成講座等開催			
・認知症総合支援事業	4,051千円	4,015千円	4,020千円
認知症初期集中支援チーム員数	30人	28人	30人
チーム員会議回数	5回	4回	5回
訪問延件数	78件	65件	93件
・地域ケア会議運営事業	187千円	178千円	155千円
推進会議回数	2回	1回	1回
個別会議回数	34回	33回	26回
・高齢者紙おむつ給付事業	1,338千円	1,250千円	1,261千円
該当者人数	153人	154人	151人
配布総数	46,500枚	43,704枚	43,816枚
・高齢者成年後見制度利用支援事業	758千円	1,135千円	1,022千円
市長申立件数	10件	10件	2件
報酬助成件数	6件	5件	6件
・配食サービス事業	190千円	63千円	26千円
利用人数	6人	3人	4人
配食総数	406食	147食	66食
・介護保険住宅改修理由書作成支援事業	16千円	-	4千円
理由書作成件数	8件	-	2件
・愛の一声運動推進事業	951千円	895千円	911千円
対象者人数	356人	341人	340人
訪問延回数	9,511回	8,949回	8,886回
・認知症高齢者見守り事業	73千円	61千円	122千円
見守りサポーター(派遣人数・延時間)	4人・70時間	2人・64時間	3人・99時間
見守りネットワーク事業(協力事業者登録数)	60か所	76か所	86か所

### 3. 介護保険事業の適正な運営

#### 【令和3年度における事務事業の概要】

介護保険制度に基づく本市の介護保険事業は、「安心して健やかな暮らしづくり」を基本理念とした第8期介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)に基づき、被保険者の要介護認定をはじめ、介護保険制度の市民等への周知、介護サービス給付体制の整備や、介護サービスの給付を行いました。

#### 【令和3年度における事務事業の成果】

介護認定調査や介護認定審査会の運営により適正な要介護認定を行ったほか、介護保険活用ガイドブックの作成及び配布により、介護保険制度の普及・啓発につながりました。

また、介護サービス費の給付により、介護を必要とする高齢者や認知症の方などが、住み慣れた自宅や地域で生活ができました。

[令和3年度末の要介護認定者数]								(単位：人)
区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
令和元年度	373	448	678	590	442	416	311	3,258
令和2年度	412	448	711	563	439	428	284	3,285
令和3年度	469	471	722	542	427	386	287	3,304

[歳 入]

介護サービス費等に対する財源として、介護給付費と地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）に対する国等の負担割合は、国25.0%、県12.5%、市12.5%、第1号被保険者負担分23.0%、第2号被保険者負担分27.0%となっています。また、地域支援事業（包括的支援事業・任意事業）に対する国等の負担割合は、国38.5%、県19.25%、市19.25%、第1号被保険者負担分23.0%となっています。

(1) 第1号被保険者保険料

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
特別徴収保険料	1,150,308千円	1,131,167千円	1,145,144千円
収納率	100.2%	100.2%	100.2%
普通徴収保険料	84,871千円	90,749千円	95,040千円
収納率	92.6%	95.1%	95.3%
全体収納率	99.6%	99.8%	99.8%
滞納繰越分	4,153千円	6,084千円	3,640千円
収納率	24.0%	37.4%	29.2%

(2) 負担金等

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
認定審査会負担金（有田町）	13,533千円	13,209千円	13,846千円
国庫負担金	1,040,268千円	1,036,731千円	1,053,957千円
国庫補助金	97,915千円	102,092千円	107,510千円
調整交付金	365,101千円	343,963千円	373,807千円
支払基金交付金	1,599,737千円	1,601,254千円	1,566,776千円
県負担金	814,793千円	812,903千円	816,573千円
県補助金	41,800千円	40,323千円	42,461千円
一般会計繰入金	917,625千円	958,842千円	970,882千円
前年度繰越金	163,711千円	192,360千円	138,910千円

[歳 出]

(1) 被保険者の適正な要介護認定

有田町と共同設置している介護認定審査会に係る運営費用や、介護認定調査に係る主治医意見書手数料等を支出しました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
介護認定審査会運営事業	15,815千円	16,576千円	16,534千円
うち人件費	1,551千円	2,295千円	2,423千円
介護認定調査事業	21,147千円	21,983千円	29,135千円
うち人件費	5,556千円	10,014千円	14,579千円

(2) 介護保険制度の市民等への周知徹底

介護保険制度に関する制度の仕組みやサービスの利用方法等を記載した活用ガイドブックの作成費用を支出しました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
介護保険制度趣旨普及事業	573千円	1,516千円	595千円

(3) 円滑な介護サービス給付体制の整備

介護保険給付及び認定業務に係る一般事務経費や、介護保険事業計画等の策定のために、医療関係者や介護保険事業者、被保険者代表等からなる介護保険運営会議の運営費、地域密着型サービス運営委員会運営費等の支出を行いました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
介護保険総務事業	88,611千円	79,165千円	80,921千円
うち人件費	75,730千円	66,730千円	68,735千円
介護保険事業計画策定事業	1,377千円	2,690千円	40千円

(4) 介護サービスに伴う適正な給付

居宅サービス、施設サービス及び地域密着型サービスに伴う給付費をはじめ、それらのサービスに要した費用が著しく高額である場合の高額介護サービス費の支給のほか、居宅介護住宅改修費や、居宅介護福祉用具購入費などに要した費用に伴う給付費等を支出しました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
介護給付事業	5,035,935千円	5,039,031千円	4,934,709千円
介護予防給付事業	184,739千円	189,342千円	199,267千円
高額介護サービス給付事業	120,205千円	122,607千円	116,567千円
高額介護予防サービス給付事業	0千円	0千円	60千円
高額医療合算介護サービス給付事業	17,753千円	20,657千円	19,267千円
特定入所者介護サービス給付事業	230,546千円	222,178千円	189,462千円
特定入所者介護予防サービス給付事業	220千円	302千円	259千円
介護給付審査支払事業	6,087千円	5,997千円	6,111千円
介護給付費点検・指導事業	1,890千円	1,911千円	2,007千円
うち人件費	1,538千円	1,594千円	1,692千円
合計	5,597,375千円	5,602,025千円	5,467,709千円

(5) 介護予防・生活支援サービスの提供

介護予防・日常生活支援総合事業の対象者に、個々の状態に応じて訪問型サービスや通所型サービスなどを実施し、在宅での自立した生活を支援しました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
介護予防・生活支援サービス事業	160,871千円	150,860千円	152,741千円
介護予防・生活支援サービス審査支払事業	895千円	1,102千円	1,108千円
事業対象者数（年度末）	163人	125人	117人

(6) 決算額

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
歳入総額	6,375,555千円	6,373,628千円	6,375,755千円
歳出総額	6,183,195千円	6,234,718千円	6,060,017千円
差引額（翌年度繰越額）	192,360千円	138,910千円	315,738千円



会計名	後期高齢者医療特別会計	6つの まちづくり	01	安心で健やかな暮らしづくり
担当部課	市民交流部 市民課 健康福祉部 健康づくり課	施 策	06	保健医療体制の充実

【令和3年度における事務事業の概要】

後期高齢者医療制度の推進

佐賀県後期高齢者医療広域連合とともに、高齢者が安心して医療給付が受けられるよう健全運営に努めました。

【令和3年度における事務事業の成果】

1. 後期高齢者健康診査事業

後期高齢者健康診査事業を次のとおり実施しました。

後期高齢者健康診査事業（事業費796千円）

	区分	実施回数	受診者数	対象者数	受診率
R2	集団方式	6回	46人	6,039人	10.9%
	個別方式	-	613人		
R3	集団方式	11回	73人	5,897人	11.0%
	個別方式	-	575人		

2. 後期高齢者医療滞納対策及び財政状況

市民への制度周知・理解の促進を図るため、広報紙により制度の周知を図るとともに、未納者への電話催告を行うなど、保険料の滞納防止・収納率向上に努めました。

令和3年度の歳入総額は1,471,300千円で、内訳は後期高齢者医療保険料499,607千円（34.0%）、使用料及び手数料80千円（0.0%）、一般会計繰入金937,519千円（63.7%）、繰越金860千円（0.1%）、諸収入33,234千円（2.2%）となっています。

現年度分保険料については、特別徴収で355,703千円（収納率100%）、普通徴収で143,904千円（収納率99.3%）の納付があり、合計収納率は99.9%でした。

一方、歳出総額は1,468,898千円で、内訳は、総務費9,419千円（0.6%）、後期高齢者医療広域連合納付金1,425,773千円（97.1%）保健事業費1,725千円（0.1%）、諸支出金31,981千円（2.2%）となっており、歳入歳出差し引き2,402千円は、翌年度に繰り越しました。

会計名	水道事業特別会計	6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり
担当部課	上下水道部 管理課・水道施設課	施 策	18	上下水道の整備

【令和3年度における事務事業の概要】

令和3年度の水道事業は、安全で安心な水道水の安定供給を念頭に、効率的で効果的な運営に努めました。

【令和3年度における事務事業の成果】

収益的収支の状況は、水道事業収益が1,403,876千円、水道事業費用が1,322,615千円で、当年度純利益81,261千円を生じる結果となり、昨年度に引き続き、安定した経営を維持することができました。

また、主な建設改良工事として、法定耐用年数の経過や耐震化されていない配水管等を更新し、安全で安心な水道水の安定供給に努めました。

(主な建設改良工事) 事業費は税込み

工事名	事業費(千円)	事業内容	
竜門ダム線(県道伊万里有田線)導水管布設替工事	67,389	DCIP 350 DCIP 450 撤去または埋塞	L = 329.5m L = 5.2m L = 1,106.4m
新幸農園線配水管布設工事	19,125	PE 75	L = 623.8m
駒鳴線(市道駒鳴・立川線)配水管布設替(その1)工事	7,389	PE 100	L = 167.2m
駒鳴線(市道駒鳴・立川線)配水管布設替(その2)工事	10,483	PE 100 撤去または埋塞	L = 156.5m L = 488.0m
名村線外(市道松島・瀬戸線外)配水管移設工事	29,500	PP 40 DCIP 100 PE 100 DCIP 300 撤去または埋塞	L = 9.0m L = 2.5m L = 5.1m L = 141.2m L = 219.5m
漁港線外(県道黒川松島線外)配水管布設替工事	51,309	PP 50 PE 50 PE 75 DCIP 200 DCIP 250 撤去または埋塞	L = 45.3m L = 8.4m L = 286.6m L = 82.1m L = 184.1m L = 73.5m

会計名	工業用水道事業特別会計	6つの まちづくり	03	活気あふれる産業づくり
担当部課	上下水道部 管理課・水道施設課	施 策	14	商工業の振興

【令和3年度における事務事業の概要】

令和3年度の工業用水道事業は、工業用水道事業の使命である良質で低廉豊富な工業用水の安定供給に努めました。

【令和3年度における事務事業の成果】

収益的収支の状況は、工業用水道事業収益が938,207千円、工業用水道事業費用が905,609千円で、当年度純利益32,598千円を生じる結果となり、昨年度に引き続き、黒字となりました。

また、主な建設改良工事として、第3工業用水道長浜浄水場の流入流量計等を更新し、安全で安心な工業用水の安定供給に努めました。

(主な建設改良工事) 事業費は税込み

工事名	事業費(千円)	事業内容
第3工業用水道 長浜浄水場流入 流量計外更新工 事	3,558	六仙寺導水ポンプ場超音波流量計更新 1箇所
第3工業用水道 長浜浄水場流入 流量計外更新工 事	2,879	長浜浄水場超音波流量計更新 1箇所

会計名	下水道事業特別会計	6つの まちづくり	04	生活の基盤づくり
担当部課	上下水道部 管理課・下水道施設課	施 策	18	上下水道の整備

【令和3年度における事務事業の概要】

令和3年度の下水道事業は、浸水防除、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全を目的に、安全・安心で且つ快適な生活環境・水環境の向上に努めました。

【令和3年度における事務事業の成果】

収益的収支の状況は、公共下水道事業収益が1,143,685千円、公共下水道事業費用が1,076,772千円で、当年度純利益が66,913千円となり、また、農業集落排水事業収益が134,953千円、農業集落排水事業費用が126,740千円で、当年度純利益が8,213千円となり、ともに黒字となりました。

また、主な建設改良工事として、公共下水道事業では、浄化センターの反応タンク設備の更新や汚水ポンプ設備を増設するとともに、農業集落排水事業では、宿地区及び井手野地区に設置する排水処理施設を更新しました。

(主な建設改良工事) 事業費は税込み

工事名	事業費(千円)	事業内容
伊万里市浄化センター反応タンク設備(No.1,2送風機)更新工事	107,102	送風機 200 × 36m <sup>3</sup> /min × 45KW 2台
伊万里市浄化センター汚水ポンプ設備(補助ポンプ)増設工事	49,184	水中汚水ポンプ 300 1台 電動仕切弁 300 1台 汚水ポンプ動力制御盤 1面
宿地区農業集落排水処理センター電気設備(非常用通報装置外)更新工事	4,807	非常用通報装置流入流量計 各1基
井手野水処理センタースクリーンかす設備(No.2自動微細目スクリーン)更新工事	852	自動微細目スクリーン 1台

## 社会保障 4 経費その他社会保障施策に要する経費

消費税率（国・地方）が、平成26年4月1日から5%から8%へ、令和元年10月1日から8%から10%へ引き上げられたことに伴い、消費税込の引上げ分については、その用途を明確にし、社会保障財源化することとされており、地方団体においても、地方消費税込の引上げ分を全て社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

以上の趣旨を踏まえ、令和3年度伊万里市一般会計決算における社会保障施策経費への充当状況について、次のとおり報告します。

【歳入】 地方消費税交付金(社会保障財源化分) 696,069 千円

【歳出】 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 10,133,849 千円

(社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費)

(単位：千円)

区 分	決算額	財 源 内 訳					
		特 定 財 源			一 般 財 源		
		国庫支出金	県支出金	その他	地方消費税 (引上分)	その他	
社会福祉	障害者福祉費	1,703,498	820,570	459,508	0	61,440	361,980
	高齢者福祉費	160,215	0	0	20,426	20,284	119,505
	児童福祉総務費	657,011	136,981	95,640	56,719	53,350	314,321
	児童手当給付費	943,084	646,487	142,371	0	22,378	131,848
	児童措置費	1,999,332	1,050,566	459,283	95,044	57,234	337,205
	保育所費	596,570	8,204	5,003	56,681	76,422	450,260
	扶助費	1,011,398	761,473	17,601	0	33,711	198,613
	小 計	7,071,108	3,424,281	1,179,406	228,870	324,819	1,913,732
社会保険	国民健康保険特別会計繰出金	578,501	63,064	214,369	0	43,685	257,383
	介護保険特別会計繰出金	970,882	42,250	21,712	8	131,595	775,317
	後期高齢者医療特別会計繰出金	937,519	0	146,976	0	114,709	675,834
	小 計	2,486,902	105,314	383,057	8	289,989	1,708,534
保健衛生	保健衛生総務費	341,509	0	0	3,221	49,086	289,202
	予 防 費	145,776	2,693	237	0	20,727	122,119
	健康増進費	88,554	2,773	1,101	5,785	11,448	67,447
	小 計	575,839	5,466	1,338	9,006	81,261	478,768
合 計	10,133,849	3,535,061	1,563,801	237,884	696,069	4,101,034	